

本書ハ題シテ教員檢定試験問題例解ト曰フ要スルニ教員
殊ニ小學校教員檢定問題ノ新聞雜誌ナドニ見エ
等ニ就キ其解答ノ一例ヲ試ミタルモノナリ



本書ハ重々尋常小學校教員檢定試験學科ニ就キテ集録ス
ト雖又悉ク然ラザルモノアリ例ヘハ博物理化ヲ加フル如
キ或ハ教育科中教授ヲ主トセズ心理教育ヲモ併録セルガ
如キ是ナリ

一、世ニハ問答体ノ書ヲ非常ニ擯斥シ其著者及ビ讀者ヲモ甚
シク酷評スル人ナキニアラズ然レドモ讀者之ヲ以テ參考
ノ爲ニ供セラルハ可ナランカ只此ノミニ依ルチ不可
ナリトスルソミ著者ニ至テモ亦學業研究ノ一端トシテ
書ヲ參考シ自脩ノ補助トシテ之ヲ集録スルナラバ又

可ラザル事ニモ非ル可シ夫レ教育ニ從事スルモノハ常ニ
 講學ノ志ヲ廢ス可ラズ目下檢定ヲ出願スルノ必要ナシト
 スルモ常ニ日進ノ學術ニ留意シ其檢定ノ問題ノ如キ其見
 聞スル所アルニ隨ヒテ之ガ答解ヲ試ミルガ如キ亦世ノ進
 潮ニ伴フ所以ノ一端タランカ是レ此書ノ集録アル所以ノ
 微志ナリ

明治三十年四月

編者識

教員檢定試験問題例解

目次

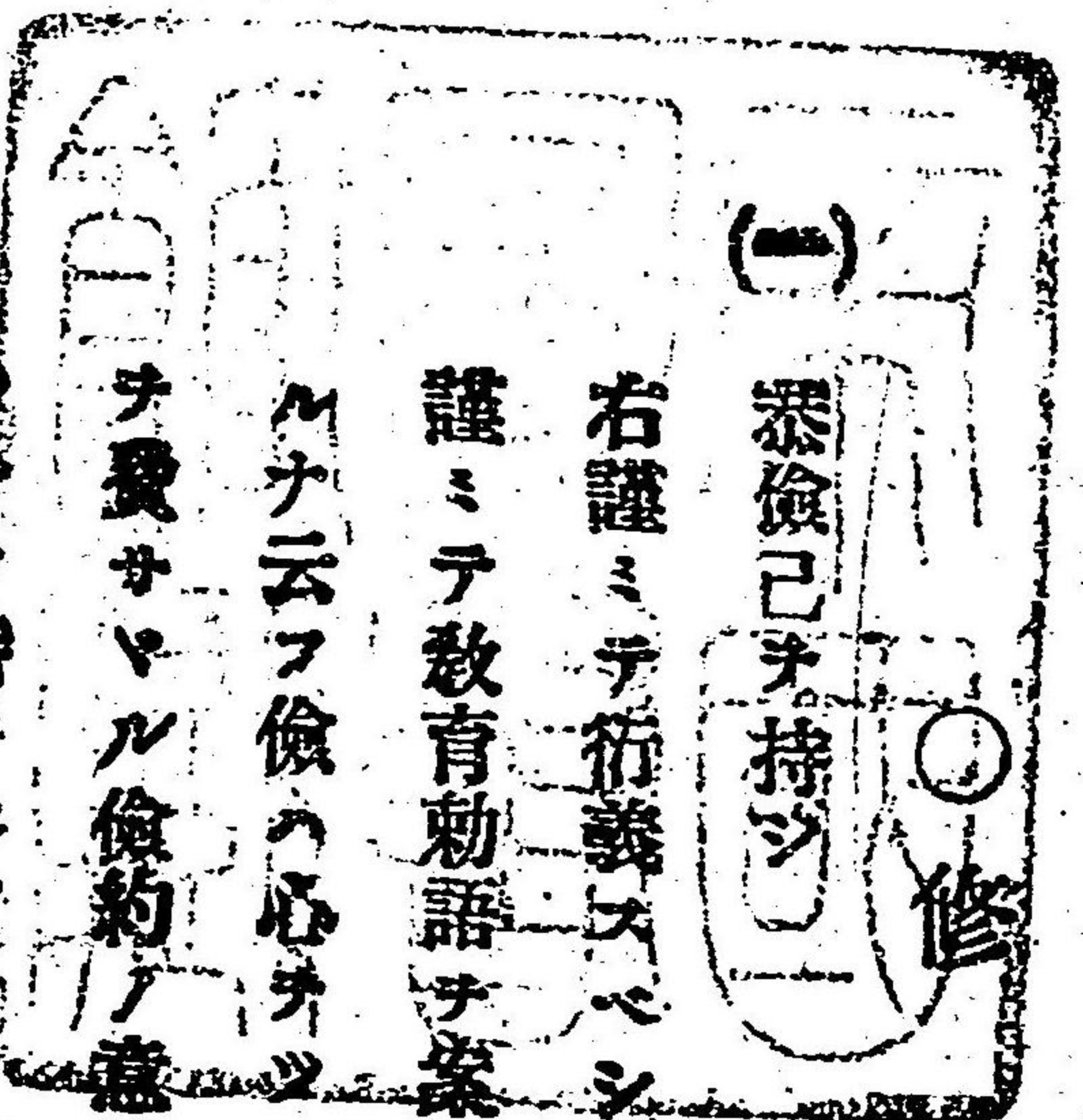
第一節	脩身科	一丁
第二節	教育科 <small>地理及ヒ教授ヲ該ス</small>	二十五丁
第三節	國語科	五十九丁
第四節	算術科 <small>珠算</small>	七十七丁
第五節	地理科	百三丁
第六節	歴史科	百十五丁
第七節	理化科	百三十五丁
第八節	博物科 <small>動植物金石及ヒ生理</small>	百四十一丁

教員檢定試験問題例解

教育書院編纂

◎ 第一節

身



謹ミテ教育勅語ヲ案スルニ恭儉已ヲ持シトアリ恭ハ心ヲ小ニシ行儀ノ恭シク丁重ナ
ルナ云フ儉ハ心ヲツマヤカニシテ身ノ行ヒ放恣ナラザルヲ云フナリ彼ノ無益ニ財
ヲ費サザル儉約ノ意味モ又之ヲ包含スルナリ恭儉已ヲ持ストハ行儀ヲ恭シク檢束シ
テ身ヲ持ツベシトノ意旨ナル可シ凡ソ人少シク學問ヲ爲セバ直ニ驕リ高ブル心起リ
易キモノナリ故ニ常ニ小心翼々トシテ恭儉身ヲ持スルノ心得ナカル可ラズ蓋シ恭儉
ハ人ノ美德ニシテ人間社會ノ秩序ヲ成スモノ主トシテ此ニ基クナリ故ニ古語ニモ恭

儉ハ惟レ徳ナリト云ヘリ

(二) 博愛衆ニ及ボシ 謹ミテ術義スベシ

博愛ハ博シ衆人ヲ愛スルコトニテ所謂仁ナリ仁心ヲ以テ衆人ニ及ボスナリ凡ソ人ハ生來物ヲ愛スル心ヲ有スルモノナリ此心アルガ爲ニ諸般ノ德行ヲ生ズ愛ノ徳ハ此ノ如ク大切ナルモノナレドモ之ヲ施スニハ自チ關係ノ厚薄ニ依リテ淺深ノ順序ナカル可ラズ先ツ君父ヲ愛シ兄弟ヲ愛シ夫婦ヲ愛シ朋友ヲ愛シ次ニ同邦人ヲ愛シ次ニ外國人ヲ愛シ遂ニ延テ禽獸草木ニ至ルマテ相當ノ順序ヲ以テ之ヲ愛セザル可ラズ親ヲ愛スルト他人ヲ愛スルトハ固ヨリ一様ニスベキコトニアラズ是レ及ボスノ意ナランカ則愛ハ近親ヨリ始メ漸次ニ衆庶ニ推シ及ボスヲ要ス君夫レ親疎ノ別ナク彼我ノ分ナク等シク之ヲ愛シテ差等ナクレバ則不可ナリ是レ其大ニ注意セサル可ラサル所ナリ公益、世務、國憲、國法、

(三)

右ノ四者ニ對シテ教育ニ關スル 勅語ノ聖旨如何之ヲ説明スベシ 勅語ヲ奉讀スルニ進テ公益ヲ廣メ世務ヲ開キ常ニ國憲ヲ重シ國法ニ遵ヒトアリ蓋

シ孝行友愛ヨリ脩學習業以テ智能ヲ啓發シ德器ヲ成就スルニ至ラバ只獨リ其身ヲ善クスルノミナラズ進シテ世ノ中ヲモ善クスルノ心掛ケナカル可ラズ則進シテ公益ヲ廣メ世務ヲ開キトノ聖勅アル所以ナランカ公益トハ世間一般ノ利益ヲ云ヒ世務トハ世ノ爲メテ計リテ爲スベキ各種ノ務メナ云フ又國憲トハ憲法ニシテ國家ノ最モ重大ナル法典ナリ國法トハ其他大切ナル種々ノ法律規則ヲ謂フ凡臣民タルモノ平素國憲ヲ尊重シ國法ニ恭順セサル可ラズ是常ニ國憲ヲ重シ國法ニ遵ヒト 聖勅ニ示シ賜フ所以ナランカ

(四) 信近於義言可復也恭近於禮遠耻辱也 (解釋)

信、義ニ近ケレバ言復ム可キナリ恭、禮ニ近ケレバ耻辱ニ遠カルナリ○論語學而篇ニ見ニ信ハ約信トテ約束ノコトナリ義ハ事ノ宜シキニテ正理ニ合フ事ナリ復ハ言ヲ踐ムコト即約束ヲ實行スルコトナリ恭ハ敬ヲ致スナリ禮ハ品節文章トテ其節度ニ合フヲ云フ之ヲ意解スレバ大凡人ト事ヲ約スルニ其事能ク正理ニ合スレバ則約束通フ之ヲ復行スルコトヲ得ルトナリ又恭敬ヲ致シテ能ク其節度ニ合スレバ則能ク耻辱

違カルト云フコトニテ若シ其節度ヲ失ヒ禮スルニ及バザルモノヲ禮スルガ如キハ却
テ身ヲ辱カシムベシ之ヲ要スルニ人ノ言行ハ皆之ヲ始メニ謹ミテ而シ其終ヲ慮ル可
シ然ラザレバ後來悔イナキヲ得ズトノコトナリ

(五) 孝弟也者其爲仁之本與 (解釋)

孝弟ハ其レ仁ヲ爲スノ本カ○論語學而篤○能ク父母ニ事フルヲ孝ト曰ヒ能ク兄長ニ
事フルヲ弟ト云フ仁ハ人ナリトテ人道ナリ蓋シ人道ノ始メハ孝弟ニアリト爲スナリ
凡ソ人ノ智ハ日常ノ經驗ヨリ來ルト一般其徳モ亦日常ノ交際ヨリ發達スルモノナリ
而シテ如何ナル人ニテモ父母兄弟ノ關係ハ必ズ其始メニ遭遇スル所ナリ故ニ能ク父
母兄弟ニ對スル道ヲ盡クスハ人道ノ入門ナリト云フ可シ

(六) 篤信而好學守死善道 (解釋)

篤ク信シテ學ヲ好ミ死ヲ守リテ道ヲ善クス○論語泰伯○篤ハ厚クカムルナリ篤ク信
セザレバ則學ヲ好ムコト能ハズ然レドモ篤ク信ズルノミニテ學ヲ好マザレバ則其ノ
信ズル所或ハ其ノ正ヲ得ザルコトアリ故ニ篤ク信ズルニ依リテ學ヲ好ミ學ヲ好ムニ

依リテ道ヲ知り其道ハ假令死ストモ之ヲ履ミ違ヘザルナリ蓋シ死ヲ守ルニ至ルハ信
篤ノ結果ニシテ道ヲ善クスルモノハ學ヲ好ムノ結果ナリ本朝和氣清磨ノ死ヲ決シテ
國憲ヲ重シ補正成ノ忠戰ニ死スルガ如キ又外國ノ例ヲ擧グレバ文天祥方孝孺ノ節
ニ死セシガ如キ皆篤信死ヲ守リテ道ヲ能クセシモノナリ今日我々ノ死ヲ守リテ奉持
スベキ道ハ何ゾヤ曰ク教育ニ關スル 勅語ニ示シ賜フ所是ナリ

(七) 直而溫寬而栗剛而無虐簡而無傲 (解釋)

直ニシテ溫、寬ニシテ栗、剛ニシテ虐スルコトナク、簡ニシテ傲ルコトナカレ○舜
ノ契ニ命ズル言○是レ皆其性ノ偏ナルヨリ失スルコトアルヲ戒ムルナリ蓋シ正直ナ
ルモノハ溫和ノ氣象ニ欠クル所アリ易キモノナレバ特ニ溫和ナルヲ要シ寬大ナルモ
ノハ常ニ寬柔ニ流レ易キ者ナレバ兼テ又嚴肅ナルヲ主トシ剛強ナル者ハ他ヲ虐シ易
キモノナレバ此弊ナキ様ニ注意シ簡大ナル者ハ倨傲ニ陥リ易キモノナレバ此患ナカ
ランコトヲ主トスルナリ之ヲ要スルニ能ク人ノ氣質ヲ養フテ偏僻ノ患ナカラシムル
ナリ○此文而ノ字ニカチ込メテ解釋スベシ

(八)

放於利而行多怨

(解釋)

利ニ放ツテ行ハバ怨ミ多シ○論語里仁○放ハ依放スルナリ怨ミ多シトハ多ク怨ミテ取ルナ云フ凡ソ人ノ行ヒ唯己ニ利アルニ依テ之ヲ行ヒ義ヲ願ミルコトヲ知ラザレバ必ク多ク人ノ怨ミヲ受ケルモノナリ是レ己ニ利アレバ則人ニ損アルヲ以テナリ故人ノ行ハ義ニ依ルベシ利ニ依ル可ラザルヲ教ヘタルナリ

(九)

志於道據於德依於仁游於藝

(解釋)

道ニ志シ德ニ據リ仁ニ依リ藝ニ游ブ○論語述而○志ハ心ノ向フ所ナリ道ハ人倫ノ道ナリ此道ヲ知リテ心必ク之ニ向ハバ則他岐ノ患ヘナキナリ據ルトハ之ヲ執リ守ルコトナリ德ハ得ナリ道ヲ行フテ心ニ得ル有ルモノナリ則道ヲ行フニ依リテ心ニ此本據ヲ得ルナリ依ルトハ之レニ依リテ違ハザルナリ仁ハ則心德ノ完成セルモノナリ是又德ヲ執持スルニ依リテ達スル所ナリ游ブトハ之ニ心ヲ寄スルナリ藝ハ古ニ所謂射御書數ノ類今ナラバ諸種ノ學術ナリ此ニ依リテ義理ヲ博メ其道ヲ應用スルコトヲ務ムルナリ此章ノ義ヲ概括スレバ人ノ學ヲ爲スニハ先ツ志ヲ立ツルニアリ志道ニアレバ

(一〇)

知仁勇三者天下之達德也所以行之者一也

(解釋)

則心正シクシテ德全シ此德ヲ執リテ失ハザレバ則德性常ニ行ハレテ仁ニ違ハズ而ソ藝ニ游ヒテ以テ應務餘リアレバ則本末兼該内外交ニ養ヒ日常ノ間少シモ間隙ヲク函養漸ク熟シテ自ラ聖賢ノ域ニ達セントノ意ナリ

(二)

中庸ノ德トハ如何ナル謂カ

中庸ニ中庸ノ德ナルヤ其レ至レルカ民鮮キコト久シトアリ○程子曰ク偏ナラザル之ヲ中ト云ヒ易ラザル之ヲ庸ト曰フト則中ハ過不及ナキノ謂ナリ庸ハ常ナリ蓋人其行フ所善長ナリト雖皆偏僻スル所アリテ中庸ノ德ヲ履ミ難シ故ニ又白及モ踏ムベシ天

下モ均シクスベシ中庸ハ能クスベカラズトモ云ヘリ要スルニ中庸ノ徳トハ偏セズ倚
セズ毫厘モ違フベカラザル所ノ中道ヲ云フナリ

(三) 君子ハ義ニ喩リ小人ハ利ニ喩ルトハ如何ナル謂カ

君子ハ義ニ喩リ小人ハ利ニ喩ルトハ論語里仁ノ篇ニ見ヘタリ君子ハ有徳者ヲ云ヒ小
人ハ薄徳ノ人ヲ云フ喩ルトハ深ク曉通スルナリ蓋シ君子ノ居常思フ所ハ正義ヲ行フ
ニアリ故ニ事々義ニ於テ曉通ス小人ノ日夜思フ所ハ已レテ利スルニアリ故ニ事々利
ヲ得ル手段ニ於テ曉通ス君子小人其思想ノ異ル所ハ義ト利トニアルノミ

(三) 獨チ慎ムトハ如何ナル意カ一例ヲ擧ゲテ之ヲ説ケ

獨チ慎ムハ脩身ノ基礎ナリ獨トハ人ノ知ラザル所ニシテ已獨知ル所ノ地ナリ則只人
ノ見ザル獨所ノ時ヲ言フノミナラズ心中一念ノ始メテ動クトキヲ云フ例ハ一人ノ
情慾發動ストセシニ其未ダ行ヒニ現レザル中ハ只心頭ニテ已レ獨リ知ルノミニテ他
人ノ未ダ得テ知ル可ラザル所ナリ此時ニ當リテ謹慎戒懼シテ而シテ放過セザルナリ則
人欲ヲ將ニ萌サントスルニ遏ムル所以ノ道ナリ蓋シ人ハ須臾モ道ヲ離ル可ラズ故ニ

脩身ノ要ハ只行爲ニ現ハレタル上ニ就テ慎ムベキノミナラズ心頭念々戒懼謹慎セザ
ルベカラザルナリ

(四) 脩身上誠ノ必要ナル所以ヲ解説セヨ

凡ソ脩身上ノ要ハ其行爲善長ナルノミナラズ其行爲ノ本原タル心意モ亦純正無垢ナ
ラザル可ラズ然ラザレバ其行フ所假令道ニ合フモ虛偽ニシテ信ス可ラザルコトアリ
誠ハ眞實無妄ノ謂ヒナリ中庸ニ誠ノ徳ヲ解クコト甚詳カナリ曰ク誠アラザレバ物ナ
シト實ニ徳行モ至誠ニ出ヅルニ非ザレバ其徳行ノ眞價ナキモノナリ故ニ知仁勇ノ三
徳ハ之ヲ行フニ誠ヲ以テス脩身上誠ノ必要ナルコト零此ノ如キナリ

(五) 脩身上義ノ必要ナル所以ヲ説ケ

義ハ宜ナリ事ノ宜シキナリ則方今通用スル語ヲ以テスレバ正理ナリ正ニ行フベキノ
正理ニシテ功利ノ心ヲ挾マザルナリ凡修身上ノ要ハ正ニ行フベキ正理ヲ履行スルニ
アリ私利ノ念ヲ挾ム可ラザルナリ孟子ニ義利ノ辨ヲ爲スコト極メテ詳カナリ蓋シ爲
メニスル所アリテ爲スモノハ利ナリ爲メニスル所ナクシテ爲スモノハ義ナリ人ノ道

チ行フハ其行フベキ正理ナル故ニ行フナリ利ヲ邀ヘ益ヲ求ムルノ邪念アルモノハ
修身ノ眞價ナキナリ義利ノ辨ハ實ニ必要ナリ君子小人ノ別忠邪正姦ノ分皆此ヨリ
生ズルモノナリ修身上義ノ必要ナルコト畧ホ此ノ如シ

(六) 修身上信ノ必要ナル所以ヲ解説セヨ

信ノ字ノ解説ハ一様ナラズ信義ト解スルコト朋友ノ道ナリ約信ト解スルコトアリ交
際ノ道ナリ是皆信ノ用ニ外ナラズ又信ノ体ニ就キテ下シタルモノアリ則仁義禮智信
ノ信是レナリ此信字ノ意義ニ依リテ之ヲ釋ス支那ノ經書ニハ五常ト云フコトヲ解ク
則仁義禮智信是レナリ是レ皆本然ノ性ニ固有スル所ニシテ孟子ノ所謂惻隱、羞惡、
辭讓、是非ノ心ヨリ發達スル所ノモノナリ而シテ此四者ノ中ニ包含シテ離レズ故
ニ仁義禮智ノ四端ハ皆信ナル礎地ノ上ニアルベキモノナリ其脩身上ノ必要畧ホ此ノ
如シ

(七) 身ヲ修ムルハ心ヲ正クスルニアリトハ如何ナル謂カ詳解スベシ

大學ノ書ニ格物致知誠意正心修身治國平天下ト説ク格物致知以テ其明智ヲ啓發シ誠

意以テ明智ノ指導スル所ヲ實行ス意ハ心ノ發動スル所ナレバ其發動悉ク正シクナレ
バ其心全体モ亦正シクナルナリ而シテ一身ノ主宰ナレバ心正シケレバ其身亦正シ
カラザルヲ得ザルナリ故ニ身ヲ修メント欲セバ其心ヲ正シクセサル可ラズ心正シカ
ラザレバ身モ亦修マラザルナリ例ヲ擧ゲンニ人或ハ忿怒シ或ハ恐懼シ或ハ好樂憂患
スル所ナドアリテ其心情偏倚スル所アラバ其行亦中正ナルヲ得ザルナリ又心此ニ在
ラザレバ視レドモ視エズ聽ケドモ聽エズ食ヘドモ其味ヲ知ラズトモ云ヘリ實ニ其心
感ハ偏倚シ或ハ放失シテ正シカラザレバ其身亦修マラズ故ニ一心ヲ中心ニシテ放失
セシメザレバ則其身ヲ修ルヲ得ベキナリ

(八) 朝聞道夕死可矣トハ何ノ謂ニヤ

朝ニ道ヲ聞カバ夕ニ死ストモ可ナリ○論語○道ハ事物當然ノ理ニシテ人ノ依ルベキ
所ノ正理ナリ人トシテ道ヲ知ラザレバ人ニ非ラズ人ニ非ザレバ生タルモ益ナシ苟モ
道ヲ知ルヲ得バ人ノ人ナル所以ヲ失ハズ則死スト雖亦遺憾スル所ナシト云フ意ナリ
朝夕トハ其時ノ近キモ尙厭ハザル旨ヲ切言スルナリ

(元) 古之學者爲己今之學者爲人トハ何ノ謂ゾ

論語ニ古ノ學者ハ己ガ爲ニシ今ノ學者ハ人ノ爲メニスト云フコトアリ蓋シ己レガ爲メニスト云フモノハ己ニ得ント欲スルナリ人ノ爲メニスト云フモノハ只人ニ知ラレシコトヲ欲スルナリ己ガ爲ニスルモノハ外ヲ術フノ心ナク只己ニ切ニシテ能ク勉ムヲ以テ遂ニ君子ノ人ト爲リ人ノ爲メニスルモノハ□ニ切ナラズシテ徒ニ小人ト爲リ了ル己ガ爲メニスルト人ノ爲メニスルトハ君子ト爲リ小人ト爲ル其ノ分別ノ由テ生ズル所ナリト云フベシ

(二) 尊徳性道問學何ノ謂ゾ

中庸ニ徳性ヲ尊ヒ問學ニ道ル○徳性ハ人ノ天性ニ稟有スル所ノ仁義ノ性ナリ尊ハ恭敬奉持スルナリ凡人万物ノ靈タル所以ノモノハ其仁義ノ性アルニ依ルナリ實ニ仁義ノ性ハ人ノ人タル最要ノ資格ナリト云フベシ故ニ之ヲ失ハ、人タルヲ失フナリ依テ之ヲ恭敬奉持シテ失ハザル様ニセザル可ラズ而シテ此徳性ヲ尊ブコト能ハザルモノアルハ之ヲ知ルコト明カナラザルニ依ルモノナレバ亦問學ノ工夫ノ欠ク可ラザル所以ナリ

(三) 博文約禮トハ何ゾ

博ク文ヲ學ビテ之ヲ約スルニ禮ヲ以テスト論語ニ見ヘヨリ蓋シ博文約禮トハ則致知力行ノ方ナリ博ク文ヲ學ブト云フモノハ知ヲ致ス道ニシテ博學ノ謂ヒナリ人博ク學問ヲナシテ知ヲ致スニ非ズンバ則理ヲ窮ルコト周密ナラズシテ中正ノ見ヲ持スルコト能ハズ約禮トハ節約ナルノ謂ヒナリ人博學ナルモ苟モ心ヲ守ルコト專一ナラザレバ則行ヒテ力ムルノ功ナク泛濫ノ患エテ生ズルコトアリ故ニ博文約禮ハ兩ツチガラ之ヲ廢ス可ラザルナリ知行兩全ハ修身ノ要目ナレバナリ

(三) 誠意トハ何ノ謂ヒゾ

大學ニ曰ク其意ヲ誠ニストハ自ラ欺クコトヲ毋クスルナリ要臭ク惡ムガ如ク好色ヲ好ムガ如シ此レ之ヲ自ラ慊スト云フト盡シ誠意トハ良心ノ發動スルニ當リ其機ヲ忽ニセズ必ズ之ヲ實行スルコトヲ云フモノニシテ自ラ欺クコトヲナクスルナリ自ラ欺クトハ善ヲ爲シテ以テ惡ヲ去ルベキコトヲ知リナガラ尙其ノ通り行ハザルモノヲ云

フナリ誠ニ能ク善ヲ好ムコトハ好色ヲ好ムガ如クシ惡ヲ惡ムコトハ惡臭ヲ惡ムガ如クシ能ク決去テ務メテ以テ己ノ心ヲシテ快足セシム是レ自ラ慊スルヨリニシテ則誠意ノ結果ナリ

(三) 克己復禮トハ何ノ意ゾヤ

孔子曰ク己ニ克チテ禮ニ復ルト是レ所謂人慾ヲ去リ天理ヲ存スルナリ己ニ克ツトハ人慾ヲ去ルコト禮ニ復ルトハ天理ヲ存スルコトナリ蓋シ人心ニハ天理ノ公アリ人欲ノ私アリ人欲ノ私ハ人ノ動物性トシテ等シク受クル所ニシテ能ク之ヲ制スルコトナクンハ則私慾ノ奴隷ト爲リテ禽獸ノ域ニ陥ルナリ故ニ天理ヲ以テ此私慾ヲ制御シ能ク天理ノ命ニ從ハシムルコト必要ナリ天理トハ只人ノ有スル所ノ徳性ニシテ人ノ人タル所以ノモノナリ禮ニ復ルトハ能ク私慾ヲ脱シテ天理ノ本体ヲ存スルコトナクンナリ

(四) 親子ノ義務ノ大要ヲ問フ

親子ノ義務トハ親ノ子ニ對スル義務ト子ノ親ニ對スル義務トナクンナリ先ツ親ノ子ニ對スル義務ハ如何ニト云フニ泰西ノ倫理說ニ依ルモ支那ノ經義ニ依ルモ其說ク所

ハ恰モ一致スルモノ、如シ則兒子タルモノハ其始メヤ自立シテ生活スルノ道ナキモノナレバ之ガ親タルモノハ之ヲ保育シテ其自立自活ノ道ヲ得ルニ至ラシメザルベカラズ而シテ人間ハ只肉体ノ養育ヲ要スルノミナラズ其心意ニ對シテモ亦教育ヲ必要スルモノナリ故ニ養育ト教育トハ親ノ義務ナリ古語ニモ養フテ教ヘザルハ父ノ過ナリト云ヘリ實ニ勳カスベカラザル格言ナリト謂フベシ次ニ子ノ親ニ對スル義務ヲ述ベシニ子タルモノハ其父母ニ對シテ順良感恩尊敬愛情ノ四項ヲ盡クサバ可ラザルナリ凡人ノ子タルモノ其年少ニシテ未ダ世故ニ閱歷セズ他ノ指導ヲ受クルノ必要アリ故ニ父母ノ命ニ恭順セザル可ラズ而シテ父母ハ子ニ比シテ經驗ニ富ミ殊ニ其兒子ヲ愛スルノ心深ク其子ノ幸福ヲ祈ルノ情切ナルモノナレバ其子ノ不幸ヲ來タスベキ命令ヲ爲スモノニアラズ故ニ子タルモノ順良ノ徳ヲ全フセサル可ラザルナリ感恩トハ能ク父母ノ恩ヲ記シテ其報答ヲ計ルナク云フ凡ソ人ハ其生命ヲ父母ニ受クルノミナラズ其生命ヲ保續スベキ道オモ併セテ父母ニ受クルモノナレバ其恩ノ高大ナルコト他ニ此スベキモノナシ是レ感恩ノ必要ナル所以ナリ敬禮ト愛情トハ是レ則孝經ニ説ク所

ノ愛ノ道ナリ親ニ對シテハ深厚ナル愛情ヲ有セザル可ラズ而シテ其愛情ハ必ズ敬禮ヲ保有セザル可ラズ古語ニモ愛敬兼至ルハ孝子ノ道ナリト云ヘリ

(三)

道德上ノ善惡ハ何ニ由リテ之ヲ定ムルヲ得ルヤ

凡ソ物ノ善惡ハ一ノ標準ヲ有シ此標準ニ合スルモノヲ以テ善ト爲シ否ラサルモノヲ以テ惡ト爲スナリ此故ニ競争ニ用ユル馬ハ其能ク走ルモノヲ以テ良ト爲シ其否ラサルモノヲ以テ驚トナスナリ吾人道德上ノ善惡ニ於テモ亦此ノ如シ是ニ於テ乎道德ノ標準說アリ道德ノ標準說ニ就キテハ古來說多シ今倍因氏ノ倫理書ニ依リ其重ナルモノヲ擧グ

第一天帝說 此說ニ從ヘバ天帝ノ意思ニ從フ行ヲ以テ善ト爲シ否ラサルモノヲ以テ惡ト爲スナリ

第二君主說 君主タル帝王ノ意ニ協フモノヲ以テ善ト爲シ否ラサルモノヲ以テ惡ト爲スナリ

第三良心說 是レ人ニ固有スル所ノ良心ノ指導スル所ニ從フヲ以テ善行トシ否ラカ

ルモノヲ以テ惡行トナスナリ

第四正理說 人ニハ正理ヲ信スル所ノ道理力ナルモノアリテ存セリ此道理力ノ指導スル所ニ從フヲ以テ善行ト爲シ之ニ從ハザルモノヲ以テ惡行トナスナリ之ヲ道理論又ハ知力說ト稱ス

第五私利說 人ニハ其己ヲ保持スルコト則自護ト云フコトアリ是レ其身存在ノ第一義ナリ故ニ他人ノ爲ニ謀ル場合ト雖其究竟ノ目的ハ又自利ニ外ナラズ是ヲ以テ自利ニ適スル行爲ヲ以テ善トシ否ラザルモノヲ以テ惡トナスナリ

第六功利說 是レ只自利ノミナラズ利他ヲ兼ヌ則最大ノ幸福ヲ最多ノ人ニ與フルヲ以テ善行トシ然ラザルモノヲ以テ惡行トナスナリ之ヲ實利派トモ稱ス

以上ノ諸說ノ如ク異說多シト雖是所謂探究的倫理學上ノコトニシテ實踐的倫理ニ於テハ其善惡ハ万人ノ等シク是認スル所アルナリ殊ニ我々帝國臣民タルモノハ道德ノ標準トナスマキモノハ明治二十三年十月三十日ノ勅語ニ在リ帝國臣民誠ニ能ク勅語ノ御主意ヲ奉戴シテ之ヲ實行スレバ則是レ完全無缺ナル道德ナリ

(六)

道德上ノ制裁トハ如何ナルコトナリヤ
法律ニ法律上ノ制裁アルト同シク道德上ニ於テモ亦道德上ノ制裁アリ蓋シ一定セル
道德上ノ規則アル以上ハ之ニ對スル賞罰則所謂制裁ナルモノアルベキ筈ナリ其制裁
ノ種類ヲ擧グレバ左ノ如シ

(甲) 身外ヨリ來ル制裁此ニ二様アリ國法上ノ制裁ト社會上ノ制裁ト是レナリ國法上ノ
制裁トハ何ツヤ蓋シ道德ト法律トハ能ク一致スル場合多キモノナレバ道德ヲ犯セ
バ從テ法律ヲ犯スコト、ナルコトアリ此際ニハ法律上ノ處分ヲ受ケザル可ラズ之
ニ反シテ異常ノ善行アルモノハ賞勳ノ典アルガ如キモノ是レナリ社會上ノ制裁ト
ハ社會ノ人民ガ一個人ノ資格ヲ以テスル制裁ナリ例ヘバ人ガ惡行ヲ爲シタルモノ
ヲ擯斥シ其ノ交リヲ欲セザルガ如キモノニシテ即社會交際上ノ名譽信用上ヨリ生
ズル苦痛ナリ之ニ反シテ能ク道德ヲ行ハバ社會公衆ノ敬信稱賛ヲ受ケルガ如キ是
皆社會上ノ制裁ナリ

(乙) 自己身上ニ發スル制裁此ニモ二様アリ其一ハ肉體上ニ發スルモノニシテ其二ハ心

性上ニ生ズルモノナリ例ヘバ人暴飲過食スレバ其身體ヲ害シ苦痛ヲ受ケ之ニ反シ
テ能ク欲ヲ制スレバ身體健康ニシテ快樂ヲ覺ユルガ如キ是レ肉體上ノ制裁ナリ又
心性上ノ制裁トハ人不義不正ヲ行ハバ他人ノ知ラザルモ自己ノ良心ニ於テ慙愧
ニ堪ヘズ不快苦痛ヲ感ズ之ニ反シテ能ク徳ヲ行ハバ所謂俯仰天地ニ愧ヂズ心廣ク
體胖カナリト云フガ如キ快樂アルコト是レナリ之ヲ要スルニ道德上ノ制裁トハ能
ク道德ヲ守リ或ハ守ラザルニ依リテ生ズル賞罰ナリト云フベシ

(七)

何チカ良心ト云フヤ
良心トハ人間ニ固有スル是非善惡ヲ辨別スル所ノ直覺力ナリ此心ハ人間生來固有ス
ル所ノ心力ニシテ教育經驗ヲ待テ起ルモノニ非ズト云フ説アリ之ヲ本然説ト云フ孔
孟ノ説亦然ルモノ、如シ又之ニ對シテ人間ノ良心ハ決シテ本來有スル所ニアラズシ
ク教育經驗ノ結果ニ依リ自然ニ善惡ヲ識別スルガ如キ力ヲ有スルニ至リタルモノナ
リト云フ説アリ之ヲ經驗説ト云フ又此兩説ヲ折衷シテ良心ノ一半ハ本然力ニシテ他
ノ一半ハ經驗ニ依リ習得セルモノナリトナス説アリ之ヲ遺傳説ト云フ則人ハ性來多

少ノ遺傳心ヲ有シ更ニ教育經驗ノ力ニヨリテ益之ガ發達ヲ遂グルモノナリト云フナ
 而ノ其本能ト稱スル所ノ徳性モ其原ヲ推セバ亦父祖幾世ノ經驗ヲ遺傳セルモノナ
 リトナスナリ則亦一種ノ經驗說ニ外ナラザルナリ
 良心ナルモノハ人間ニハ多少之ヲ存セザルハナシ今其働キニ就キテ之ヲ察スルニ第
 一感性ノ事實アリ則善ニ感シテ之ヲ嘉ミシ惡ヲ惡ミテ之ヲ厭フノ事實アルナリ第二
 智性ノ事實アリ良心ナルモノハ頗聰明ナルモノニシテ其善惡ヲ識別スルハ最鋭敏ナ
 ルモノナリ第三實行ノ事實アリ良心ノ作用タル只善ヲ善トシ惡ヲ惡トシテ之ヲ知
 之ヲ感ズルノミナラズ更ニ進ミテ之ヲ實行セントスルノ傾向アルモノナリ

(六) 父母ヲ養フ道如何

父母ヲ養フニ体ヲ養フト志ヲ養フトノ二アリ体ヲ養フトハ父母ノ身体口腹ヲ養フコ
 トニシテ其食味ハ父母ノ嗜好ニ適スルモノヲ調シ其衣服ハ輕暖ナルモノヲ進メ其他
 居所寢所ヲ安カラシメ總テ事ノ缺ケザルヤウニスルヲ云ヒ志ヲ養フトハ萬事父母ノ
 心ニ從ヒテ逆ラハズ常ニ其心志ヲ怡悅セシメテ憂苦ノ念ヲ生セザラシムルヲ云フ例

ハハ曾參ガ父母ニ食ヲ進ムルニ餘リアレバ必ズ其與ヘント欲スル所ヲ問フガ如キ亦
 志ヲ養フノ一端ナリ但人ニハ應分ノ家計アレバ其身分相當身心ノ力ヲ盡クシテ供奉
 スベシ之ヲ要スルニ父母ヲ養フニ志ヲ養フト体ヲ養フトアリ二者片廢スベカラズト
 雖志ヲ養フノ事殊ニ忽ニス可ラザルナリ

(五) 國家ニ對スル義務ヲ列舉セヨ

臣民ノ國家ニ對スル義務ハ兵役ニ服スルト租稅ヲ納ムルトノ二ナリ帝國憲法ニモ日
 本臣民ハ法律ノ定ムル所ニ從ヒ兵役ノ義務ヲ有スト云ヒ又納稅ノ義務ヲ有ストアル
 者是レナリ蓋臣民ハ國家成立ノ分子ニシテ國家ヲ守ルノ責任アルモノナリ我國上古
 國民ハ皆兵役ニ服シ所謂全國ヲ舉リテ皆兵ナルモノナリシガ中古以來兵農漸ク分レ
 タリト雖明治維新ノ後又古制ニ復セラレ全國臣民ヲシテ兵役ニ服スルノ義務ヲ執ラ
 シメテレタリ納稅ハ國家成存ニ對スル必用ノ資力ヲ供スルモノニシテ是亦國家成立
 ノ分子タル臣民ノ負擔スベキ所ナリ

(四) 國民ノ師表タルべき二三ノ人物ヲ列舉シ其理由ヲ附記セヨ

我邦古來君子國ノ稱サヘアリテ正人君子ノ國民ノ師表タルベキモノ枚擧ニ暇アラズ
茲ニ其三人ヲ擧グ

- 一、楠正成 楠公正成ハ建武中興ノ忠臣ニシテ實ニ我國万世ノ師表タリ其理由ハ至
誠至忠ノ思想ヲ有シ非凡ノ慮智ニ富ミ實用ノ才アリ而シテ只管皇室ニ純忠ナルヲ主
トシ假令意見行ハレザルノコトアルモ不平ヲ以テ其職ヲ辞スルガ如キコトナク孜
々粉骨斃レテ而シテ後止ム身後子孫ニ遺訓シ永ク皇家ノ藩扈タラシム所謂忠孝一門
ニ集ル公ノ如キ才德兼備寸毫モ其批難スベキ点ヲ見ス實ニ万世ノ師表タリ
- 二、二宮尊徳 尊徳翁身ヲ農民ニ起シ遂ニ士籍ニ班ヌ身後其功績乙夜ノ聖覽ニ入ル是
レ亦臣民ノ師表タリ其勤儉力行身ヲ立テ産ヲ起シ父祖ノ遺志ヲ全クシテ能ク孝道
ヲ盡クシ尙施テ以テ人ニ及ボシ博愛ノ道ヲ博メ國家ノ遺利ヲ收拾シ世務ヲ開ク等
實ニ實用ノ才誠ニ欽慕スベキ所ナリ治平ノ世實業界ニテリテ國民ノ義務ヲ全フセ
ントスル者夫レ翁ノ心ヲ以テ心トシ翁ノ行ヲ以テ師表トナサバ庶幾クハ亦國家忠
良ノ民ヨルヲ得

三、菅原道真 道真四學ニシテ忠貞ノ心深ク一意皇室ノ爲ニ力ヲ致シ一身ノ險危ヲ顧
ミズ其讒ニ遇ヒテ貶謫セラレ、モ嘗テ人ヲ尤メズ天ヲ怨ミズ益々君子思フノ至情
ヲ顯ハシ從容文墨ヲ弄ス實ニ君子ノ人ト云フベシ其薨後奉祠朝野ノ尊信ヲ受ケ永
ク我國民ノ師表ト爲レルハ誠ニ以ヘアルナリ

一兒童アリ他兒童ノ過チテ已ニ衝突セシテ憤リ痛ク之ヲ打チテ負傷セシメタリ其時
ノ處置方如何

此場合ニ於テハ傷ケタル兒童ト傷ケラレタル兒童ト共ニ處置セサル可ラズ先ヅ傷
ケラレタル兒童ニ對シテハ其負傷ニ對スル手當ヲ爲シ其輕卒ニシテ他人ニ衝キ當リ
タルガ爲メニ斯ル事ヲ出來シマレバ今ヨリ後ハ能ク注意シテ輕卒ノ弊ナカランコト
ヲ期スベキ旨ヲ諭告スベシ次ニ傷ケタル兒童ニ對シテハ嚴重ニ其不心得ヲ懲戒セザ
ル可ラズ人ノ已ニ衝突シタルハ過失ニ出デタレバ之ヲ諒恕スベキコトナリ然ルニ觀
テ忿怒スルハ忍耐ノ德ナキモノナルコト又假令故意ニ衝突スルモ暴ヲ以テ暴ニ加
ヘ歐打スルガ如キハ不都合ナリ況ンヤ過誤ニ出デタルニ於テオヤ况ンヤ貴重ノ身体

ヲ毀傷スルニ於テオヤ斯ル不良ノ行爲ハ嚴ニ謹ムベキコトヲ充分ニ警告セサル可ラズ又傷ツケヲレヨル兒童ノ負傷ノ手當ヲ爲ス場合ノ如キハ之ヲシテ手傳ハシムル大可トス其他此二人ノ行爲ノ如キ學校ニ於テ起リタル場合ニハ或ハ教場ニ於テ一級ノ兒童ト問答シ注意ヲ喚起スルモ亦可ナランカ

(三)

朋友ト會合ノ約アリテ將ニ家ヲ出デントスルニ方リテ其親急ニ發病セリ然レドモ其事情ヲ通ズル能ハザル場合ニハ如何セントスルカ理由ヲ學グテ之ニ答ヘヨ
本問ノ如キ場合ニ於テハ親ノ病ノ輕重ト朋友ト出會スル用向ノ要否トニ依リ一概ニ論シ難キモノアリ然レドモ茲ニハ親ノ病稍重クシテ手離シ兼テ而シテ朋友トノ出會ノ如キハ之ニ比シテ事体ノ輕キ場合トスルナリ付テハ今其事情ヲ通ズル能ハザレバ朋友ヲシテ空シク待タシムルハ信義ヲ欠キ甚ダ不都合ナレドモ孝行信義兩德中此場合ニ於テハ特ニ重キ一德ヲ取リ比較上輕キ一德ヲ捨ツルハ亦止ムヲ得ザルニ出ヅルナリ他日事情ヲ通ズルノ機會ヲ得タル際ニ至リテ詳ニ其事情ヲ述ベテ朋友ノ容恕ヲ請フ外道ナカルベシ

◎ 第二節

○ 教 育

心理及教育ヲ談ス

(一)

教育ノ目的ヲ記ス可シ

教育ノ目的ハ之ヲ要スルニ完全ナル人物ヲ養成スルニ在リ然レドモ學理上ヨリ之ガ目的ヲ論スルニ諸大家ノ說聚訟殊ニ甚シ今獨逸國ノ教育哲學家「ヘルバルト」氏ノ主義ニ從フテ其目的ヲ記サンニ教育ノ目的トスル所ハ至善至美圓滿無缺ナル德ニ達スルニ在リ德トハ何ゾ決心斷行スル所ノ意志ト是非善惡ヲ判別スル所ノ明智トノ全ク相調和セル心意ノ狀態ヲ指ス所ノ語ニシテ即吾志ス所行フ所悉ク明智ニ合スルヲ云フ是則教育ニ於テ到達セントスル所ノ理想ナリ然レドモ此理想ハ十分ニ實現スルコト難キモノナルガ故ニ教育者ハ人ヲシテ熱心ニ此理想上ノ大目的ニ向フテ進マントスル所ノ奮勵心ヲ興起セシムルコトヲ以テ暫ク満足セザル可ラズ即生徒ノ氣質ヲ鍛鍊シ自ラ奮テ德ニ達セント欲スルノ傾向ヲ有セシムルコトヲ得ハ先ツ以テ是レヲトスベキナリ

(二) 教授、訓練、管理ノ區分如何

教育ノ目的トスル所ハ徳ニ達スルニ在リ徳トハ二ツノ成分ヲ有シ相調和セザル可ラズ其一ハ倫理上ノ智識ニシテ他ノ一ハ之ニ應シテ活動スル所ノ意志ナリトス此倫理上ノ智識ヲ造ルニハ智力ニ相當ノ形式ヲ付與セザル可ラズ此方法ヲ達スルヲ稱シテ教授ト稱ス而シテ智識ノ發動ニ伴フテ起ルベキ意志ノ發動ヲ掌ドルコトハ之ヲ訓練ト稱ス倫理上ノ智識アリテ意志ノ發動ヲ指導スルコトハ幼稚者ノ能クスル所ニ非ズ則教授ノ完成ヲ告ゲザル間ニモ既ニ各種ノ感情アリテ動モスレバ意志ノ發動ヲシテ危險ニ陥ラシムルノ恐レアリ是ニ於テ乎管理ノ必要アリ則教授未ダ全カラズ智識未ダ十分ナラザルニ當リ訓練尙行ハレ難キニ付暫ク生徒ノ欲ヲ制スルノ方是レ則管理ナリ

(三) 教授ノ目的如何

教授ハ教育ノ目的ヲ達スル爲ニ必要ナル一方便ナリ此ニ二種アリ非訓育的ノ教授ト曰ヒ訓育的ノ教授ト云フ非訓育的ノ教授ハ單ニ智識技能ヲ授クルモノニシテ其目的

ハ一種ノ業務ニ堪能ナル専門家ヲ養成スルニアリ大學及び各種専門學校ノ教授ハ即此主義ニ出ヅルモノナリ訓育的教授トハ只智識技能ヲ授クルノミナラズ更ニ其意志ト感情トヲ鍛鍊シ其得タル智識ヲ以テ其意志ノ全範圍ヲ支配スルニ足ラシメ以テ教育ノ目的ニ適合スベキ善良ナル人物ヲ養成スルニ在リ普通教育ヲ施ス學校ノ教授ハ總テ訓育的ナラザル可ラズ今訓育的教授ノ目的ヲ更ニ詳記セン

訓育的教授ノ目的ハ單ニ智識ヲ得シムルノミナラズ更ニ生徒ヲシテ其智識ニ對シテ興味ヲ惹起セシメザル可ラズ

訓育的教授ハ其智識ヲ活用スルノ能力アルコトヲ自覺セシメザル可ラズ

訓育的教授ノ目的ハ智識ヲシテ孤立セシメズ各々連絡結合シテ一個ノ全体ト爲テ心意ノ全部ニ其力ヲ及ホスヲ要ス

道德ノ觀念ヲ以テ各智識ノ中心点ト爲サザル可ラズ

(四) 小學校ノ本旨ヲ解釋スベシ

小學校ノ本旨ハ本邦現行ノ小學校令ノ首條ニ於テ能ク盡クセルヲ見ルナリ依テ之ヲ

小學校令第一條ニ曰ク小學校ハ兒童身体ノ發達ニ留意シテ道德教育及國民教育ノ基礎並ニ其生活ニ必須ナル普通ノ智識技能ヲ授クルヲ以テ本旨トスト

今聊カ其解釋ヲ爲サシニ小學校ノ本旨トスル所ハ兒童身体ノ發達ニ就キテ能ク注意シツ、第一ニハ道德教育ノ土臺ヲ授クルコト第二ニハ國民教育ノ土臺ヲ授クルコト第三ニハ兒童將來ノ生活上ニ必要ナル所ノ普通ノ智識及技能ヲ授クルコトニ在ルナリ夫レ身体ハ百事ヲ爲スノ本ナレハ總テノ教育ヲ施スニ當リ其發達ニ留意セサル可ラザルナリ道德教育ハ明治廿三年十月三十日ノ勅語ノ御主意ヲ奉体シテ其徳性ヲ涵養セサル可ラズ國民教育ノ事ニ就テハ要スルニ我邦ヲ特性ニ適合セシメ適當ナル日本國民ヲラシメサル可ラズ次ニ智識技能ヲ授クルハ兒童將來生活上殊ニ治産營業ノ上ニ就キテ必須ナル普通ノ智識技能ヲ得シムベキナリ

之ヲ要スルニ小學校ノ本旨トスル所ハ兒童身体ノ發達ニ留意シツ、道德教育ノ土臺ヲ授ケテ善良ノ人物ヲラシムルコト國民教育ノ土臺ヲ授ケテ適當ナル日本臣民ヲ

シムルコト生活上ニ必須ナル普通ノ智識技能ヲ授ケ治産營業ニ堪フベキ土臺ヲ與フルニ在リ

(五)

小學校ニ於テ修身科ヲ教授スル要旨如何

小學校本旨トスル所ノ主要成分タル道德教育ノ基礎ヲ與フルニ對シテ最要ノ方便ハ修身科ノ教授ヲ主トス小學校教則大綱ニ修身ハ教育ニ關スル勅語ノ旨趣ニ基キ兒童ノ良心ヲ啓培シテ其徳性ヲ涵養シ人道實踐ノ方法ヲ授クルヲ以テ要旨トストアリ

則 勅語ノ御主意ヲ奉戴シ人道實踐ノ方法ヲ教示シ殊ニ皇室并ニ國家ニ對スル責務ヲ知ラシム其徳性ヲ涵養スルニハ兒童固有スル所ノ良心ヲ啓發培養シ而シテ其教授ノ方法ハ近易ノ俚諺及嘉言善行等ヲ例證シテ勸戒ヲ示シ教員身自ラ兒童ノ模範ト爲リ兒童ヲシテ浸潤薫染セシメシムルコトヲ要スルナリ

(六)

小學校ニ於テ日本地理及日本歴史ヲ教授スル要旨如何

小學校ニ於テ授クル所ノ學科ハ總テ之ヲ一ノ學科トシテ授クルモノニ非スノ特ニ之ヲニ依リテ其感情意志ヲ訓練シ以テ教育ノ目的ヲ達スルノ材料ニ供スルモノナリ故

ニ小學校令ニハ學科目ト曰ハズシテ教科目ト云ハリ是豈眞意ノ存スル所ナランカ本
 國日本地理及日本歴史ノ教授ニ於テモ亦大ニ然ルモノナリ小學校教則大綱ニ依レバ
 日本地理ハ日本地理ノ大要ヲ授ケ人民ノ生活ニ關スル重要ナル事項ヲ理會セシメ兼
 テ愛國ノ精神ヲ養フヲ以テ要旨トス又日本歴史ハ本邦國體ノ大要ヲ知ラシメテ國
 民タルノ志操ヲ養フヲ以テ本旨トストアリ是ニ依テ之ヲ見レバ日本地理及日本歴史
 教授ノ要旨ハ只地理歴史上ノ事項ヲ知ラシムルノミナラズ兼テ其山河形勢ノ勝、國
 體風俗ノ美等ニ就キテ其尊王愛國ノ精神ヲ養ヒ國民タルノ志操ヲ得セシメ所謂道德
 教育國民教育ノ基礎ヲ授クルヲ以テ要旨トスルモノナリ

(七)

歴史科ノ材料ハ如何ナル標準ニヨリテ撰擇スベキヤ
 茲ニ謂フ所ノ歴史ハ眞正ノ史學トシテノ歴史ニ非スシテ普通教育殊ニ小學校ノ歴史
 科トシテ其範圍ヲ定メヨリ元來普通教育殊ニ小學教育ノ教授ハ其目的トスル所ハ兒
 童ニ明智ヲ賦與シ其心中ニ強盛ナル道德的觀念ヲ形成セシメ日常ノ感情行爲悉ク此
 觀念ニ合セシムルヲ必要ナリ故ニ小學校ノ歴史科モ直接ニ歴史ヲ教授スルニアラズ

シテ史學上ニ關セル交際上ノ智識ニ依リテ兒童ノ品性ヲ陶冶スルヲ以テ目的トスヤ
 レハ我教則大綱ニモ日本歴史ハ本邦國體ノ大要ヲ知ラシメテ國民タルノ志操ヲ養フ
 テ以テ要旨トスト云ヘリ故ニ歴史科(小學校ノ)ノ材料ハ我邦國民タルモノ、倫理的
 模範ヲ示シ道德教育上并ニ國民教育上ニ就テ品性陶冶ノ實効アルベキモノヲ撰擇ス
 ルコト必要ナリ則道德教育上及國民教育上ニ於テ効果アルベキコトヲ以テ其撰擇ノ
 標準ト爲ササル可ラザルナリ

(八)

修身科ノ口授ハ德育上如何ナル位置ヲ有スルヤ
 修身科ノ口授ヲ以テ直ニ德育ト誤了スベカラズ德育ハ其範圍廣クシテ修身科ノ口授
 ノ如キハ其德育諸方便中ノ統一ヲ爲サシムル必要ノ方便ナリト云フ可シ德育ハ人ヲ
 シテ徳器ヲ成就セシムル方法ニシテ修身科ノ教授ヲ主トシ其他万般ノ教授管理ニ至
 ルマデ總テ德育ヲ完成スルノ成分ナラザルハナキナリ之ヲ要スルニ德育ハ教育ノ主
 成分ニシテ其統一ノ中心點タルベキモノナリ而シテ修身科ノ口授ハ又德育其物ノ主成
 分ニシテ德育諸成分中ニアリテ其統一ヲ爲シ其取極メテ爲スモノト云フベシ

(九) 歴史科教授法ノ大概ヲ記スベシ

歴史科教授ノ目的及ヒ方法之ヲ教授スル學校ノ種類ニ依リテ一様ナラザルモノアリ
大學其他専門ノ高等學校ニ於テハ單ニ學理ヲ以テ目的トシ中學校小學校等ノ如キ普
通學校ニ於テハ其教授ハ總テ學理ヲ專攻スルニアラズシテ依テ以テ其品性ヲ陶冶ス
ルニアレハ其教授ノ方法モ亦自ラ異ラザルヲ得ザルナリ今茲ニハ普通學校殊ニ小學
校ノ歴史科教授法ノ大概ヲ記セントス

小學校教則大綱ニ曰ク日本歴史ハ本邦國體ノ大要ヲ知ラシメテ國民タルノ志操ヲ養
フヲ以テ要旨トスト則歴史ヲ以テ單ニ事實ヲ知ラシムルノミナラズ兼テ國民タルノ
品性ヲ養成スルヲ以テ目的ト爲スナリ之ヲ以テ其教授ノ方法モ亦此目的ニ適應セサ
ル可ラズ教則大綱ニ曰ク日本歴史ヲ授クルニハ成ルベク圖書等ヲ示シ兒童ヲシテ當
時ノ實狀ヲ想像シ易カラシメ人物ノ言行等ニ就キテハ之ヲ修身上ニ於テ授ケタル格
言等ニ照ラシテ其正邪是非ヲ辨別セシメノコトヲ要スト是レ歴史教授法ノ大概ナリ
蓋シ歴史ノ科ハ訓育的教授ノ目的ヲ達スル最要ノ科ニシテ其教授上ノ要點ハ能ク多

方興味ヲ起サシムルニ在リ其圖書等ニ依リテ兒童ノ觀察力ヲ養ヒ以テ經驗的ノ興味
ヲ起サシメ其當時ノ實狀ヲ想像スルニ就キテハ研究の興味及審美的興味ヲ起サシメ
其人物ノ言行ヲ是非シ善惡ヲ辨別スルノ道理力ヲ養ヒ以テ同情の興味及社交的ノ興
味ヲ起サシムル等はレ教授上ノ要點ナリ

(一〇) 小學校ニ於テ算術科ヲ教授スルノ要旨如何

小學校教則大綱ニ曰ク算術ハ日常ノ計算ニ習熟セシメ兼テ思想ヲ精密ニシ傍ラ生業
上有益ナル知識ヲ與フルヲ以テ要旨トスト實ニ小學校ニ於ケル算術科ノ要旨ヲ盡ク
セルモノト云フベシ

更ニ之ヲ詳述スレハ

第一、日常ノ計算ニ習熟セシムルコト

第二、思想ヲ精密ニスルコト

第三、生業上有益ナル智識ヲ與フルコト

又其教授ノ要件ハ所謂理會精密ニ運用習熟シテ應用自在ナラシメンコトヲ務メ又常

ニ正確ナル言語ヲ用テ運算ノ方便及理由ヲ説明シ殊ニ暗算ニ熟達セシメンコトヲ要スルモノナリ

(二) 体操科教授ノ目的ヲ記スベシ

小學校ニ於ケル体操科ト解シテ答案ヲ付ス小學校教則大綱ニ曰ク体操ハ身体ノ成長ヲ均齊ニシ健康ナラシメ精神ヲ快活ニシ剛毅ナラシメ兼テ規律ヲ守ルノ習慣ヲ養フヲ以テ要旨トスト是レ小學校ニ於テ教授スル体操科ノ目的ヲ盡クシタルモノナリト云フ可シ依テ更ニ之ヲ詳説スベシ

第一ノ目的ハ身体ノ成長ヲ均齊ニシ健康ナラシムルニアリ小學校ノ目的ハ兒童身体ノ發達ニ留意シテ諸般ノ教育ヲ施スベキモノナリ兒童身体ノ發達ハ各部偏長偏短ノ成長ヲ爲サシメズ能ク均齊調和ナラシメザル可ラズ又其身体ノ健康ニ對シテハ運動ヲ規正ニシ以テ新陳代謝ノ機能ヲ盛ナラシメザル可ラズ是レ体操科第一ノ目的ナリ
第二ノ目的ハ規律ヲ守ルノ習慣ヲ養成スルニアリ兒童ヲシテ快活剛毅順良ニシテ活潑ナラシメ能ク規律ニ服従スルノ習慣ヲ養成スルノ必要アリ是レ体操科(殊ニ兵式体操)

操) 第二ノ目的トスル所ナリ

(三) 体操科ノ利益ヲ記スベシ

体操科ハ体育ノ主要ナル方便ニシテ其利益トスル所ハ身体ノ強壯ニアリ蓋シ体育ノ目的トスル所ハ身体ノ生長ト強壯トニ在リ身体ノ生長ニ對シテハ食物ヲ要シ其強壯ニ對シテハ運動ヲ要ス運動ニモ規定運動ト隨意運動トアリ体操ノ如キハ此規定運動ニ屬シ其利益ハ身体ヲシテ各部均齊ノ發達ヲ爲サシメ其ヲシテ充分強壯ナラシムルヲ以テ主要トシ其他心意ヲ快活剛毅ナラシメ規律ニ服従スルノ習慣ヲ養成スルヲ以テ副貳ノ利益ト爲スナリ

(三) 智徳体三育ノ關係ヲ記スベシ

教育ノ作用ハ之ヲ三大別シテ智育徳育体育ト爲ス智育ハ智力ノ發達ニ關スルモノニシテ徳育ハ行爲ノ修成即意志ノ訓練ニ關係シ体育ハ身体ノ發達ニ關係スルモノナリ元來人ハ心身ノ混合物ナレハ此兩成分ノ親密ノ關係アルハ勿論ニシテ教育ノ作業ハ實際上ニ於テハ三育互ニ密着ノ關係アルベキナリ茲ニ其三育關係ノ概略ヲ述ベンニ

(二)

今体育ノ目的ヲ達シ身体ヲシテ十分ノ生長ヲ爲サシメ十分ノ強壯ヲ保タシメントスルニハ衛生上ノ智識ヲ要スルノミナラズ私欲ニ誘惑セラレザル所ノ強盛ナル意志ノ發達ヲ要スルナリ則体育ノ目的ヲ達スルニハ智育德育ヲ要ス又智育ノ目的ヲ達セントスルニハ第一其身体ハ強壯ナラザル可ラズ強壯ナル精神ハ強壯ナル身体ニ含ドムト云フモノハ實ニ金言ナリト云フベシ且其ノ智力ニシテ純正ナル意志ノ支配ヲ受ケテハ智力其ノ物ハ却テ其身ノ不幸ヲ助長スルコトアリ故ニ智育ノ目的ヲ達スルニハ德育及体育ヲ必要スルナリ次ニ德育ノ目的ヲ達シ充分ニ有徳ノ人ヲラシメンニハ其身体ハ強壯ニシテ義務ノ實行ニ堪フベキハ勿論其智力ハ十分ニ開達シテ偏僻固陋ナル思想ニ支配セラレザル様注意スベキナリ古來聖賢ト稱セラレタル人ハ總テ聰明敏智ノ人ナラザルハナシ所謂才德兼備ナルモノ德育ノ要點ナリ是レ德育ハ亦智育体育ノ助ケヲ須ツ所以ナリ之ヲ要スルニ三育ハ相須チ相助ケテ始メテ其目的ヲ達スベキモノナリト雖特ニ三育中其上位ヲ占メ其統一ノ任ニ當ルモノハ德育ナリ

教授ニ統一ヲ要スル所以ヲ説ケ

(三)

教授ニ二様アリ一チ訓育的教授ト云ヒ一チ非訓育的教授ト云フ非訓育的教授ハ單ニ智識技能ヲ授クルヲ以テ目的トスルモノニシテ大學及各種專門學校ノ教授是レナリ訓育的教授ハ普通教育ヲ施ス學校ニ於テ施スベキ所ノ教授ニシテ其目的ハ單ニ智識技能ヲ授クルノミニアラズシテ兼テ其感情意志ヲ陶冶スルヲ要ス此教授ニ於テ主要ナル個條多シ殊ニ其統一ヲ要スト云フコトハ最必要ナリ今其所以ヲ述ベンニ元來教授ノ事物變シテ生徒ノ智識トナルニハ能ク其意識ニ結合スルヲ要ス而ノ人ノ意識ナルモノハ統一的ノモノニシテ分解スベカラザルモノナレバ之ニ事物ヲ媒介スル教授モ亦統一的ナラザル可ラザルナリ故ニ訓育的教授ニ於テ授クル所ノ教科ハ地理歴史理科其何タルニ拘ラズ單ニ其教科ニ對スル智識ヲ供スルノミニアラズシテ其智識ハ總テ道義心ノ下ニ統屬セシメテ要スルナリ故ニ諸教科目中修身科ヲ以テ其中心トナシ諸教科ヲシテ其下ニ統屬セシメザル可ラザルナリ

教授段階ヲ解説セヨ

「ヘルバルト」氏ノ主義ニ依レル教育法ニ於テハ教授ヲ五段ニ分ツ則準備、排列、導

結、統括、應用是ナリ準備トハ教師某ノ事物ヲ授ケントスルニ當リ先ツ生徒ノ既知ノ事物ニ就キテ之ト類似ノモノヲ喚起シ然ル後ニ其授ケントスルモノヲ提出シテ之ト結合スルノ礙地ヲ爲スモノナリ此舊事物ヲ喚起スルコトヲ名ツケテ準備ト云フナリ又此新事物ノ提出ヲ名ツケテ排列ト云フ此準備排列ノ後其事物ヲ他ノ既得ノモノト比較シ舊知ノモノト連續スルヲ連結ト云ヒ其類似ノ点ヲ集メ相異ノ点ト分チ新舊事物ニ共通スル類似ノ点ヲ概括スルヲ名ケテ統括ト云ヒ此ノ如クシテ統括シタル知識ハ果シテ生徒自己ノ有トナリタルヤ否ヤヲ證明スル方法ヲ名ツケテ應用ト云フナリ

(六)

實物教授ノ意義ヲ説明スベシ
實物教授ハ彼有名ナル「ヘスタロウ」氏ノ始メテ唱道セシ所ノ教授法ニシテ初等教育ノ初階ニアリテハ最必要トスル所ナリ此方法ハ素讀誦論ノ如キ器械的ニ陥ルノ弊ヲ避ケ總ベテ兒童心意發成ノ原則ニ從ヒ直接ニ其感覺機ニ訴ヘテ以テ眞誠ノ觀念ヲ作ラントスルモノナリ則之ニ依リテ以テ觀察力ヲ養成シ高等ノ思想ニ必要ナル智識ノ基礎ヲ作ルモノナリ而シテ其所謂實物トハ之ヲ廣キ意義ニテ云フトキハ必ズシモ物

形色彩等ノ如キモノニ限ラズ理想上ノ實物例ハハ慈愛正直等ノ如キ心意上ノ事ノ如キモノ亦之ヲ包含スルモノナリ

(七)

知覺力ノ育成ハ如何ナル方便ニ依ルベキカ
知覺ハ知力作用ノ初階ヲ爲スモノニシテ之ヲ單簡ニ解スレバ感覺ニ注意ノ加ハリタルモノナリ則知覺ハ諸感覺ヲ總會シ之ヲ一ノ場所ニ處置スル作用ナリ知覺ハ此ノ如ク單純ノ感覺ヨリ發生スルモノナレバ知覺力ノ育成ニハ必ズ實物教授ヲ用キ直接ニ其感覺器ニ訴ヘテ以テ其觀念ヲ確實ニセサル可ラザルナリ則知覺力ノ育成ハ其發達ノ方針ニ伴ヒ實物教授ノ方便ニ依ラザル可ラザルナリ

(八)

事物ヲ記憶セシムル仕方ノ大要ヲ問フ
心理上ノ理論ニ依レバ記憶ハ智覺作用ノ復現ト稱スベキモノナリ故ニ智覺作用ノ印象強盛ナレバ從テ記憶シ易キ理ナリ依テ事物ヲ記憶セシムルノ第一要件ハ能ク觀察力ヲ用キテ充分明瞭ナル理解ヲ與フルコト必要ナリ
事物ヲ記憶セシムル第二要件ハ注意ヲ鋭敏ニスルニアリ而シテ注意ハ興味ニ依リテ

喚起維持スルヲ得ベシ

事物ヲ記憶セシムル第三要件ハ屢其事物ノ知覺ヲ反覆練習スルニアリ則印象ヲ強クスル道ナリ

此他助記法ナド稱ヘテ各般ノ符號等ヲ利用シテ記憶ヲ助ケルノ法アリト雖此等ハ止ムヲ得ザルノ際ニアラザレバ之ヲ用ヰザルヲ可トス

(四)

興味ヲ喚起スルハ教授ノ要務ナリト云フ其意ヲ詳解セヨ

訓育的教授ハ教育ノ目的ヲ達スベキ唯一ノ方便ニシテ其目的ハ單ニ智識技能ヲ授クルノミナラズ更ニ其感情及意志ヲ養ヒ以テ其心意ヲ訓練スルニアリ則其智識技能ニ對シテ多方ノ興味ヲ起サシムルニアリ苟モ興味ニシテ存セシカ教授了ルト雖其事ヲ放棄セズ自ラ進ミテ教授ヲ完成セントスルノ傾向ヲ有スルニ至ルベシ則興味ノ在所ハ願望ト爲リテ意志ヲ起スニ至ルナリ故ニ多方不偏ナル興味ヲ起シ心意ノ全部ヲシテ強盛ナル意志ト爲リテ活動セシムルヲ以テ教授ノ要務ト爲スベキナリ

(五)

感情ノ教育上讀書科ノ價值ヲ記スベシ

凡ソ教育ナルモノハ只人ノ智力ヲ養成スベキノミナラズ更ニ其感情意志ノ發達育成ニ注意センコトヲ要ス讀書科ノ如キハ此感情ノ教育上最要ノ價值ヲ有スルモノナリ讀書ノ教授ハ大ニ國民的感情ヲ發達セシムルノ効用アリ又多方不偏ノ興味ヲ起スニ於テ其効益少カラズ則其文句事實ニ依リテ見聞觀察ノ興味ヲ起サシムベク其文法ノ研究ニ於テハ探究的興味ヲ起サシムベク又其書中ニ記載スル事項ノ如キモ私交道德ノ興味ヲ起サシムベク或ハ其忠君ノ事蹟ニ於テハ公共愛國的ノ興味ヲ起サシムベク此等ノ興味ハ總テ感情意志ノ發成ニ必要ナリ要スルニ讀書科ハ感情ノ教育上須要ノ價值ヲ有スルモノナリ

(三)

智力發達ノ順序如何

智力ハ心性三大作用ノ一ニシテ詳別スレバ智覺想像推理ノ諸作用ト爲ル智覺ハ感覺ニ注意記憶ノ諸力加ハリテ單純ナル諸感ヲ體會シ一ノ場所ニ處詰スル作用ナリ則知覺ハ直現的ノ元素ト再現的ノ元素ヲ包有スル所ノモノナリ想像ハ之ヲ分テ復生想像ト構成想像ト爲ス復生想像トハ通常記憶ト稱スルモノニシテ一旦知覺シタルモノナリ

復び之ヲ心ニ引起ス作用ナリ只其心像ハ知覺ニ依リテ得タル所ト同一ノ構成ヲ爲ス
 モノナリ構成想像トハ單ニ又想像トモ云フ此心力ハ記憶ト同シク復現的ノ作用ヲ有
 スルモノナレドモ其異ル所ハ知覺ニ依リテ得タル所ノ觀念ノ構成ヲ變シテ更ニ一種
 ノ新觀念ヲ構成スルナリ此記憶想像共ニ實物ノ觀念ヲ離レテ存スルモノニハアヲズ
 ト雖心ハ更ニ實想ヨリ虛想ニ進ムノ作用ヲ有スルモノナリ則概括斷定推論ノ三ツナ
 リ之ヲ合シテ推理ノ作用ト云フ概括トハ觀念ノ普通点ヲ概括シテ概念ヲ生スル作用
 ナリ例ヘバ鳥、魚等ハ概括作用ニ依リテ得タル概念ナリ實ニ吾人ノ日常使用スル所
 ノ言語ハ重ニ概念ナルヲ見ルナリ斷定ハ概念ト概念トノ關係ヲ見テ其或ハ一致シ或
 ハ一致セザルヲ表スルナリ例ヘバ人ハ禽獸ニ非ズ、人ハ徳性ヲ有ス、等はレナリ推
 論トハ一ノ斷定ニ依リテ更ニ新斷定ヲ生ズル作用ナリ例ヘバ人ハ徳性ヲ有スト云フ
 斷定ニ依リテ黑奴モ亦人ナレバ徳性ヲ有スルナリト演繹シ或ハ人皆良心ヲ有スルヲ
 見テ人ハ良心ヲ有スト歸納スルガ如シ之ヲ要スルニ知力ノ作用ヲ分テ智覺想像推理
 ノ三ト爲ス

三

以上ハ本問解答ノ準備トシテ智力作用ノ概畧ヲ演ベタリ以下其發達ノ順序ヲ述ベ
 ニ元來心力ノ事ハ交互錯綜セル所多クシテ截然タル分界ヲ立ツルコト能ハザルモノ
 多シ從テ其發達ノ場合ニ於テモ亦大ニ然ルモノアリ則知覺作用ハ先ツ發達スルモノ
 ナレ共其高尙ナル部分ニ至テハ想像作用ノ助ケヲ須ク而シテ想像作用ノ發達ハ亦智覺
 作用ヲ要スルノミナラズ推理作用ノ助ケヲ須クモノアリ之ヲ要スルニ智力發達ノ順序
 ヲ其大体ニ於テハ智覺、想像、推理ト順次發達スルモノナルノミ
 意志ノ作用ヲ解説シ其教育法ヲ概論スベシ
 意志ハ心性三大作用ノ一ニシテ其主眼トスベキ點ハ決心斷行スル所ノ心力ナルニア
 リ凡ソ人ノ行爲ハ皆意志ノ發動ニ依ラザルモノナシ意志ノ教育ハ教育上重要ノ位地
 ナ占ムルモノナリ抑教育ノ目的トスル所ハ完全ナル徳ニ達スルニ在リ其徳トハ善惡
 ナ判別スル所ノ良智ト決心斷行スル所ノ意志ノ能ク調和セル心意ノ狀態ニ外ナラズ
 故ニ意志ノ教育ハ教育最終ノ目的ヲ占ムルモノニシテ其教育方ハ能ク智力ヲ啓發シ
 テ善惡ヲ判別スルノ叡智ニ富マシメ又能ク感情ヲ純正ニシテ其發動ヲ誤ラシメズ以

テ適當ナル意志ノ刺戟ヲ爲サシメ其決心斷行スル所ハ躊躇スル所ナク之ヲ決行セシメザル可ラズ大學ニ所謂誠意ト云フモノハ實ニ能ク意志ノ教育法ヲ論ジタルモノト云フベシ

(三)

教授上ニ簡ヨリ繁ニ進メ「トノ法則アリ例ヲ舉ゲテ解説スベシ
凡人ノ心情ハ單純ナル状態ヨリ漸次繁雜ナル状態ニ進化スルモノナリ故ニ教授上ニ於テモ亦此心意發成ノ状態ニ適合セシムル様則所謂簡ヨリ繁ニ進マザル可ラズ今之ヲ例解センニ茲ニ修身ノ事實ヲ教授ストセンカ初年級ノ稚童ニハ日常卑近ノ作法及其事情ノ簡單ニシテ了解シ易キコトヨリ始メ漸ク上級ニ至ルニ從ヒ稍々復雜ナル人事ノ關係ニ及ボスガ如キ是レナリ併シ茲ニ注意スベキハ簡ト云ヒ繁ト云フ只兒童ノ理解ニ達スル難易ヲ以テ標準トセサル可ラズ例ハ動物ノ事ヲ教フルニ其組織ハ假令簡單ナリトスルモ單細胞ノ動物ヨリ始ムルガ如キハ兒童日常ノ經驗ニ遠ク却テ其組織ハ復雜ナルモ日常見聞セル高等動物ニ依ルノ解シ易キニ若カザルガ如シ
教授ハ事實ヨリ法則ニ進ムベシト云フ其意ヲ解セヨ

(二)

凡心力ノ發生スル状態ニ就キテ考フルニ事實集合シテ法則ヲ發見スルニ至ルモノナリ故ニ心性發達ノ順序ニ依リ教授作用ノ上ニ於テモ亦事實ヨリ法則ニ進ムノ道ヲ執ラザル可ラズ事實ヲ授ケズシテ先ツ法則ヲ授クルコトハ最謹ミテ之ヲ避ケサル可ラズ例ヘハ修身科ニ於テ「己ノ欲セザル所之ヲ人ニ施スコト勿レ」ト云フノ格言ヲ以テ一ノ法則トシテ授クル場合ノ如キ諸多ノ日常事實ニ依リテ己ノ厭フ所ハ人モ亦之ヲ厭ヒ人ノ厭フ所ハ己モ亦之ヲ厭フコトヲ實驗會得セシメタル上ニ非サレバ此格言ヲ授クルニ由ナキナリ其他算術ノ教授ニ於ケル法則ノ如キ常ニ其事實ノ教授ヲ怠ル可ラザルナリ

(一)

具体ヨリ抽象ニ進メトハ如何ナル意義ナリヤ
凡幼童ノ心意ノ發達ハ具体ヨリ抽象ニ進ムモノナリ此理法ニ於テ教授ヲ施サル可ラザルコトヲ云フナリ具体トハ固有ノ形体ヲ具フルコトニテ例ハ「某ノ人某ノ鶏某ノ犬等ハ其物ニ固有セル形質ヲ有ス所謂個體觀念ヲ爲スモノナリ抽象トハ個體觀念ニ就キテ其同一共通ノ點ヲ抽象シタル所ノ普通ノ觀念ヲ爲スナリ人、雞、犬等ノ概

恐ハ書是レナリ凡幼者心意ノ發達ハ凡テ具体ヨリ抽象ニ進ムモノナリ又或野蠻人ノ如キハ抽象上ニ於ケル數ノ觀念ナキモノアリ今教授上ニ於ケル一ノ注意ヲ舉ゲンニ算術ノ如キ其始メ數ノ觀念ヲ作ルヤ先ツ實物ニ依リテ之ヲ教ヘ漸ク進ミテ虛數ニ及ボス如キ其一例ナリ

(三)

先ツ総合シ後分解スベシトハ如何ナル意義ナリヤ
総合トハ單一ノ智覺ニ始マリ相同シキ点ヲ集合シテ群ヲ作り以テ一點ニ総合スルノ作用ニシテ所謂客觀的教授法ナリ此法ハ心意ニ智識ヲ得ルノ方法ニシテ第一着ニ施行スベキ所トス心意ノ發達ニ對シテハ其成長ヲ輔クルモノナリ分解トハ總合法ニ依リテ得タル歸納ノ智識ヲ以テ基礎トスルガ故ニ主觀法ナリ又題目ヲ分解スルガ故ニ分解法ナリ此法ハ第一着ノ事實ノ智識ニ依ルヲ以テ第二着ナリ心意ニ對シテハ其強壯ヲ助クルモノナリ以上記スル所ノ如クナルヲ以テ教授上ノ要ハ先ツ事實上ヨリ総合シテ法則理法ヲ得後之ヲ事實ニ適用シテ其應用ヲ務ムベシト云フ意ナリ
發問上注意スベキコトヲ記スベシ

(七)

發問上注意スベキコトヲ列舉スレバ畧左ノ如シ

- 一、發問ハ簡單ニシテ明白ナルヲ要ス
- 二、發問ハ範圍漠然タルベカラズ
- 三、發問ハ生徒ノ思考ヲ促スニ足ルモノナラザル可ラズ
- 四、發問ハ全級ノ注意ヲ喚起スルヲ要ス

(五)

試驗ノ目的ヲ記スベシ

小學校ニ於テ從來試驗ヲ過重スルノ弊アリ甚シキニ至リテハ試驗ニ及第セシムルコトヲ以テ平素教授上唯一ノ目的ト爲シ所謂試驗的教授ト懸評セラル、者サヘアルニ至レリ今ヤ此般ノ弊ハ追々消除セラレタリ試驗ハ小學校ノ專業中重要ナル事ノ一ニ屬スルニ相違ナシ然レモ試驗ニハ自ラ其目的範圍アリ要スルニ教授ヲ施ス一ノ補助的方法ニ外ナラザルナリ試驗ノ目的ハ我小學校教則大綱ニ盡クセリ曰ク小學校ニ於テ兒童ノ學業ヲ試驗スルハ專ラ學業ノ進歩及習熟ノ度ヲ檢定シテ教授上ノ參考ニ供シ又ハ卒業ヲ認定スルヲ以テ目的トスベシト則試驗ノ目的ハ教授上ノ參考ニ供シ又

(元)

ハ卒業ヲ認定スルヲ以テ目的トスベキモノナリ
 讀本ヲ用ヰテ讀方ヲ教授スル方法ヲ略記スベシ
 先ツ讀本中ノ事項ニ對シ豫備トナルベキ事柄ヲ問答スベシ
 次ニ授クベキ事項ノ大要ヲ談話スベシ
 次ニ授クベキ文章中ノ新字若クハ雜字ヲ摘書シテ其讀方及意義ヲ教フベシ
 次ニ讀本ニ付讀方ヲ教ヘ且其義ヲ講ズベシ
 次ニ讀本中ノ事項ニ付要領ヲ問答スベシ
 次ニ必要ノ文字ヲ書取ラシムベシ

以上讀本ヲ用ヰテ讀方ヲ授クル一例ナリ

(呂)

一ヨリ十マデノ數ヘ方ヲ教授スル方法ヲ記スベシ
 算術ノ教授ニ於テ計數ハ其基礎ヲ爲スモノナレバ最忽ニス可ラザル所ナリ其計數ニ於テ特ニ注意スベキハ確實ナル數ノ觀念アルニアラズシテ只言辭上數ノ連續ヲ暗誦セシムルノ弊ナリトス尋常科ノ初年級ニアリテ一ヨリ十マデノ數ヘ方ヲ教授スルニ

當リテハ其意義ノ明瞭ナル觀念ヲ得シメサル可ラザルナリ其方法ハ座右ニ存在スル實物ニ依リテ教授スベシ例ヘハ窓ノ數机ノ數等ニ就キテ最初ニハ一枚一個等ノ言辭ヲ悟ラシメ次ニ一個ト一個ニテ二個トナルコトヲ眞正ニ了解セシメ次ニ三ニ遷ル等最慎密ナル練習ヲ爲ス此ノ如ク始メハ便宜ナル實物ニ依リ漸ク進ミテ線、点等ヲ用ヰ抽象的ニ數并ニ其計ヘ方ヲ授ケ一二三ヨリ進ミテ十ニ至ル數ノ觀念及ビ言辭ヲ會得セシムベキナリ

(三)

五ヨリニテ減スレバ三トナルコトヲ教フル方法ヲ問フ
 先ツ實物若クハ圖圈等ヲ以テ五ナル數ノ觀念ヲ充分ニ了解セシムルコト必要ナリ
 次ニ五ナル數ハ四ト一若クハ三ト二ヨリ成ルモノナルコトヲ分解シテ能ク會得セシムルコト
 次ニ五ナル數ハ三ト二ヨリ成ルモノナルコトヲ會得セシメタル上ハ其内ニテ取り除ケバ只三ダケ殘ルコトヲ知ラシム此練習ニハ實物若クハ圖圈等ヲ示シ十分ニ其觀念ヲ鞏固ニスルコト必要ナリ只言辭上ノミノ練習ハ嚴ニ之ヲ避ケザル可ラズ

(三) 分數ニ整數ヲ乘スルコトヲ教授スル方案ヲ記スベシ

凡ソ分數ノ教授ニ於テ其基礎トシテ最練習シ置カザル可ヲザルコトハ二分ノ一ト云フ觀念ニアリ即二分ノ一ト云ハハ直ニ數ノ半分ヲ意味スト云フコトヲ直覺スル様ニ教授シ置キ以テ分數ノ基礎ヲ作ルコト必要ナリ

次ニ分數ニ整數ヲ乘スルコトヲ教フルニハ圖解實物等ヲ用ヰテ二分ノ一(即分數)ヲ二倍(即整數ヲ乘ズル)セバ二分ノ二即一個トナリ三倍スレバ二分ノ三即一個ト二分ノ一ナルコト四倍スレバ二分ノ四即二個トナルコト等ヲ成ルベク多數ノ例ニ依リテ教示スルナリ

次ニ此等ノ諸式ヲ通觀シ其諸式ニハ通有ノ一点アルコトヲ發見セシムルコトヲ勉ムベシ即整數ヲ以テ分數ニ乘スルトキハ其結果常ニ其整數ヲ以テ分數ノ分子ニ乘ズルニ同シキモノナルコト是ナリ依テ歸納上左ノ一則ヲ設定ス

整數ヲ以テ分數ヲ乘ズルニハ其整數ヲ以テ分數ノ分子ニ乘スベシ
次ニ此法則ヲ以テ諸般ノ式ニ適用シテ其應用ヲ廣ムルナリ

(三) 十ヲ二等分スレバ五トナルコトヲ珠算ニテ教授スル方法

先ツ暗算ニテ十本ノ筆ヲ二人ニ分テハ五本宛ナルコト十ノ二等分スレバ五ナルコト等ヲ充分ニ練習シ次ニ之ヲ珠算ニテ運算スル法ヲ教ム則實數タル十ヲ右ニ置キ法數タル二ヲ左ニ置キ其法實等ノ名義ヲ教ヘ次ニ「二一添作ノ五」ト云フ九々ノ唱ヘ方及其意義并ニ其運算法ヲ教ユ了テ各種ノ例題ニ依リテ之ヲ演習スベシ

(三) 習字教授ノ手順ニ付心得ヲ述フ可シ

先ツ習ハシムベキ文字ヲ手本若クハ板上ニテ示シ其讀方及意義ヲ知ラシメ後字形運筆書方等ヲ示シ終リテ習ハシムベシ但初年級ニアリテハ最初ハ常ニ石盤ニテ習ハシムルコト必要ナリ兒童字ヲ習フ間ハ教師常ニ机間ヲ徘徊シテ書方ヲ矯正スベシ或場合ニハ衆生ヲシテ一同ニ手ヲ止メシメ板上ニ指示スル必要アルベシ
其他習字教授ニテ心得ベキハ硯水草紙及身体等ニ就キ其清潔ヲ忽ニスベカラザルニトナリ

(三) 作文科ノ復文的教授法ヲ記スベシ

(三)

作文科ハ兒童ヲノ自己ノ思想ヲ文字ニ依リテ表出セシムル所ノ術ニシテ之ニ二様アリ
 一兒童自ラ其記述スヘキ事項ヲ定メ其字句ナリ順序ナリ自ラ工夫シテ成文スルヲ自
 作的教授法ト云ヒ教師其ノ記述スベキ事項ノ範圍記述ノ順序等ヲ教示シテ而シテ後ニ
 コレヲ記述セシムルヲ復文的教授法ト云フ復文的教授法ハ幼年ノ生徒ノ未ダ自ラ其
 思想ヲ取纏メ難キモノニ對シテ重モニ課スベキ方ナリ今其教授法ノ大略ヲ記サンニ
 問答法ニ依リテ記述スベキ事項及順序ヲ定メ之ヲ取纏メテ言語ニ表出セシムルニ
 トナ主トシ次ニ其思想ニ必要ナル文字ヲ授ク次ニ其文字ト思想トヲ問答シツ、文
 章ニ完成スベキナリ

修身科ニ於テ左ノコトヲ教授スル方案ヲ記ス可シ

其準備トシテ驕慢ノ厭フベク謙遜ノ喜フベキ念ヲ起サシムルコト
 次ニ貝原篤信ノ海路歸國セシ船中少年ノコト貝原氏ノ謙謙ナリシコト等ヲ談シ充分
 ニ其感情ヲ惹起スベキコト

次ニ其談話ヲ取纏メテ勸語ノ中ニ就キテ左ノ語ヲ授ク貝原氏ノ行ト結合ス

恭儉已ヲ持シ

次ニ此語ヲ十分平易ニ談話シ禮儀ハ已ヲ持スルニ必要ナルモノナルコトヲ知ラシメ
 自己ノ身上ニ於テ体察セシムルコトヲ求メシム

(四)

蒸氣ノ張力ヲ教授スル方案ヲ記スベシ

蒸氣ノ張力ヲ教授スルニハ其準備トシテ先ツ蒸氣器關ヲ觀察シ蒸氣ノ作用ハ如何ニ
 強盛ナルモノナルカヲ知ラシム此方法ハ都市ナラハ瀛車汽船ヲ目撃セシムヘク田舎
 ナラハ製絲場ニ伴ヒ行ク等相當ノ便宜ヲ求ムヘシ
 次ニ此偉大ノ作用ハ蒸氣ノ張力ニ依ルモノナルコトヲ知ラシムルニハ土瓶鐵瓶等ニ
 湯ヲ沸騰セシメ其蓋ヲ壓上スルコトナドヲ觀察セシムヘシ是レ實ニ有名ナル「ワツ
 ト」氏蒸氣力發明ノ基礎ヲ爲シタル所ナリ
 次ニ此蒸氣ノ張力ヲ利用シ以テ器關ヲ運轉セシムルモノナルコトヲ充分明瞭ニ叙述
 シ以テ簡單ナル圖譜ヲ示スヘシ若シ蒸氣機ノ小模型品アラハ之ヲ示スコト至極好都

(六) 尋常小學第四年ニ於テ金子受取文ヲ教授スル方法ヲ問フ
 先ッ其準備トシテ人ヨリ金錢ヲ受取リタルトハ受取テ書クヘキモノナルニトチ知
 シム

次ニ其受取ニ記載スヘキ事項ヲ問答シ其書式等ハ自ラ一定ノ式アルモノナルニトチ知
 知ラシメ其書式ヲ兒童ト問答シツ、塗板ニ掲載ス

次ニ其書式ヲ示シタル上ハ其式ヲ事實ニ應用スルコトヲ習ハシム其方ハ何ノ某ヨリ
 金若干何品代トシテ受取リタル等總テ現實ノ事トシテ記入セシメ各種ノ應用ヲ爲シ
 充分ニ其適用ヲ誤ラザルニ至リテ止ムヘシ

(六)

授業中兒童ヲシテ注意ヲ乱サシメザル心得如何
 授業中兒童ノ注意ヲ把握シ其レヲシテ乱レザラシムルハ實ニ教授ノ基礎トシテ最必
 要ノ事トス兒童ノ注意ハ興味ニ依リテ發起スルヲ得ヘシ之ヲ維持シテ乱レザラシメ
 ヲト欲セバ其注意ヲ乱スヘキ障害ヲ除クヘシ則其授業ハ兒童ノ心力ニ適シ既得ノ知

(五)

圖ト連絡同化セシムヘキハ勿論兒童ヲシテ常ニ整容端座セシメ浮薄疎慢ノ姿勢ヲ爲
 サザラシムヘシ其他兒童ノ心目ヲ乱スヘキモノ例ヘバ窓掛ノ風ニ翻ヘリテ兒童ノ頭
 部ニ激シ或ハ蚊蠅ノ机邊ニ飛翔スル等ノコトハ嚴ニ之ヲ防止スヘキナリ

教室ニ於テ衛生上注意スヘキ諸點如何

教室ニ於テ衛生上注意スヘキ諸件多シ其最要ノ事ヲ擧クレバ左ノ如シ

光線ノコト 光線ノ受ケ方及其度壁色塗板ノ塗方等ノコトニ注意スヘシ

温度ノコト 寒冷ニ過ギザルコト又温暖ニ過ギテ頭部ニ充血ヲ來サシムルコト等注意

スヘキコトノ要點ナリ

空氣ノコト 空氣ノ流通ハ教室內ニ於テ特ニ注意シ炭酸ガ毒ノ恐ルベキ害ヲ避クヘ

キ

兒童ノ姿勢 兒童姿勢ノ適否ハ最モ衛生上ニ必要ナリ頭ヲ屈シ且俯伏セザルコト胸

部ヲ張ルヘキコト兩脚ヲ床上ニ着スヘキコト等其要件ナリトス

机卓ノ適度 机卓ノ身体ニ適セザルハ姿勢ノ不正ヲ來シ体育上非常ノ弊害ヲ醸スモ

其他洒掃ヲ能クシ清潔ヲ保チ痰壺ヲ用意スル等亦注意スヘシ

(四) 兒童ニ清潔ノ習慣ヲ養成スル方法如何

兒童ヲシテ清潔ノ習慣ヲ得シメシムルコトハ頗ル必要ノ事ニシテ其養成ノ方法ハ一ニシテ足ラズト雖今其主要ナルト信ズル事柄ヲ列擧スレバ左ノ如シ

第一其身体衣服等ハ常ニ之ヲ汚染セザル様注意スルコト兒童ハ墨其他ノ物ニ墨シテ
手指等ヲ汚スモノナレバ其甚シキモノハ常時注意シテ清潔セシムルコト
際ニ當リテハ一々之ヲ點檢シ甚シキモノハ悉ク之ヲ洗淨セシムヘシ

第二鼻粘液ヲ能ク拭ハシムヘキコト此ガ爲メニハ常ニ塵紙手拭等ヲ所持セシメサル
可ラズ

第三其机卓等ハ清潔ニセシムルコト此ニ對シテハ常ニ雑巾ヲ所有セシメテ便宜ノ時
間ニ於テ其机卓ヲ拂拭セシムルコト必要ナリ

第四少クトモ一週一回宛校内ノ大掃除ヲ爲サシムルコト等ナリ

(四) 教室内ノ塵埃ヲ防ガンニハ如何セバ可ナリヤ

教室ノ模様學校管理ノ状態ニ依リ一様ナラザル所モアレドモ其一般ヲ擧グレバ外履
物ト床上ノ履物トハ嚴ニ之ヲ區別スルコト是レ最要件ナリ其他常ニ掃除ヲ嚴ニシ少
クトモ毎週一回ハ必ズ床上ヲ拭ハシムルコト等亦必要ナリトス

(三) 兒童ヲ賞スルニ當リ注意スヘキ要件ヲ記スヘシ

兒童ノ賞罰ハ適度ニ之ヲ用ユレバ著シキ效驗アルト同時ニ其用法宜シキヲ得ザレバ
弊害擧テ言フ可ラザルモノアリ今兒童ヲ賞スルニ當リ注意スヘキ要件ヲ記セバ略左
ノ如シ

一、賞ハ適當ナラザル可ラズ例ハハ濫賞ニ流レ又ハ吝賞ニ陥ラザルガ如キコト是レ
ナリ

二、賞ハ行爲自然ノ結果ニ類センコトヲ要ス例ハハ勉強ヲ賞スルニ休息ヲ以テシ賦
實ヲ賞スルニ信任ヲ以テスルガ如シ

三、賞ハ公平ニシテ全校兒童ノ信服ヲ得ザル可ラズ

- 四、賞ハ能ク情實ヲ盡クシ事實ヲ誤任ス可ラズ
- 五、賞ハ自勉ノ結果ニ依リテ得ラル、モノナルヲ知ラシメ他人ト競争シテ勝ナヌルガ爲ニ得ラル、モノト思ハシム可ラズ
- 六、賞ハ成ルヘク薄クシテ多數ニ及ボスヘシ

(四) 運動場看護者ノ心得如何

運動場ニ於テハ教師タル者看護ヲ怠ル可ラズ運動場ノ看護ハ教室ノ管理ト輕重アルヘキモノニアラズ則運動場看護者ハ主トシテ兒童ノ身体上及道徳上ニ於テ危險ノ虞ナキ様看護スルヲ以テ心得ト爲サル可ラス又其行爲ハ教授管理上ノ參考ニ供スベキ重件多シ故ニ多數ノ兒童ヲ支配スベキ場合ニハ寧ロ多少ノ制抑ヲ用ヰルモ放捨ノ所爲アラシム可ラズ然レモ制抑ヲ適用シテ兒童自由運動ノ銳氣ヲ折リ可ラズ成ベク興味アル遊戯ヲ指導シテ自然ニ放縱ノ行ヒヲ爲メニ暇アラザラシメヨ又兒童進ミテ自制ノ意志漸ク盛ナルニ從ヒテ漸ク其看護ヲ緩ニスルヲ可トス

◎ 第三節

○ 國語

(一) 「候ハハ」ト「候ヘハ」トノ別并ニ「花咲かば」ト「花咲けば」トノ別ヲ解スベシ

「候ハハ」及「咲かハ」ハ將然言ニシテ未來ニ係ル言ナリ之ヲ例解スレバ「明日好天氣ニ候ハハ」野外へ御同遊申度云々」及「明春花咲カハ必花下ニ遊ハシ」等未來ノコトニ係ルトキニ使用スル言ナリ

「候へば」及「咲けば」ハ已然言ニシテ過去ニ屬スル言ナリ之ヲ例解スレバ「今朝來斯の好天氣に候へば午後より某地へ出掛度云々」及「吉野ノ櫻既ニ花咲クハ遊客日ニ多シ云々」等過去ニ屬スルトキニ使用スルナリ

(二) 左ノ文章ヲ俗解スベシ

春されば、花咲きにはひ、秋されば、もみづる木々を、よそに見て、春秋しらす、たけの子の、生とめしより、曲玉の、まがることなく、墨繩の、たゞひとすぢに、久かたの、みろらそさして、すなはにし、

是レハ竹ノ長歌ナランカ○春さればハ春ニナレバト云フコトナリ曲玉ハマガルト云フコトノ枕詞ナリ枕詞ハ某ノ言ヲ言ヒ出デントスルトキニ上ニ冠ラスル詞ナリ○みろらハ空ト云フコトミハ添言ナリ○墨繩ハ一筋ト云フコトノ枕詞ナリ○すなはにしハ眞直ニト云フコトナリシハ強辭ナリ○更ニ全文ヲ俗解スレバ春ニナレバ百花咲キ句ヒ秋ニナレバ紅葉スル種々ノ木ヲ餘所ニ見テ頓着セズ春秋ニ關係スル所ナク管子ガ生出シソノ時カラ更ニ曲ガルト云フコトハナク只一筋ニ空ヲ指シテ素直ニト云フコトナリ

(三)

左ノ句ニ於テ傍線ヲ付シタル辭ノハヨラキ及カ、リムスビナ記スヘシ
 雨風打續きてこゝろあわたしく散過ぬ青葉になりゆくまで方にだゞ心をのみぞなやますあわたしく散過ぬ 此の如ガ詰辭ナリ但上ニ係リ辭ナシ此ノ如キナ徒ノ格ト云フ心をのみぞなやます 此ヲカ係リ辭ニシテなやますノ字ガ結ビ辭ナリ
 「あわたしくあわたしく根ノ語尾ノ語ナリ此辭ノ働キハよくえしき活用ニ屬シ連用言ナリ此あわたしく散過ぬト散リト云フ用言ニ續ク副詞ニナルナリ

「散過ぎぬ」散リト云ヒ過ギト云フ何レモ用言ニテ散リハ四段活用ノ第二階即連用言ナリ過ギハ上ニ二段活用ノ連用言ナリぬハ助辭ニテなぬぬぬぬれト變化ス去レハぬハ終止段ナリ

(四)

「なやます」ハ四段活用ノ連体言ナリ上ニテノ係アルガ故ニ終止トナル
 連体言及已然言ノ終止トナル場合ヲ例解スヘシ
 上ニテノやかなんのがナドノ係詞アラハ連体言ヲ終止トシテ結ブナリ例ハ「花ヲ咲キケル」「人ノ戀シキ」等ナリ

上ニテノ若ノ係詞アラハ已然言ヲ終止トシテ結ブナリ例ハ「花コソ咲ケ」「人コソ知ラチ」等ナリ

(五)

左ノ文章ヲ俗解スヘシ
 ことありならぬふるまひをしてあながらに富貴をねがはんこそめしからぬは終りぬ
 ぬれしみのとめてとみさかえんこそよからぬ
 道ヲナイ舉動行爲ヲ爲シテ憂テ富ミ貴カラムコトヲ願フコソ惡イデアラウ自分ノ分

(六)

限相應ニ屬ミ勉メテ富ミ榮エヤキヨソ宜カラケ
左ノ詞ニ假名ヲ附ケヨ

斧、聲、男、青、
斧、その、聲、こゑ
男、を、その、こゑ、青、おと

(七)

將然言(一段言或ハ未然言)ノ受詞ヲ例ニテ示セ
將然言ノ受詞ハ、す、む、まし、なむ、は、ね、り、ましか、じ、で、た、を、向、レ、ト、大方ヲ舉ゲ
ヲ其例ハ

花咲かず 花さかじ 花さかで
花咲かじ 花すさかじ
花は咲かまし 花すさかまし
花よ咲かなむ 花さかぢや
花咲かは

花こそさかぬ
花すさかぬ
花こそさかめ
花こそさかましか

(八)

左の二首の歌を俗解せよ
○東風吹かばにはひれこそよ梅の花

主なしとして春な忘れず

此歌ハ右府菅公太宰権帥ニ貶セラレ筑紫ニ下ラントシ給フトキ平素愛觀セル庭前
ノ梅ニ對シテ詠ミ出テ給ヒシナリ一首ノ意我ハ今ヨリ遠ク西國ニ下ルト雖若シ東
風吹カバ之ニ托シテ清香ヲ西海迄送リ越セヨ我梅花ヨ假令主人ナシト雖春ノ季節
ヲ忘レテ開クベキ時ニ開カザルガ如キ事ハメナトナリ

○天の原ふりさけ見れば春日なる
三笠の山にいでし月かも

此歌ハ安倍仲麻呂唐ニ在リシカ今日本ニ歸ラントスルトキ月ヲ見テ詠ミシ歌ナリ
天の原トハ天ノコトナリ廣キ意味ヨリシテ原ノ字ヲ付リふりさけ見ればのふりハ
ウチ見ルノウチト全ク發語ナリさけハ避テ離レテ遠望スルナリ月かもノかもハ
感動辭ナリ一首ノ意ハ大空ヲ遙々眺望スレバ眼ヲナキ海上ヨリ月ガサシ出デタリ
ヨノ月ハ我故國春日ニアル三笠ノ山ヨリ出タ月カマアト云フ意ニテ表ハ月ノコト
ナレドモ故郷ヲ思フ真情ハ言外ニ溢レタルナリ

(九) 左ノ文章ニ於テ括弧内ノ句ヲ俗解セヨ

「あひみひことは命なりけり」ト思ふにもいとマ立ちはなれにくき花の梢物しめやか
にうち霞みてや、くろく成行くは「雨にならむとにやあらん」吹かよる夕風いと肌寒
きに二ひら三ひらとみるが中はこのもかしこのもいひあはせたらむやうにはるは
るど枝離れゆく「あふ哀れあはれ」くどうちまもる「わか涙」へど、め難さの散しく
花のあわれなるかどとふ嵐のうらめしさかあらじ「わが世のふけぬるにこそ」

此ハ落花ヲ惜ム文ナリあひみひことは命なりけりトハ命サハアレバ又相見ルコト

ナ得ント云フ意ナリ古今集ニ「春ことに花のさかりありなりぬとあひ見ん事い
のちなりたり」トノ歌アリ○雨にならんとにやあらんハ雨天ニ成ラウトスルノデ
アラウカト云フ意ナリ○あな哀れあはれくどうちまもる、あなハ嗚呼ト云フニ
同シ感嘆ノ詞ナリ嗚呼哀レナルカナ哀レナリト見詰ムルナリ○わが世のふけぬる
にこそトハ我身自身ノ年寄リタルナリト云フ意

(五) 左記全文ノ意義ヲ俗解シ且係結及ビ傍線ヲ付セル詞ノハタラキヲ付ス可シ

あはれ世のならはしこそはかなきものいあなれ 高さ いやしき品いとことなりとい
へどもれのがじとこ、るゆくばかりなるは稀にてた、足らはぬとのみ予ねばかりけ
る花を袖もふどては梢の嵐をうらみ月をめぐるとは尾上の雲をいとふためし唯かは
のかるべき林にやさる鶴鷄ははつかなるさ枝の陰をのみ頼み流に水もとむる嵐はた
く腹ふくる、に過ぎずとこころ古の人もいひつれかゝることわりをだにわかたばかき
りあるこの世にかぎりなきことをれもふべきかは(れもひはせじ)

あはれ(感嘆辭)世ノ習ハシトイフモノハラツチモナイ者アハアル貴キモアリ賤キ

モアリテ品位ハ異リ、雖銘々ノ心通リニシテナルモノハ少ク只足ラハヌコト
 ハカリコレコノ通り多クアルワイ花ヲ思フニ付キテハ梢ヲ吹キ暴ラス嵐ノアルヲ
 怨ミ月ヲ賞スルニ付キテハ山ノ尾上ニカ、レル浮雲チキラフ例ハ誰ガ逃レヤウカ
 逃レハセヌ林間ニ宿ル鶴鷄ハ僅ナル小枝ノ陰チノミ頼ミトシ流ニ水チ求ムル鼠
 ハ只腹ニ滿タスニ過ギスト古人莊周モ言フ莊子逍遙篇ニ曰ク鶴鷄巢ニ於深林ニ不レ斯ル道
 過ニ一枝ニ俛鼠飲レ河不レ過ニ滿腹理チサヘ辨ヘタナラハ限リアル此世ニ限リナキ欲ナフチ思フカイ思イハセマイ
 高さ

いやしき

○形状言

ねもふ

四段活用

うらみ

上二段活用

のがる

下二段活用

過ぎす

上二段活用

係辭結辭ハ上文ニ符標ヲ付ケタリ

(二)

左ノ文章ニ於ケル結語ノ誤謬ヲ正セ

花子咲きてめ

空はいつしか晴れぬる

五十年の昔どころなりにし

花子咲きてめハ花子咲きなんニ正スベシ

空ハいつしか晴れぬるこのまゝにてよろし

五十年の昔どころはなりにしハ五十年の昔どころはなりにしかニ正スベシ

疑ハ「あらず」ト疑ハ「あらず」トノ區別彼ハ「去りけり」ト彼ハ「去りけん」トノ區別ヲ

説明セヨ

「あらず」「あらず」共ニ拒否ノ言ニシテ「あらず」ハ未來ノ打消チイヒ「あらず」ハ現在

ノ打消チ云ナリ

去りけりノ「けり」ハ過去ニ属スル決定辭ニシテ去りけんノ「けん」ハ過去ノ推量辭ナ

(三) 左ノ二首ノ歌ヲ解釋セヨ

○世の中に絶えて櫻のさかぢらは

春の心はのどけからまし

古今集ニ見エタリ在原業平ノ歌ナリ但古今集ニアハ「さかぢら」トアリ此歌ノ意ハ此世ノ中ニ櫻ノ花ガサツバリサカナイモノナラバ春中ノ人心ガサハ「シナイデ静ニ安穩デアラツノニ何分櫻ガアルガ爲ニ春ハ人心ソハ」シテ穩ナラズトナリ是レ櫻ヲ惡ク云フ様ナレドモ其實ハ櫻ヲ愛スル心深キヨリ斯ク云ヒ出テタルナリ
○龍出川紅葉みたれて流るめり

渡らは錦なかなや絶むなむ

是亦古今集ニ讀人知ラズトシテ見エタリ龍田川ハ大和國平群郡ニアリテ紅葉ノ名所ナリ此歌ノ意ハ龍田川ニハ紅葉散リ乱レテ流ル、標子ナリ(めりハ見エアリノ約ニテ思ヒ見ルノ意俗語ノ様子ト云ニ當ル)トノ紅葉ノ流レタル川ヲ横サマニ渡ラハ紅葉ニテ織リ成シタル錦ノ真中ヲヌチキルデアラウトナリ

(四) 左ノ文章ヲ俗解セヨ

ながづきつともりかみさ月一日の程の空ちう曇りたるに風のいたう吹くに園なる木の葉もものほろ／＼とこぼれ落つるいと哀れなり櫻の葉むくの葉なところれつれ十月ばかりに木立多かる庭はいとめでたし野分の又の日こそいみじう哀れに覺ゆれすいがいなどの臥しなみたるに前親をも心くるしげなり

ながづき(九月)ノ晦日ツキゴヨリノ略ナリ ながづき(十月)朔日ツキタチノ音便 此ノ空ガウチ曇ツテアルノニ風ノ盛シク吹クニ依テ園バミタル木葉ヤ何カマハラト木ノ枝カラ散リ落ツルサマヲ見レバ最感情ガ起ルデアル園バミタル葉ハ櫻ノ葉棕ノ葉ナドコソ落チル十月ゴロニ木チ多ク植込ミタル庭ハ木葉錦チシキタルヤウニナリツモツテ最見所アリテオモシロイ又野分(野ノ中チ吹キ分クル意ニテ秋ノ暴風チ云フ)ノ翌日コソ盛シクア、感情チ起スヤウニ思ハレルツレハ透垣スヤイナドガ野分ニ吹キ倒サレテ臥レ並ンデアアルノニ其上前裁(庭ニツハリタル草木類チ云)モイナクアレテキノダクナ様ナ様ニシテアル

(三) 左ノ詞ノ意義ヲ解釋セヨ

かたとき。たづさ。つゆふ。こゝろする。つゆばかり。かたと。片時ノ意暫時ノ意

たづさ 便宜ノ意ヲヨリ、ヨルハ等ノ義

つゆふ 集マル

こゝろする 注意ヲ爲ス意

つゆばかり 露程、少シ計リノ意

(六) 左ノ詞ニ傍訓ヲ附セヨ

數、基、操、笛、尾花、

數 かす

基 もとの

操 みさを

尾 そばな

(七) 左ノ文章ヲ俗解セヨ

春もたれ行くころ蛙の時得がほにすたくもたれかし時鳥のはつねいかにと思ふころむら雨のはらくと降り出でたるもまたれかし五月雨のいく日もふりくらしして文の姿々くりかへしつゝ居たる何となく世の中の事にも遠ざかりぬる心地する

春モ追々過ぎ去リテ最早盡キントスル頃蛙ノ時ヲ得テ得意顔ニ鳴クモオモシロイ時鳥ノ初音如何デアアルダラウト思フ時分ニ村雨ノハラ／＼ト降り出シタノモ亦オモシロイ梅雨ノ雨天續キテ幾日モ降り續キ暮シテ鬱陶シキニアノ書ヤコノ本ヲクワカヘシ／＼シテ讀ンデ居ルハ何トイフコトナク自然世間ノウルサキチ遠ザカツテナル心持ガスル

(八) 左ノ詞ノ意義ヲ解釋セヨ

あめつちのきはみ。なのめならぬかた。さうげなし。うたかたの消ること。かう／＼し。

あめつちのきはみ 天地ノアラン極ト云フ意ヨノ世ノアラン限ヲ云フ
なのめならぬかた 一通リデナイ方ニテ貴人ナリ

さうげなし 然ル氣色ナシト云フ意

うたかたの消ゆるごとく 泡沫ノ消ユル如クハカナキト云フコトウマカマハ泡ノ

枕詞ニテコノ句ニテハ枕詞ノミチ出シテ泡ノ詞ヲ除キタルナリ

かうくし 神々シノ音便ニテ神サビタル意ナリ

(三) 左ノ文章ヲ俗解シ係結ヲ標示セヨ

たけさもの、ふの起を尋ねればいにしへ田村なごいひけん將軍どもの事ハ耳遠けれ
ばさしおきぬのかみより今まで源平の二なかれず時により折に隨ひておはやけの
れまもりとはなりにける桓武天皇と聞えし帝をば柏原とも申しけりろの御子に式部
卿の皇子と聞えしより五代の末に平將軍貞盛といふ人維平維時とて二人の子をもた
りけり間近く榮えし西八條の清盛のねどはかの太郎維平より六代の末なりき

猛キ武夫ノ起リテ尋ヌレハ古ヘ坂上田村麿ナンド云ウマ將軍タチノ事蹟ハ舊キコ

トニテ人ノ耳馴レナケレバ措キテ言ハズ昔ノ世ヨリ今ノ代ニ至ルマテ源氏平氏ノ

二流ガアレノ通り時ニ依リ折ニ隨ヒテ朝廷ノ御守護トハナツマテアル桓武天皇

ト申シ上ゲタ天子サマハ又柏原ノ天皇トモ申シ上ゲタツノ帝ノ御子ニ式部卿ノ皇
子ト申上ゲタ高原親王ヨリ第五代目ノ末ニ平將軍貞盛ト云フ人ガアツテ維衡維時
ト云フ二人ノ子ヲモツテナラレタ目ノ前ニ近時榮華ニ暮ヌ所ノ西八條ノ第二居ラ
ル、清盛ノ大臣ハ彼ノ貞盛ノ子ノ維衡カラ六代目ノ孫デアツタ

係結ハ前文ニ符標ヲ付ケタリ

(三) 左ノ辭ノ意義ヲ解スベシ

いと興あることこころ。

何不足なく看護するよとを得しとぞ。

とみ。

すみじく。

げに。

ひたふるに。

とみに。

いと興あることには、尤も面白きことには、これらあれと云フこと

何不足なく看護することを得しと云、何一ツ不足ナコトモナシミカキ看護スルコトガ出来

タトコレコノ通フ申シマシタト云フ意

いとゞ 最々ノ約ニテ猶更ニト云フ意

いみじく 甚シ又勝レタルノ意

げに イカサマ、成程等ノ意

ひたぶるに 一向ヒカスラニト云フ意

とみに 疾イサニノ意急ニ又俄ニト云フ意

(三) 左ノ詞ニ假名ヲツケヨ

餌、悔、率、泡、尾

餌 ぬ

悔 くゆ ヲ行下二段

率 ひさむ ヲ行上二段

泡 あわ

尾 び

(三) 左ノ文章ヲ正シ其理由ヲ述ベヨ

昨日神戸ニ行ク

功ヲ立ツトテ勉強セリ

カノ書ハ文部省ニテ出版シタリ

「昨日神戸ニ行ク」ハ「昨日神戸ニ行キ」ト改ムベキカ故ハ行クト云ヘハ現在ニテ

昨日ノ字ト合セザレハナリ

「功ヲ立ツトテ勉強セリ」ハ「功ヲ立テントテ勉強セリ」ニ改ムベキカ故ハ功ヲ立テ

ヤウト未然ノ「ト」ヲ計リテ勉強シタルモノナレバケレバ將然言ナル「立テ」ニ行下

ニ改ムベシ

「カノ書ハ文部省ニテ出版シタリ」ハ「彼書ハ文部省ニテ出版セラレタリ」ト改ムベ

キカ かの書を文部省に出版せしむ

(三) 左ノ文章ヲ俗解セヨ

大江戸より本所へ渡したる橋を兩國の橋と呼ぶに、此の川よりをちばしむ

さの國なりければしか名つけたりとある人いひさ五中將のどほくもさにけるかな
どわび給ひし隅田川は此かみつ瀬にして淺草なる大びさも此流よりとりわび奉りけ
るとす

大江戸カラ本所へ架ケ渡シテアル橋ヲ兩國ノ橋トコレコノ通りイフ昔此川ヨリア
チヲハ下總ノ國デアツタニヨツテサヤウニ兩國ト名ツケタノデアルト或人ガ曰ヒ
マシタ又在五中將在原ノ業平ノコトナリ業平ハ在原氏
ノ五男ナルニヘニ世ニ在五中將ト云ト申シマシタ人東國ニ住居スベキ國
求メントテコノ隅田川マデ來テ「遠方マデアキタコトチヤナア」トツラウ、ケルシ
ウ思ヒ給ヒテ嘆キ給ウマツノ隅田川ハ此川ノ上流デアツテ淺草ニアル佛（大びさハ
ア觀音ノコトナリト云）ハ此河カラ取り上ケ奉ツタトコレコノ通り申シツタヘテチアル

◎ 第四節

○ 算 術

筆算ノ部

(一) 量ト數トノ區別ヲ問フ

増シ或ハ減シ得ベキモノ即測算シ得ベキモノヲ量ト云フ例ヘハ人數貫目道ノ長サ等
ノ如シ量ノ大小ヲ測算スル爲ニ用ユル所ノ同種ノ一定量ヲ量基ト云フ

數ハ或量ト其量基トヲ比較セル意ヲ現ハスモノナリ例ヘハ或家ニ家族五人アリ道ノ
長サ十二里アリト云フ場合ニ於テ五ト云ヒ十二ト云フモノ是レナリ

(二) 乘算ノ定義ヲ問フ

乘算トハ同數ヲ累加スルノ法ナリ尙詳ニ之ヲ言ヘバ乘數ガ數基ヲ包含スル丈ケ被乘
數ヲ累加スル法ナリ

(三) 或數ヲ或他ノ數ニ掛クルトキ乘數ガ如何ナルトキニ其積ガ被乘數ヨリ小或ハ大ナル
カ

乘數即法數ガ一個ヨリ大ナルトキハ其積ハ被乘數ヨリ大ニシテ乘數ガ一個ヨリ小ナル
トキハ其積ハ被乘數ヨリ小ナル

トキハ其積ガ被乗數ヨリ小ナリ

(四) 若干ノ數ノ和トハ如何ナルコトカ

若干ノ同シ種類ノ數ヲ加ヘ合セテ得タル所ノ數ヲ名クテ若干ノ數ノ和ト云フ

(五) 整數ノ定義ヲ問フ

整數トハ或量ヲ其量基ニ比スルニ當リ量基ノ幾倍カテ過不及ナク包含スル意ヲ表シタル數ヲ云フ

(六) 分數ノ定義ヲ問フ

分數トハ或量ガ其量基ニ充テザルモノ則量基ノ一倍ヲモ包含セザル數ヲ云フナリ

(七) 架橋アリ西ノ橋臺ハ水面上三十三尺東ノ橋臺ハ水面上二十八尺橋ノ長八十五尺ナルトキハ河幅幾何ナルヤ

今試ニ東橋臺ノ最上部ヨリ水面ニ平行シテ繩ヲ引クトスルトキハ東ハ二十八尺西ハ三十三尺ナルヲ以テ西ノ方五尺高ク恰モ直三角即勾股形ヲ得而シ其繩即股ハ本題問フ所ノ河幅ナリ而故自乘ヨリ勾自乘ヲ減スレバ股ノ自乗トナルハ勾股形ノ通則ナル

ヲ以テ左式ヲ得

$$33 - 28 = 5 \quad \sqrt{5^2 - 5^2} = 84.852$$

答八十四尺八五二

(八) 金若干圓ヲ年利五分ニテ十二年間貸シ元利合計金八百圓ヲ得タリト云フ其元金幾圓ナリヤ

一ケ年ニ五分ツ、得ルトキハ十二年ニハ其十二倍、 $0.05 \times 12 = 0.6$ 則六割ヲ得而シ八百圓ハ元利ノ和ナルヲ以テ利率ニ元金ノ率一個ヲ加ヘタルモノヲ以テ除シ元金ヲ得

$$800 \div (1 + 0.05 \times 12) = 500.$$

答五百圓

(九) 毎日八時廿五分ツ、働キ六反三分ノ二ノ草ヲ二日二分ノ一ノ間ニ刈ルニ四人ヲ要スル率ニテ十五人が毎日九時間ツ、働カバ三日四分ノ三ノ間ニハ幾反ノ草ヲ刈ルカ
六反三分ノ二ノ草ヲ刈ルニ四人ノモノ一日ニ八時廿五分ツ、働キ二日二分ノ一ヲ

要スルモノナレバ

$$6\frac{2}{3} \div (4 \times 2\frac{1}{2} \times 8\frac{2}{5}) = 8 = \text{一人一時間ノ刈取分ヲ得此ニ十五人一}$$

日九時ツ、働キタル三日四分ノ三ノ相乗積ヲ乘シテ答數ヲ得

$$8 \times 9 \times 3\frac{3}{4} \times 1\frac{5}{8} = 40\frac{10}{1}$$

答四十反百〇一分ノ十

(5) 幾若干俵アリ、毎俵二十八錢四分ノ一ニ賣レバ原價ノ八分一ノ利ニ當ルト云フ今悉ク之ヲ賣リ全利四圓五十二錢ヲ得タリト然ラハ此俵數幾何

毎俵二十八錢四分ノ一ハ是レ原價ノ八分一ノ利ヲ含ムモノナルヲ以テ直ニ二十八錢四分ノ一ノ利ト見做スヲ得ス故ニ今仮ニ原價ヲ一個ト定ムル時ハ

$$1 + \frac{1}{8} = 9\frac{1}{8}$$

ハ二十八錢四分ノ一ノ元利ノ率ニシテトト $\frac{9}{8}$ ハ則原價ノ率ト

(1 + $\frac{9}{8}$)ハ利金ノ率ナリトス是率ヲ以テ二十八錢四分ノ一ニ乘シ毎俵ノ利子ヲ得此利子ヲ以テ四圓五十二錢ノ總利ヲ除シ總俵數ヲ得

$$1 + \frac{1}{8} = 9\frac{1}{8} = \text{元利ノ率} \quad 1 - (1 + \frac{9}{8}) = \frac{1}{9} = \text{利子ノ率}$$

$$4.52 \div (23\frac{1}{4} \times \frac{1}{9}) = 144$$

答百四十四俵

(2) 或人麥若干石ヲ百五十四圓ニテ買ヒ之ヲ賣リテ二分五厘ノ損ヲナセリト云フ賣價何程ナリヤ

$$154 \times (1 - \frac{25}{100}) = 115.5$$

答百十五圓五十錢

(3) 左式ノ答數ヲ求ム

$$(\frac{2}{3} - \frac{1}{2}) \times \frac{4}{5} \div \frac{2}{15}$$

答 一個

(3) 帽四個ト靴一足トノ價ノ差ハ五十錢ナリ而シテ帽四個ト靴三足トハ其價相等シト云フ各一ツノ價幾何ナリヤ

靴一足ノ價ヲ一個ト仮定スレバ帽ハ四分ノ三ナリ故ニト $\frac{3}{4}$ ナル靴帽ノ差ノ率ヲ以テ差ノ五十錢ヲ除シテ靴ノ價ヲ得

$$50 \div (1 - \frac{3}{4}) = 200 \text{ 錢} \quad 200 \times \frac{3}{4} = 150 \text{ 圓}$$

答靴二圓 帽一圓五十錢

(四) 直徑一寸六分ノ管ヲ以テ水ヲ入ル、二十四時間ニテ滿ツル桶アリ今之ヲ八時間ニ滿
タシメントスルニハ直徑幾何ノ管ヲ用フベキヤ

凡水管ノ水ヲ送ルハ其水管截面積ノ大小ニ比例ス而シテ同形ノ面積ハ $\pi \times \text{直徑}^2$
シテ面積率ハ各直徑同乗子ナルヲ以テ之ヲ省キ常ニ直徑自乗ヲ以テ水管ガ水ヲ送
ルノ多少ノ比トナス此理ニ基キ左ノ比例式ヲ得

$$8 : 14 = 16^2 : 32^2 = 448 \quad \sqrt{448} = 21.166$$

答二寸一分一六六

(五) 原價三十二錢ノ物ヲ定價ノ二割引ニテ賣ルモ尙原價ノ一割五分ダケノ利益アル様ニ
セントス定價ヲ幾何ニ定ムベキヤ

元金率一個ニ一割五分ヲ加ヘタルモノヲ以テ原價三十二錢ニ乘シ $32 \times (1 + 15\%) = 36.8$ ヲ得是レ定價ヨリ二割引ニ賣リテ損失ナキ代金ナリ之ヲ元金率一個

ヨリ二割ヲ減シタルモノヲ以テ除シ賣價ヲ得

$$36.8 \div (1 - 20\%) = 46$$

答四十六錢

(六) 年利五分ノ重利ニテ元金百圓ヲ三ヶ年間貸スルハ元利合計幾何トナルカ

$$100 \times (1 + 0.05)^3 = 115.7625$$

答百十五圓七十六錢二厘五毛

(七) 或人其所得金ノ五分ノ一ト三分ノ一トヲ費セシニ猶三十五圓ヲ餘セリト云フ其所得
金幾何カ

所得金ヲ一個トシ其五分ノ一ト三分ノ一トヲ費シタルヲ以テ殘ス所ノ率 $1 - \frac{1}{5} - \frac{1}{3}$

$$= \frac{1}{3} \text{ トナル之ヲ以テ其割合ニ相當セル三十五圓ヲ除シ所得金ヲ得}$$

$$35 \div \frac{1}{3} = 105$$

答七十五圓

(八) 一斤ニ付八錢ノ砂糖アリ之ヲ九錢五厘ニテ賣ルトキハ此利率幾何

$$9.5 + 8 = 1.5 \quad 1.5 + 8 = 1.875$$

答一割八分七厘五毛

(九)

蒸氣船アリ三時十五分間ニ廿六里ヲ行ク今此力ヲ以テ午前五時ヨリ午後五時三十分迄航スルトキハ幾里ヲ駛スルカ

$$12 - 5 = 7 \quad 7 + 5 \frac{1}{2} = 12 \frac{1}{2} \text{ 時} \quad 26 \div 3 \frac{1}{6} \times 12 \frac{1}{2} = 100$$

答 百里

(十)

三商アリ甲ハ若干圓ヲ三ヶ月間出シ總利金ノ十二分ノ一ヲ得乙ハ若干圓ヲ九ヶ月又丙ハ七百五十六圓ヲ四ヶ月間出シ總利金ノ二分ノ一ヲ得タリト云フ甲乙ノ元金各幾何

$$1 - \left(\frac{1}{2} + \frac{1}{12} \right) = \frac{5}{12} = \text{乙ノ元金率}$$

$$\frac{1}{2} \div \frac{5}{12} = 750 \times 4 = 3 \times 9 = 277 \frac{7}{9} \text{ 甲ノ元金}$$

$$\frac{1}{2} \div \frac{1}{12} = 750 \times 4 = 3 \times 3 = 166 \frac{2}{3} \text{ 乙ノ元金}$$

答 甲二百七十七圓九分ノ七
乙百六十六圓三分ノ二

(三)

三百三十六ト二百十トノ兩數ニ於ケル最大公約數ヲ見出シ其理ヲ解説セヨ

336	1112	210	84
210		126	84
126		84	0
84			
42			

$$336 \div 42 = 8$$

$$210 \div 42 = 5$$

$$84 = 42 \times 2$$

$$126 = 42 \times 2 + 42$$

$$216 = 42 \times 2 + 42$$

$$42 \times 2$$

$$336 = 42 \times 2 + 42$$

$$42 \times 2 + 42 \times 3$$

則上式ノ如ク順次交互ニ除シテ終リニ最大公約數ヲ得若シ得ザレバ公約數ナキモノトス其理ハ乃下式ニ示ス如ク 336 210 共ニ 42ノ倍數ナレバナリ以上ノ論ハ已ニ分解シタル反面上ノモノナリ今之ヲ順序ニ論ズレバ左ノ如シ

乗除法ノ定理ニ依レバ或法數ヲ以テ割リ盡クスベキ數ハ其數ヲ幾倍スルモ前ノ法數ヲ以テ割リ盡クスコトヲ得ベク又同法數ヲ以テ割リ盡クスベキ數ヲ加減スルモ又前ノ法數ヲ以テ割リ盡クスベキヲ以テ今假リニ諸數ノ間ニ公約數ヲ持ツモノト

シのチ及約數トスルトキハ

$$\frac{336}{x} = 3 \dots (1)$$

$$\frac{126}{x} = 2 \dots (2)$$

$$\frac{(2)-(1)}{x} = 3 - 2$$

上式ヲ得乃(2)ヨリ(1)ヲ減ズルモ亦の以テ割リ盡スベシ而ノ同理ニヨリ(1)ヨリ(2)ト(1)トノ差或ハ其幾倍ヲ減ズルモ亦のチ以テ割リ盡クスコトヲ得故ニ此ノ如ク進ミ行キテ最後ニの値ヲ知ルベキナリ若シのノ値一個ナルトキハ是レ乃公約數ナキモノナリ

(三)

職工アリ一日ノ賃錢五十錢ニシテ若シ業ヲ休ムルハ其日ノ賃錢ハ勿論受ケザル上ニ尙一日ニ付十五錢ノ過料ヲ出スベキ約定ヲ以テ十五日間備ハレ賃錢五圓五十五錢ヲ受取リヨリト云フ此職工ノ休ミシ日數ヲ問テ

若シ十五日間悉ク働ケバ $5 \times 15 = 75$ ノ賃金ヲ得ベキ割合ナリ然ルニ現在得タル五圓五十錢トノ差ハ全ク一日五十五錢ノ賃錢ト十五錢トノ過料トノ總金ナレバ左式ニヨリテ答數得

$$5 \times 15 = 75 \quad (75 - 5.55) \div (5.5 + 1.5) = 3$$

答 三 日

(三)

船工アリ甲ハ十八日ニ乙ハ十六日ニシテ各一船ヲ造リ了ル今甲乙共ニ働ケハ幾日ニシテ此船ヲ造リ得ルカ

甲ハ十八日ニ乙ハ十六日ニ成工スベキヲ以テ各一日ニ甲ハ其 $\frac{1}{18}$ 乙ハ $\frac{1}{16}$ ヲ成スベシ故ニ $\frac{1}{18} + \frac{1}{16}$ トノ合併力ヲ以テ全事業率 1 ヲ除ノ答ヲ得

$$1 \div \left(\frac{1}{18} + \frac{1}{16} \right) = 8 \frac{8}{17}$$

答 八日十七分ノ八

(三)

額面金額百圓ニシテ五分利付ノ公債証書一枚ノ價九十五圓七十錢ナルトキ若干ノ公債証書ヲ買入レ毎年四百五十圓ノ收入ヲ得ンニハ幾何ノ金高ヲ要スルヤ

五分利ト云ハハ百圓ニ付五圓ノ利子ナリ故ニ百分ノ五ヲ以テ四百五十圓ヲ除シ以テ公債ノ額面高ヲ得 $450 \div \frac{5}{100} = 9000$ 此高ニ公債ノ實價即 $\frac{95.7}{100}$ ヲ乘シ以テ買入金高ヲ得

$$9000 \times \frac{95.7}{100} = 8613$$

答八千六百十三圓

(三) $\sqrt{2}$ 1977 の差ヲ小數点以下毛位イテ求ム

但運算ノ全体ヲ記載スベシ

$$\begin{array}{r} \sqrt{2} = 1.4142 \\ 1 \overline{) 19.0000} \\ \underline{12} \\ 70 \\ \underline{70} \\ 0000 \\ \underline{0000} \\ 0000 \\ \underline{0000} \\ 0000 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 24 \quad 100 \\ \underline{96} \\ 281 \quad 400 \\ \underline{281} \\ 000 \\ \underline{000} \\ 0000 \\ \underline{0000} \\ 0000 \\ \underline{0000} \\ 0000 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 28282 \quad 604000 \\ \underline{565664} \\ 28336 \end{array}$$

答一分二厘八毛

(六) 六十八ノ職人が七日ニシテ仕上タル仕事ヲ三十五人ニテスレバ幾日カ、ルカ但四則

ニテ解釋チナス可シ

六十八ノ職工七日ニ仕上タル仕事ハ $7 \times 68 = 476$ 日ニシテ猶ホ職工一人ノミ
 働キテ四百二十日ヲ要スベキモノナリ故ニ今三十五人働クトキハ其日數ノ三十五
 分ノ一ニテ足ルベク即チ $476 \div 35 = 13.6$ 日ニテ成効セシムベキナ

(七) 長方形ノ地面アリ長サト幅ノ比ハ五ト三ノ比ニ等シ而シテ面積ハ百三十五坪ナリ長

サ幅各々幾何ナリヤ

今仮ニ五ト三トノ比ヲ以テ五間ト三間トノ實數トナシ其面積ヲ求ムル時ハ十五坪
 ナ得之ヲ以テ百三十五坪ヲ除スル時ハ恰モ其九倍ナリ而シテ長方形ノ面積ハ縦横ノ
 相乘ナルヲ以テ此倍數ヲ平方シ以テ各邊ニ乘シテ答數ヲ得

$$\sqrt{135} \div (3 \times 5) = 3 \quad 5 \times 3 = 15 \text{ 間} \quad 3 \times 3 = 9 \text{ 間}$$

答長十五間 幅九間

○算術

珠算之部

(一) 大小兩數アリ各幾何ナルヲ知ラズ唯其差百四十八ニシテ兩數ノ和ニ百三十四ヲ加ヘタル總數七百六十ナルヲ知レドト云フ依テ問フ兩數各幾何

(術)七百六十ヨリ百三十四ヲ減シテ兩數ノ和ヲ得之ニ百四十八ヲ加ヘテ二除シ大數ヲ得又兩數ノ和ヨリ百四十八ヲ減シテ二除シテ小數ヲ得

答大數三百八十七 小數二百三十九

(二) 穀商アリ一俵三斗五升入ノ米五俵ニ付金十六圓ノ割ニテ千八百九十五俵ヲ買入レ其後之ヲ賣リテ千二百十六圓ノ利ヲ得タリト云フ然ルトキハ壹圓ニ付幾何ノ相場ニテ賣リシカ

(術)五俵ノ代金十六圓ヲ五除シ一俵ノ代金三圓二十錢ヲ得之ヲ千八百九十五倍シ其積ニ千二百十六圓ヲ加ヘテ賣價トス又三斗五升入ニ付之ヲ千八百九十五倍シ總石高ヲ得之ヲ賣價ノ示ス圓ノ倍數ニテ答ヲ得

答九升一合一勺〇五

(三) 成人米八百五十俵ヲ二百七十二圓ニテ買ヒ一俵ニ付三十八錢ニテ三百七十五俵ヲ賣
 其運賃ニ七圓五十錢ヲ費シ其殘リヲ百六十六圓二十五錢ニテ賣リ一俵ニ付三錢ヲ
 運賃ヲ拂ヘリト云フ全利金何程ナリヤ

(術) 三十八錢ヲ三百七十五倍シ之ニ百六十六圓廿五錢ヲ加ヘテ賣價總額ヲ得之ヨリ
 第一運賃七圓五十錢ト第二運賃三錢ノ四百七十五倍(八百五十俵ト三百七十五俵
 トノ差數)ト元金ノ二百七十二圓トノ和ヲ減ツテ答ヲ得

答十五圓

(四) 或學校ニ於テ生徒ノ授業料ヲ徵集スル金四十五錢ヲ納ムルモノ七十九人金三十錢ヲ
 納ムルモノ八十三人金十五錢ヲ納ムルモノ百六人アリト云其收入總額幾何ナリヤ

(術) 四十五錢ヲ七十九倍シテ四十五錢口ノ總計ヲ得三十錢ヲ八十三倍シテ三十錢口
 ノ總計ヲ得十五錢ヲ百〇六倍シテ十五錢口ノ總計ヲ得此三口ヲ總計シテ總額ヲ得
 答七十六圓三十五錢

(五) 一俵三貫八百目入ノ炭拾八俵ノ代金七圓二十錢ナリ今八十五俵ノ代金廿九圓七十五

錢ナラハ一俵ノ目方幾何

(術) 七圓二十錢ヲ十八ニテ除シ四十錢ヲ得即三貫八百目ノ代金ナリ次ニ廿九圓七十
 五錢ヲ八十五ニテ除シ三十五錢ヲ得四十錢ニ付三貫八百目ナレバ三貫八百目ヲ四
 十ニテ除シ九十五文目ヲ得則一錢ニ價スル炭ノ目方ナリ之ヲ三十五倍シテ壹俵ノ
 目方ヲ得

答三貫三百二十五目

(六) 或學校ニテ月謝ヲ徵集スルニ金六十五錢ヲ納ムルモノ三百三人四十八錢ヲ納ムルモノ
 ノ七百十三人三十錢ヲ納ムルモノ六百九十七人無月謝ノモノ廿九人ナリト云フ月謝
 金ノ總額及全校生徒一人ニ付平均幾何ノ月謝ナルカ

(術) 六十五錢ヲ三百三倍シ六十五錢口ノ總計ヲ得四十八錢ヲ七百十三倍シテ四十八
 錢口ノ總計ヲ得三十錢ヲ六百九十七倍シテ三十錢口ノ總計ヲ得此三口ヲ總計シテ
 月謝金ノ總額ヲ得之ヲ三百三人七百十三人六百九十七人二十九人ノ和數ヲ以テ除
 シ一人ノ平均額ヲ得

答總額七百四十八圓二十九錢
平均額四十二錢九厘五毛余

(七) 大豆十四俵ト一斗二升ノ價二十五圓八十錢ニシテ一升ノ價五錢ナレバ一俵ノ量如何

(術) 五錢ヲ十二倍シ六十錢ヲ得之ヲ二十五圓八十錢ヨリ減シ殘リヲ五錢ヲ以テ除シ
其升數ヲ得十四ニテ除シ一俵ノ容量ヲ得

答三斗六升

(八) 鹽津伊丹ニテ酒壹樽ノ價金四圓七十二錢ツ、ニテ二百四十八樽ヲ買ヒ之ヲ東京ニ回

漕シ一樽ニ付五十六錢ノ利ヲ加ヘテ百七十三樽ヲ賣リ殘餘ハ一樽五圓十六錢ツ、ニ
テ賣リシト云フ然ラバ通計幾何ノ利益アリシカ

(術) 四圓七十二錢ヲ二百四十八倍シ買價總計ヲ得又四圓七十二錢ニ五十六錢ヲ加ヘ
之ヲ百七十三倍シ之ヲ(甲)トシ二百四十八樽ヨリ百七十三樽ヲ減シ之ヲ法トシテ
五圓十六錢ヲ倍シ之ヲ(乙)トシ此甲乙二口ノ和ヨリ買價總計ヲ減シテ利益ヲ得

答百二十九圓八十八錢

(九) 五反六畝十六歩ノ田地ヨリ十二石七斗二升ノ米ヲ獲ルトセバ

ノ米ヲ獲ベキカ

(術) 五反六畝十六歩ヲ歩ニ通シ其畝數ヲ以テ十二石七斗二升ヲ除シ一步ノ収獲米
ヲ得之ニ一町ノ步數三千ヲ乘ズ

答二十二石五斗

(一〇) 金一圓ニ付一斗四升五合替ノ白米四百五十四俵ト端米一升二合五勺金一圓ニ付一斗

五升二合替ノ白米二百八十五俵アリ此價合セテ幾何ナリヤ

但各一俵四斗入リ

(術) 四斗ヲ四百五十四倍シ之ニ一升二合五勺ヲ加ヘ其米高ヲ得一斗四升五合ヲ以テ
除シ代金ヲ得又四斗ヲ二百八十五倍シ之ヲ一斗五升二合ニテ除シ代金ヲ得此兩口
ヲ合シテ價金總計ヲ得

答二千二圓五十錢

(二) 煙草商アリ一斤ニ付價金六十五錢五厘ニテ八十五斤ヲ買入レ其内若干斤ハ買價ノ儘

ニテ仲間ニ分チ餘ハ一斤ニ付七十四錢四厘ニテ之ヲ賣リ五圓七錢三厘ノ利ヲ得ヤ

リト云フ間仲間ニ賣リ斤數何程

(術)七十四錢四厘ヨリ六十五錢五厘ヲ減シ八錢九厘ヲ得是レ乃チ一斤ノ利ナリ之ヲ以テ五圓七錢三厘ヲ除シ以テ賣却セル總斤數五十七斤ヲ得是レヲ八十五斤ヨリ減シテ二十七斤ヲ得則仲間ニ賣リ斤數ナリ

答二十七斤

(三) 鉛五百二十貫目ヲ以テ彈丸ヲ製造スルニ大小各一千四十個ヲ製セリ而シテ二個ニ付大小ノ差十八匁ナリ各一個ノ重量何程ナリヤ

(術)今仮リニ同重量トスル時ハ各一個ノ目方ハ五百二十貫目ヲ一千四十個ノ二倍ヲ以テ除シタルモノニシテ二百五十目ナリトス此ニ十八匁ノ二分ノ一即九匁ヲ加ヘテ大ノ彈丸ノ重量ヲ得減シテ小ノ彈丸ノ重量ヲ得

答大二百五十九匁 小二百四十一匁

(三) 重十四貫六百目ノ物品ヲ十四里ノ處ニ運送シテ賃金一圓九十三錢二厘ヲ得タリ今此割合ニテ六貫八百目ノモノヲ八里半ノ處ニ運送セバ賃金如何

(術)四貫六百目ニ二十四倍シタル積ヲ以テ一圓九十三錢二厘ヲ除シ三錢ヲ得是レ一里一貫目ノ運賃ナリ之ニ六八〇〇(六貫八百目)ト八、五(八里半)トヲ乘シテ賃金ヲ得

答一圓七十三錢四厘

(四) 若干坪ノ地面アリ之ニ一坪ニ付三本ノ割合ニテ桑ヲ栽シニ桑ノ總數一万五千七百四十四本ナリト今其縱八十二間ナリト云フモハ横何間ナリヤ

(術)一万五千七百四十四本ヲ三ニ以テ除シ五千二百四十八坪ヲ得之ヲ更ニ八十二間ヲ以テ除シ横ノ間數ヲ得

答六十四間

(三) 麥八石ノ價ハ米六石ノ價ニ等シ麥一石ハ米一石ノ價ヨリ八十錢下直ナリト云フ然ラハ米麥各一石ノ代價何程

(術)米一石ノ價ヲ仮ニ一個ト定ムレバ麥ハ其八分ノ六則七分五厘ナリ此兩者ノ差ヲ求メテ二分五厘ナル率ヲ得此率ヲ以テ八十錢ヲ除シ以テ三圓二十錢ナル米ノ價ヲ

九十七

得三圓二十錢ヨリ八十錢ヲ減シ二圓四十錢ナル麥ノ價ヲ得

答米三圓廿錢 麥二圓四十錢

(六) 醬油七升五合入三樽ノ價金二圓七十錢ナレバ金十六圓八十錢ヲ以テ三斗五升入ノ醬油幾樽ヲ買得ルヤ

(術) 七升五合ヲ三倍シ其積ヲ以テ法トシ二圓七十錢ヲ除シ一升ノ代金十二錢ヲ得此十二錢ヲ以テ十六圓八十錢ヲ以テ一石四斗ヲ得之ヲ三斗五升ニテ除シ樽數ヲ得

答 四 樽

(七) 成人羅紗二丈五尺ヲ買ヒ之ヲ金廿二圓七十二錢五厘ニ賣リシニ其利正ニ五尺三寸ノ買價ニ當ルト問フ利金何程

(術) 三丈五尺ニ五尺三寸ヲ加ヘタルモノヲ以テ廿二圓七十二錢ヲ除シ一尺ノ元金ヲ得之ヲ二十五倍シテ買價總額ヲ得廿二圓七十二錢五厘ノ賣價ヨリ減シテ利金ヲ得

答三圓九十七錢五厘

(八) 炭一俵ニ付三貫五百目入四十八俵ノ價十三圓四十四錢ナリ今百六十四俵ノ

圓〇四錢ナルトキハ一俵ノ目方幾何ナリヤ

(術) 三貫五百目ヲ四十八倍シ其積ヲ以テ十三圓四十四錢ヲ除シテ一貫目ノ代金八錢ヲ得此八錢ヲ以テ五十九圓〇四錢ヲ除シ七百三十八貫目ヲ得之ヲ百六十四俵ニテ除シ一俵ノ目方ヲ得

答四貫五百目

(九) 米百五十石ヲ買ヒ一割二分ノ利ニテ賣ラバ利益金百十七圓ヲ得然ルトキハ一石ノ元價幾何ナリヤ

(術) 利金百十七圓ヲ一割二分ニテ除シ元金ヲ得之ヲ百五十分シテ一石ノ元金ヲ得

答六圓五十錢

(一〇) 八ヲ以テ四ヲ割ルトキ及八ヲ以テ六ヲ割ルトキノ割算九々ヲ擧グ其意味ヲ説明スベシ

今説明ノ便チ計リテ四ヲ四十トシテ之ヲ述ベシハ八ヲ以テ四十ヲ除スレバ五トナル此九々ヲ八四添作ノ五ト云ヒ則四ヲ五ニ作ルナリ又六モ仮ニ六十トシテ説明ス

シニ八ヲ以テ六十ヲ除スレバ七個ト餘數四ヲ得ル答ナリ此九々ヲ八六七ノ四
云フ則七ノ商ト餘數四トアルヲ示スナリ

(三)

玄米一石二斗アリコレヲ内一割三分耗ニテ春クモハ白米幾何

(術)一個ヨリ一割三分ヲ減シ残り八割七分ヲ以テ一石二斗ニ乘シ白米ヲ得

答一石〇四升四合

(三)

長十二間巾八間深三間ノ池ヲ埋ムルアリ四方ヨリ土ヲ運フニ東ノ距離六町西ハ八町
南北ハ各四町ニシテ其人員東十五人西十六人南八人北十人ナリ今其行程人員ニ應シ
テ賦課セハ四方各幾坪ナルカ

(術)十二間八間三間ノ相乘積ヲ求メテ二百八十八立方間ヲ得

東六間西八間南四間北四間ヲ通シテ其力ヲ比スルニ東チ一トスレバ西ハ七分五厘

南北各一個五分トナル依テ之ニ各人數ヲ乘シ東十五西十二南十二北十五ノ此數ヲ

得其總數ヲ求メテ五十四ヲ得

次ニ二百八十八立方間ヲ十五倍シ五十四除シテ東ト北トノ取分ヲ得又二百八十八

立方間ヲ十二倍シテ五十四除シ西ト南トノ取分ヲ得

答 東及北 各 八十立方間
西及南 各 六十四立方間

◎ 第五節

○ 地理科

(一) 我國ノ物産中海外輸出品ノ重ナルモノヲ舉ゲル

我國ノ物産中海外ニ輸出スル品ノ重ナルモノハ生絲、絹、茶、陶器、漆品、穀物等ナリ

(二) 我邦ノ主ナル平野ヲ記スベシ

我邦ハ山岳多ク曠原大野ト稱スベキモノ少シ今平野ノ主ナルモノヲ記セバ北海道ニ石狩平野ト十勝平野アリ石狩川及十勝川ノ河谷ニ屬ス。本土ノ平野ハ奥州平野アリ山形平野、越後ノ平野、關東ノ平野、濃尾ノ平野、畿内ノ平野アリ、四國ニハ阿波ノ平野、讃岐ノ平野アリ。九州ニハ筑前ノ平野アリ是其大要ナリトス

(三) 山陰山陽兩道中ノ縣名及其縣廳所在地ヲ記セ

鳥取縣 因幡國鳥取
島根縣 出雲國松江

右山陰道
 岡山縣 備前國岡山
 廣島縣 安藝國廣島
 山口縣 周防國山口
 右山陽道

(四) 我邦ノ兵制如何

我邦上古兵農分クテ全國ヲ舉テ皆兵ナリシガ中古ニ至リ軍國ノ制ヲ設ケ全國ノ丁壯ヲ取リテ兵ト爲ス光仁天皇ノ此ヨリ特ニ強壯者ヲ募リテ兵トナシ羸弱者ヲ農トセシヨリ兵農漸ク分レ其後紀綱漸ク紊レ兵權武門ニ歸シ遂ニ封建ノ勢ヲ爲シ世襲ノ武士アルニ至レリ維新後諸藩ヲ廢シ古制ニ復シ更ニ歐米ノ軍制ヲ折衷シ海陸軍ヲ分チテ益其擴張ヲ計ラル

現今ノ兵制タル帝國臣民滿十七歳ヨリ滿四十歳迄ノ男子ハ總テ兵役ニ服スルノ義務アリ兵役ヲ分テ常備、後備、及國民トス常備ニ現役ト豫備役アリ現役ハ陸軍ハ三年海

軍ハ四年ニシテ滿二十歳ニ至リタルモノ之ニ服シ後備ハ五年ニシテ常備ヲ終リタルモノ之ニ服ス國民兵役ハ滿十七歳ヨリ滿四十歳迄ノモノニテ常備及後備兵役ニ在ラサルモノ之ニ服ス又海軍ノ兵員ハ沿海地方及島嶼ノ壯丁ヨリ徵募シ又志願兵ヲ募ル

陸軍ハ近衛及師團ニ分ツ海軍ハ鎮守府ヲ置ク其位置ハ横須賀、吳、佐世保、舞鶴室蘭ナリ但舞鶴室蘭ハ未ダ開府ニ至ラズ是レ現今兵制ノ概略ナリ

(五) 我邦ノ生絲及茶ヲ産出スル地ヲ問フ

我邦ニテ生絲ヲ産出スル地ハ上野信濃ヲ最トシ其他奥羽地方即陸前陸中羽前羽後磐城岩代等ヨリ其他山陰東山北陸東海諸國即丹波丹後但馬等ヨリ近江美濃飛騨信濃甲斐等ナリ

我邦ニテ茶ヲ産スル地ハ山城最名アリ伊勢駿河遠江三河近江美濃等之ニ次ク加賀ノ如キハ其産額多シ其他南海山陽山陰西海等ノ諸國ニモ産地少カラズ

(六) 北米合衆國ノ氣候産物都會ヲ記セ

北米合衆國

(氣候) 合衆國ハ温帯ニ位スレドモ境土廣大ナルヲ以テ南北寒暖ノ差甚シク又夏冬寒暑ノ差甚シ概スルニ同緯度ニアル歐羅巴諸國ニ比スレバ較々寒冷ナリ太平洋沿岸地ハ最モ温暖ニシテ墨西哥灣邊ハ炎熱甚シ

(産物) 合衆國ハ地味氣候共ニ天然物ノ發生ニ適シ且土地廣大ナルヲ以テ物産頗ル多シ今其一斑ヲ記セバ小麦、其他ノ穀類等ノ農産物牛馬豕羊等ノ畜産樺松等ノ長林金銀鉄石炭等ノ鑛産及ビ綿毛布等ノ工産物ナリ

(都會) 國都ヲ「ワシントン」ト云フ「ニュー、ヨルク」ハ國內第一ノ繁華地ナリ他「ヒラデルヒヤ」「ボストン」「ブルックリン」「シカゴ」府ノ都會アリ
布疋及カロリン群島ノ位置ヲ記スベシ

カ陸ハ「サンドウイツチ」諸島中最大ナル島ニシテ我邦ノ東凡三千四百餘哩ニ位ス而シテ熱帯線内ニアリ○「カロリン」群島ハ「ポリネシア」群島ノ中ニアリ則太平洋中ニ散布スル諸島ニシテ其位置ハ赤道ノ南北各三十度以内ニアリ

(八) 釜山、香港、浦盪斯德、「ホノル」ノ所在國名及其方位ヲ示セ

釜山 朝鮮國東南海岸ニ位ス

香港 支那國南海岸珠江ノ口ニ位ス 英領

浦盪斯德 魯西亞西北利亞沿海州 太平洋沿岸ノ東岸ニアリ

「ホノル」 布哇國ノ首府ニテ「ウアーファー」島ニアリ

(九) 「ウラヲオストツク」、仁川、天津、香港及「マニラ」ノ位置ヲ記ス可シ

「ウラヲオストツク」 魯西亞領西北利亞沿海州ノ東岸ニアリ

仁川 朝鮮國西海岸ニアリ

天津 支那直隸省白河ノ岸ニアリ

香港 支那南海岸珠江ノ口側ニアル一小島中ニアリ

「マニラ」 呂宗島西南岸「マニラ」灣頭ニアリ

(十) 本邦ヨリ北亞米利加ニ直航スルトキハ通常何地ニ着スルヤ

本邦ヨリ北亞米利加ニ直航スルトキハ合衆國ノ西岸第一ノ要港タル「サンフランシスコ」ニ着スルヤ

シスコ」ニ着スルナリ

(二) 我邦ノ軍港ヲ記スヘシ

我邦海軍ハ之ヲ五區ニ分チ每區軍港アリテ鎮守府ヲ置ク軍港ハ左ノ如シ

廣須賀軍港	相模國
吳軍港	安藝國
佐世保軍港	肥前國
舞鶴軍港	丹後國
室蘭軍港	膽振國

(三) 畿内ノ物産ヲ記ス可シ

宇治茶、西陣織、鴨川染、清水燒^{以上}。奈良晒、錦^{以上}。金剛砂、木綿織^{以上}。鏡器
堺ノ段通織、和泉石^{和泉}。灘酒、池田炭、御影石^{攝津}等ナリ

(三) 我邦ノ主ナル輸出品ヲ記スヘシ

我邦ノ主ナル輸出品ハ、蠶絲絹類、雜貨、穀物、製茶類、等ナリ

(四) 我國ノ多額輸入品及其輸入國ヲ舉ゲヨ

我國ノ多額輸入品ハ、布帛絲及其材料、穀物、砂糖類、兵器時計諸機械類、金屬及
金屬器具類、油、藥材及製藥、毛類、等ナリ

又其輸入國ハ、英吉利、印度、支那、合衆國、獨逸、朝鮮、佛蘭西、白耳義等ナリ

(五) 本邦工業ノ主ナルモノヲ舉グ可シ

本邦工業ハ今ヤ漸ク西洋ノ器械ヲ利用シ大都會ニハ製造會社、工業組合ノ設立ア
ルニ至レリ其主ナルモノヲ舉グレバ製糸ノ業最多ク織物製造、摺付木製造、陶磁
氣製造ヨリ製紙、製革、酒、油、醬油等ノ醸造漆器製造紡績業等ナリ

(六) 中山道ノ國名及其氣候ヲ舉ゲヨ

中山道ハ一名木曾街道ト云ヒ東山道ト畿内トノ往來ヲ通スルモノニテ文武天皇ノ
時ヨリ開ケタリ其國ハ近江、美濃、飛驒、信濃、上野、下野ノ六國ニテ東海北陸
兩道ノ間ニ狹マリ本邦中地帶最廣ニシテ且最高峻ナル所ナリ其氣候ハ高峻ニシテ
山岳多キヲ以テ寒氣強シ

(七) 我國行政組織ヲ略述セヨ

我國ノ行政部中央政府ハ十省ヨリ成リ其長官ヲ大臣ト稱シ副ヲ次官ト云フ大臣ハ即内閣員ニシテ一名ノ總理大臣ヲ以テ之ヲ統ブ九省ハ外務、大藏、内務、陸軍、海軍、司法、文部、農商務、遞信、ナリ此外ニ宮内省アリテ皇室ノ御事ヲ掌ドル地方行政ハ全國ヲ分チテ道廳及府縣ト爲シ新領地臺灣ニハ總督府ヲ置ク北海道ニハ特ニ道廳ヲ置キ東京、京都、大坂ノ三府及各縣ニハ知事ヲ任シ府縣會アリテ財政ヲ參議ス廳府縣ハ更ニ小分シテ郡市區町村ト爲シ各其長アリ議會アリ市町村ハ特ニ自治ノ制度アリ漸次郡及府縣制度ヲ施行ス以上我邦行政組織ノ大略トス

(六) 日本近海ノ潮流及其氣候ニ影響スルコトヲ述ベヨ

日本近海ノ潮流ニ五アリ其二ハ暖流ニシテ黒潮及對馬海流ト云フ其三ハ寒流ニシテ親潮海流樺太海流及リマン海流ト云フ
黒潮ハ太平洋ノ還流ノ一派ニシテ一ハ東北ニ向ヒ日本ノ東南岸ヲ流レ遂ニ北亞米利加ニ向フ是レ黒潮ノ本流ナリ他ノ一ハ北方ニ向ヒ九州ノ西ヲ流レテ日本海ヲ東

北ニ横ギリ「オコツク」海ニ入りテ消滅ス之ヲ對馬海流ト云フ黒潮ハ曇天ニハ灰色ニシテ晴天ニハ黒藍色ナリ是レ黒潮ノ名アル所以ニシテ所謂黒瀬川是レナリ

右東西ノ海流ハ我邦ノ氣候ニ對シ溫度ヲ増ス

親潮海流、樺太海流、リマン海流ハ皆「オコツク」海ニ起ル「リマン」海流ハ日本海ノ西邊ニ沿テ朝鮮海峽ヲ走ル樺太海流ハ樺太島ノ東岸ヲ擊ツ親潮海流ハ北海道ノ東岸ヲ走ル

右三海流ハ我邦ノ氣候ニ對シテ冷氣ヲ加フ

(六) 重ナル宗教ノ種類及其流布地ヲ問フ

宗教ノ種類ハ甚多シト雖其大要多神教一神教ノ二種ニ歸スベシ現今重ニ行ハル宗教ハ左ノ如シ

佛教ハ釋迦牟尼ノ教旨ニシテ見解ニ依テ或ハ無神教ノ如ク或ハ一神教ノ如ク或ハ多神教ノ如キ觀アリ日本支那錫蘭後印度等ニ行ハレ其教徒ハ全世界人口ノ三分一ヲ占ムト云フ

婆羅門教ハ婆羅門ヲ天地ノ主宰者ト信奉スル所ノ教旨ナリ重ニ前印度ニ行ハレ佛
教ヨリモ舊シ見解ニ依リテハ一神教ノ如ク又多神教ニ似タリ
猶太教ハ猶太國ニ起リシ一神教ナリ猶太人尙之ヲ奉ズレドモ其信徒四方ニ散布ス
猶太人ハ救世主ナル者ノ存在スルコトハ之ヲ信セルモ耶蘇基督ヲ以テ救世主ト認
メザルナリ

基督教ハ耶蘇基督ノ教旨ナリ一神教ニシテ博愛ヲ主トス分レテ希臘教羅馬教新教
ノ三派トナル主トシテ歐米諸國ニ行ハル

回々教ハ「マホメット」ノ教旨ヲ奉スルモノニシテ亦一神教ナリ亞拉比亞、土耳其、
波斯等ヨリ亞弗利加東岸ノ人民之ヲ信向ス

(五)

經緯度ヲ設クルノ理由ヲ説ケヨ

地球表面上ノ位置ヲ精細ニ測定スル爲ニ地球ノ表面ニ虛線ヲ畫ス此ニ二種アリ緯
度經度ト云ノ緯度ハ赤道ヲ基点トシ南北ニ向フテ之ト並行線ヲ設ク經度ハ一定ノ
子午線現今ニテハ萬國子午線會議ノ決議ニ依リ英國「グリニッチ」ノ觀象臺ヲ基礎

トシ是ヨリ東西ニ向フテ度数ヲ測ルベキ線ヲ設ク經緯度共ニ地球上三百六十度
シ一度ヲ六十分トシ一分ヲ六十秒ト爲ス此經緯線ヲ地圖上ニ移シテ以テ地球上
位置ヲ測定スルノ便宜ト爲ス

(三)

溫帶熱帶ノ動物ヲ記述セヨ

熱帶地方ニハ陸動物ノ種類ニ富ム禽獸ハ形体知能最高度ノ發達ヲ爲スモノ多シ又
巨大ナル動物例ヘハ象、麒麟、或ハ最猛ナル獅、虎アリ或ハ人類ニ近似セル「ゴリ
ヲ」猩々アリ又鳥類ニテモ最大ナル駝鳥等アリ又最小鳥類タル蜂雀類アリ又爬行
類ニ於テモ鱗魚鱗等アリ要スルニ最其種類ニ富ム

溫帶地方ニハ尙數多ノ高等類アリト雖或ハ冬眠スルモノアリ又鳥類ハ冬期暖地ニ
移ルモノ多シ熊、狼、野猫、野牛及各種ノ麋鹿多ク又馬、驢、及山羊、羊等アリ
此等ハ人ノ飼養ニ係ルモノ多シ又鳥類ハ其羽翼ハ熱帶鳥類ノ美ニ及バズト雖其音
調ハ甚佳ナリ又昆蟲ノ蜜蜂蠶ノ如キ人ノ益ヲナスモノ甚多シ

◎ 第六節
○ 歴史科

(一) 神武天皇ノ創業ヲ記ス可シ

天孫瓊々杵尊三種ノ神器ヲ天照大神ニ受ケテ日向國ニ降臨シ賜ヒシヨリ三世ヲ經テ神武天皇ニ至リ始メテ天下ヲ平定シ一統ノ業ヲ創シ賜ヘリ天皇始メ日向高千穗峯ノ宮ニ在シテ諸皇族ヲ會シテ曰ク此豊葦原瑞穗國ハ我皇祖ノ天神ニ受ケ賜フ所而ノ世々此西偏ニ居リ多ク年所ヲ經タリ是ヲ以テ遐諷ノ地未ダ皇澤ニ沾ハザルモノアリ聞ク東方ニ大和國アリ山河四周以テ天業ヲ恢弘スルニ足ルト我先ツ茲ニ都セントスルナリト遂ニ兵ヲ率ヰテ日向ヲ發シ豊前豊後ヲ經テ中國ニ至リ吉備國ニ駐マリ舟楫ヲ具ヘ糧食ヲ蓄ヘ遂ニ海ニ航シテ難波ヨリ河内ニ湖リ大和ニ入ラントシ給フ長髓彦ナルモノアリ饒速日命ヲ奉シテ皇軍ニ抗ス皇軍利アラズ天皇轉シテ總伊國ヨリ大和ニ入り給フ饒速日命長髓彦ヲ殺シテ歸順ス天皇七年ニシテ天下ヲ定メ大和ノ橿原宮ニ於テ帝位ニ即キ三種ノ神器ヲ正殿ニ奉リ賜フ是レヨリ皇統傳

(二)

神代ノ有様ヲ略記セヨ
神代ハ我國太古ノ稱ナレ共彼外國野蠻ノ世禽獸ト群ヲ爲シ強ハ弱ヲ凌ギ君父ノ道ヲモ辨ヘザルガ如キノ此ニアラザリシナリ我邦神代ノ世ハ實ニ天神ノ治教ニ依リテ早クヨリ農耕ノ道ヲ知リ運漕ノ便ヲ通ワ殊ニ君臣ノ道兄弟朋友ノ情愛ヨリ敬神ノ美風ニ至ルマデ能ク發達シタリ之ヲ要スルニ我邦神代ノ有様ハ他國上古ノ有様ト同一ニ見做スベキニ非ザルナリ

(三)

伊勢神宮ニ關スル史談ヲ記スベシ

太神宮ハ天祖天照大御神ヲ齋キ祭レルナリ伊勢國度會郡宇治ニ在ス前ニハ五十鈴川上ニ在マシ、ナリ又同郡山田ニ外宮アリ雄略天皇ノ時ニ丹波國ヨリ遷祀セラレ之ヲ豐受大神宮ト云フ伊勢ノ内宮ハ其建築ノ様ハ古代ノ制ヲ存シ毎年十月十七日ノ神嘗祭ハ最モ重キ祭日ナリ天皇ノ親祭シ賜フ代リニ古ハ皇女ヲシテ奉仕セシメヲレシガ今ヤ親王ヲ祭主トセラレ、ナリト云フ

(四)

日本武尊ノ傳

日本武尊ハ景行天皇第二ノ皇子ナリ身長一丈力能ク鼎ヲ扛テ給フ熊襲ノ反乱ニ罪ヲ賊巢ニ入り少女ニ扮テ賊酋ノ醉臥ヲ伺ヒ之ヲ誅シ給ヒキ時ニ年十六ナリキ後東夷ノ反スルニ及ビ又之ヲ征討シ駿河ニ於テ虜ノ詐謀ニ陥リ原野ニ於テ其火攻ヲ受ケ給ヒシガ其帶アル所ノ天鏡雲劍ヲ以テ草ヲ薙ギ以テ免ル、ヲ得給ヘリ是ヨリ此御劍ヲ草薙劍ト云遂ニ賊軍ヲ破リ進テ蝦夷ノ境ニ至リ歸リ近江ニ至リテ病ヲ得伊勢ノ能褒野ニ至リテ薨ヲ給フ天皇追悼シテ爲メニ武部ヲ置キ永ク其功蹟ヲ存シ賜フ

(五)

三韓征伐ノ顛末ヲ記セ

仲哀大皇熊襲ノ反ヲ討シテ克タズ中道崩御アリ皇后氣長足姬尊熊襲ノ反乱ハ新羅ノ後援ヲ爲スニ依ルモノナルヲ知リ大臣ト議シ秘シテ大喪ヲ發セズ而シテ武内宿禰等ト共ニ舟師ヲ率テ直ニ新羅ニ至リ給フ新羅王大軍掩至スルヲ知ラズ乃大ニ驚キ直ニ軍門ニ至リテ降リ長ク日本ノ餉部ト爲リ年毎ニ調貢セシムトテ請フ皇后之

ヲ許シ遂ニ國中ニ入りテ重寶府庫ヲ封シ圖籍文書ヲ收メ又其質ヲ徵シ金銀練帛八十艘ヲ載セテ官軍ニ從ハシメ給フ是ヨリ新羅常ニ八十艘ノ調ヲ以テ我國ニ貢スルヲ常トス高麗百濟亦風ヲ望ミテ降ル是ニ韓征伏ノ概畧ナリ

(六) 天智天皇ノ盛業ヲ記ス可シ

天智天皇ハ我邦中興ノ英主ト稱ス其御盛業ヲ記セハ中臣鎌足ト共ニ蓋我入鹿及其父蝦夷ヲ誅シ以テ皇室ヲ安ソヨ賜ヒシヲ主トシ其他諸官制律令ノ制度諸税法等所謂大化ノ新制ハ皆天皇ノ鎌足ト共ニ畫策シ賜ヒシ所ニシテ實ニ後世ノ基業ヲ爲シ給ヘリ

(七) 文武天皇ノ盛業ヲ記スベシ

文武天皇ハ文武天皇ノ皇孫ニシテ天寶寬仁ニシテ喜怒哀色ニ形レズ博ク經史ニ涉リ賜ヘリ天皇ノ盛業トシテ記スベキハ大寶令大寶律及其他ノ格式ヲ制定シ賜ヒシコト是レナリ此令ト律トハ大寶以後歷代變更スル所ナクシテ行ハレ是ヨリ二千餘年間政体ノ基本ト爲リタルモノナリ

(八) 桓武天皇ノ盛業ヲ記ス可シ

桓武天皇ハ英明ノ君ニシテ二大事業ヲ遂ケ賜ヘリ即平安ノ奠都ト蝦夷ノ征討ト是レナリ此二大事業ハ實ニ我邦歷史上重大ノ關係ヲ有スルモノナリ
平安ノ奠都。是ヨリ先歷代ノ天皇ハ奈良ニ都シ賜ヒシガ桓武天皇ノ朝ニ都ヲ山背ノ國ニ遷シ規模宏大ナル宮城ヲ創建シ賜フ是レ明治維新ノ際ニ至ルマテ歷代ノ帝都トナリタル所ナリ

蝦夷ノ征討。我邦古來東北地方ニ蟠屈セシ蝦夷人種ハ猛悍ニシテ屢反乱ヲ起シメリ日本武尊ノ東征以來屢征討ノ擧アリト雖反服常ナク大ニ内地ヲ擾セリ桓武天皇ハ達見ノ君ニマシノシカバ當時文弱ナル公卿ノ爲スアルニ足ラザルヲ察シ門地ニ拘ラズシテ勇將坂上田村麿ヲ拔擢シ賜ヒ大舉東征遂ニ蝦夷ノ巢穴ヲ拔キ永ク後世ノ患ヲ除カセ給ヘリ

(九) 坂上田村麿ノ事蹟ヲ記スベシ

坂上田村麿ハ彼英武ナル桓武天皇ノ時ノ人ニシテ天皇ノ識拔ニ遇ヒ蝦夷征討ノ大

任ニ當リ其平討ヲ致シ永ク我邦ノ基業ヲ定メタリ田村磨身長五尺八寸眼ハ蒼隼ノ如ク鬚ハ金線ノ如シ前朝以來反復常ナキ蝦夷ヲ征スルコト前後二回當時朝貴文弱ノ中ニ在リテ能ク武勇ヲ顯ハシ遂ニ東夷ノ巢窟ヲ覆ヘシ亦振フヲ得ザラシメタルモノハ實ニ其功蹟ナリ

(5) 三韓ト交通シタル影響

我邦三韓ト交通シタルニ就キテ生スル所ノ影響ハ漢籍ノ渡來、佛教ノ傳來ヲ主トシテ其他裁縫釀冶等ニ至ルマテ其輸入ヲ受ケ我國開化ノ助ケヲ爲シタル所多シ然レモ佛道ノ傳來ノ如キハ我邦上古一意奉上ノ美風ヲ破壞シ蘇我馬子ノ如キ徒ヲ生シ幾分ノ弊害ヲ生シタル所ナキニアラスト雖概スレバ國家開進ノ氣運ヲ助ケタル所多シト云フヘシ

(6) 菅原道真ノ略傳

菅原道真ハ參議是善ノ子ナリ幼ニシテ穎悟博學治聞一世此ナシ初メ文章生ニ擧ゲラレ讃岐守ニ累進ス當時門閥ノ制甚シク藤原氏ニ非ルモノハ朝貴ニ列スルヲ得ズ

然ルニ道真ハ特ニ宇多帝ノ信任ヲ受ケ遂ニ右大臣ニ至ル左大臣藤原時平悦ハズ醍醐帝ノ立ヲ給フニ及ビ宇多法皇特ニ詔シテ道真ヲ關白ト爲サントシ給フ道真固辭シテ止ム而シテ時平益不平ナリ平希世源光等ト謀リ道真廢立ヲ謀ルト讒々醍醐帝之ヲ信シ俄ニ貶シテ太宰權帥ト爲シ給フ道真太宰府ニ至リ文墨ニ托シテ自ラ遣ル而シテ其志未嘗テ皇室ヲ忘レズ一日詩ヲ賦シテ曰ク去年今夜侍清涼、秋思詩篇獨斷腸、恩賜御衣今在此、捧持毎日拜餘香ト聞クモノ真ニ斷腸セザルハナシ遂ニ筑紫ニ斃ス後社ヲ京都北野ニ建テ天滿大自在天神ト稱ス朝野ノ尊信殊ニ篤シ

(7) 關白、幕府、奉行ヲ解釋セヨ

關白ハ庶政ヲ關白スト云フ職名ニシテ宇多天皇ノ時万機藤原基經ニ關白セシメラレタルヲ以テ始メトス

幕府トハ征夷大將軍ノ政所ヲ云フ我邦ノ古制征夷將軍ハ常官ニアラザリシガ源賴朝征夷大將軍ニ任セラレテヨリ武將ノ政事ヲ扱フモノ、號ト爲リ其政所ヲ幕府ト云フ鎌倉幕府室町幕府江戸幕府等はレナリ

奉行トハ武家ニテ置テ所ノ官名ニシテ鎌足幕府ノコトヨリ此名ヲ見ル鎮正奉行、
奥羽奉行等アリ足利氏徳川氏亦襲用セシモノ、如シ徳川氏ノキノ如キ各般ノ奉行
アリタリ

(三) 源平時代戦争ノ有様

源平時代ノ武士ハ皆一種ノ氣風ヲ有シ太ダ氣節ヲ尙ヒ名譽ヲ重シテ寧ロ死スルモ
名ヲ損スルヲ惜ム是ヲ以テ戦ニ臨ミテ恐レズ難ニ當テ屈セズ各其主トスル將家
(源氏若クハ平氏)ノ爲ニス其戦争ノ狀タル勇氣凜然トシテ當ル可ラザルモノアリ
而ノ其戦ニ臨ムヤ其住國氏名ヲ呼號シテ以テ敵ノ決闘ヲ求ム其戦ヤ隊伍ノ制ナリ
進退ノ節ナシ單身搏戦スルヲ常トス凡ソ戦ニ臨ミテ潔ク死スルヲ以テ名譽トスル
ノ習ヒハ實ニ源平時代ノ戦争ヨリ始マリタルモノ、如シ弘安ノ大捷亦此氣習ノ致
ス所多シト云

(四) 新田義貞ノ畧傳

新田義貞ハ源義家ノ後裔ニシテ世々上野ニ居ル足利氏ト同宗ニシテ而ノ其嫡長マ

リシガ鎌倉ノ執權北條氏ニ對シテハ足利氏ノ如ク親昵ノ間柄ナラザリシ爲メ却テ
足利氏ノ次流ニ立ツノ觀アリキ後醍醐天皇元弘ノ始メ北條氏ノ使役ヲ受ケ楠正成
ヲ金剛山ニ攻メテ其ノ忠勇ニ感ズル所アリ大塔宮ノ令旨ヲ受ケテ官軍ニ歸順シ上
野ニ歸リテ義兵ヲ擧ゲ遂ニ鎌倉ヲ拔キテ賊魁北條高時ヲ誅ス是ヨリ足利楠等ノ武
將ト共ニ京師ニ宿衛シ而ノ足利氏ト相軋ル此時ニ至リ朝政頗ル武人ノ意ニ滿タズ
足利尊氏陰ニ武人ノ心ヲ攪リ以テ他日ノ地ヲ爲ス而義貞ハ廉潔ノ士ナルヲ以テ之
ヲ爲サズ尊氏遂ニ關東ニ叛スルニ及ビ義貞官軍ノ總督ト爲リ之ヲ征討シテ克マズ
遂ニ帝ヲ奉マテ叡山ニ據ル而ノ楠氏北畠氏等ノ援アリ尊氏ヲ九州ニ擊テ走ラス尊
氏九州ノ兵ヲ擧ゲテ東上スルニ及ビ義貞正成ト之ヲ兵庫ニ拒ギテ利アラズ正成戰
没シ義貞走り歸リテ復帝ヲ叡山ニ奉ズ是ヨリ義貞獨リ難局ニ遭遇セシモ忠貞ノ志
嘗テ變ヒズ帝尊氏ノ詐降ヲ容レ京師ニ還幸シ賜フニ及ビテ義貞皇太子ヲ奉シテ北
陸ヲ經略ス而ノ時勢利アラズ官軍日ニ盛マリ遂ニ北陸ニ戰死ス之ヲ義貞ノ畧傳ト
ス

(五) 戰國時代ノ重ナル武將十人及其割據地如何

戰國地方ノ重ナル武將十人及其割據地左ノ如シ

- 織田信長 近畿地方
- 武田信玄 甲信地方
- 上杉謙信 北陸地方
- 北條氏康 關東
- 伊達正宗 東北地方
- 毛利輝元 中國
- 島津義久 九州
- 長曾我部元親 四國
- 浮田直家 三備地方
- 大友宗麟 九州
- 加藤清正ノ零傳

加藤清正ハ豊臣秀吉ノ部下ノ將ニシテ忠勇絶倫ノ人ナリ秀吉ニ從ヒテ各所ニ戰ヒ未ダ曾テ敗レズ遂ニ肥後ヲ領ス朝鮮ノ役最効アリ韓ノ二王子ヲ擒ニスルニ至レリ後蔚山ヲ守リテ具サニ辛苦ヲ嘗メ遂ニ明ノ大軍ヲ敗リテ名ヲ海外ニ顯ハシテ歸ル關原ノ役石田氏ノ輕舉ニ與ミセズ而シテ秀吉ノ遺孤秀頼ヲ補佐シ大坂ノ強援ヲ爲ス徳川家康其精忠ヲ憚リタリト云フ清正没シテ大坂孤立遂ニ亡ブルニ至レリ清正勇悍ノ將ナレ共亦文學ヲ好ミ論語ヲ習讀セリ豊臣氏ノ臣僚多シト雖其精忠勇悍清正ノ右ニ出ツルモノナシ肥後ノ熊本城ハ其築ク所ニ係ルト云フ

(六) 徳川家康ノ略傳

徳川家康ハ源義家ノ遠孫新田義貞ノ後裔ニシテ其先上野ノ徳川村ニ居ル依テ氏トス家康始メ三河一國ノ主ニシテ織田信長ノ客將ト爲リ之ガ爲ニ當時海内無雙ノ強國ヲリシ武田氏ヲ拒ギテ苦戰シタルコト多シ豊臣秀吉關白ト爲ルニ及ビテ其先鋒ト爲リ北條氏ヲ討ツ遂ニ關東八州ノ地ヲ領シ武藏ノ江戸ニ築キテ之ニ居ル秀吉薨後關原ノ戰ニ關西諸侯ノ連合軍ヲ敗リテ天下ノ大勢ヲ一定シ征夷大將軍ト爲リ天

下ノ軍職ヲ管ス又大坂ヲ攻メテ之ヲ拔キ以テ豊臣氏ヲ滅シ遂ニ霸業ヲ創建セリ下野日光山ノ社ハ即家康ヲ祀リ壯麗天下匹ナシ家康英武ニシテ大度アリ夙ニ文學ヲ起シ遂ニ三百年ノ太平ヲ開ケリ

(六)

徳川氏ノ配置シタル重ナル諸侯及其地方ヲ記ス可シ

徳川家康ハ其政略ノ一トシテ諸侯ノ配置ヲ能クシ以テ内乱ノ防禦ヲ密ニセリ其概略ヲ記セバ先ツ京都、大坂、伏見、長崎等ノ如キ須要ノ地ニハ所司代城代奉行等ヲ置キテ以テ幕府ノ直轄ト爲シ諸侯ノ配置方ハ親藩ト内藩トナ適宜外藩ノ間ニ置キ以テ犬牙相制セシム其方先ツ江戸ヲ中心トシテ古河、關宿、小田原等ニハ各譜代ノ大名ヲ置キ而シテ尾張紀伊水戸ノ三地ニハ其三子ヲ奉シテ特ニ之ヲ三家ト稱シテ諸侯ノ上ニ置キヨリ則尾張ヲ以テ東海道ヲ塞ギ紀伊ヲ以テ西南ノ鎮メトシ而シテ水戸ヲ以テ東北ヲ塞ギ兼テ副將軍トナス其他越前ノ福井ニ松平氏ノ親藩ヲ置キテ加賀ノ前田ニ備ヘ會津ノ保科氏ハ奥羽ノ鎮メニ充テ備前ノ松平氏ハ毛利氏ニ備ヘ九州ニテハ小倉中津等ノ親藩アリ島津氏ニ備フル等はレ徳川氏諸侯配置方ノ概畧

ナリトス

(元)

徳川氏幕府ノ此外様諸侯ト稱セラレシモノ、主ナル名ヲ記スベシ

徳川氏幕府ノ比ノ諸侯ニ三種アリ御家門、外様、譜代ト云フ御家門トハ徳川氏ノ親戚ナルベキ大名ニシテ譜代ハ其舊臣ナル家柄ナリ外様ハ織田豊臣ノ頃ヨリ大名トシテ徳川家康ト比肩セシ人々ノ家柄ナリ今外様大名ノ主ナルモノヲ擧グレバ左ノ如シ

- | | |
|-----|-------|
| 前田氏 | 加賀金澤 |
| 島津氏 | 薩摩鹿兒島 |
| 伊達氏 | 陸奥仙臺 |
| 細川氏 | 肥後熊本 |
| 黒田氏 | 筑前福岡 |
| 淺野氏 | 安藝廣島 |
| 毛利氏 | 長門萩 |

鍋島氏 肥前佐賀

蜂須賀氏 阿波德島

山内氏 土佐高知

藤堂氏 伊勢津

池田氏 備前岡山

(5) 松平定信ノ略傳

松平定信ハ越中守ト稱ス田安宗武ノ子ナリ賢明ニシテ才學アリ幕府ノ老中ト爲リ能ク弊政ヲ除キ節儉ヲ守リ武備ヲ脩メ人材ヲ擧ゲ文教ヲ擴ム後世之ヲ以テ寛政ノ治ト稱シ徳川氏隆治ノ極ト爲ス定信執政七年ニシテ隱居シ樂翁ト稱ス文雅著述ヲ以テ娛樂トス彼頼山陽ノ日本外史ヲ求メテ之ヲ觀タル人ナリ

(6) 徳川時代ノ主ナル勤王家ヲ記スベシ

徳川時代ノ主ナル勤王家ハ畧左ノ如シ

徳川光國、高山正之、蒲生秀實、荷田東麻呂、本居宣長、加茂真淵、等ノ國學

者及頼山陽等

(7) 赤穂ノ義士復讐ノ顛末如何

元祿十四年將軍徳川綱吉天使ヲ江戸城ニ饗シ赤穂藩主淺野長矩外一人ヲシテコレガ接伴役ヲラシム高家吉良義央其儀ヲ掌ドル義央倨傲長矩ヲ凌辱ス長矩堪ユル能ハズ刀ヲ抜キテ之ヲ擊ツ事大不敬ニ坐シ即日長矩ニ死ヲ賜ヒ赤穂ノ城邑ヲ沒ス然シテ義央輕傷死ニ至ラズ亦譴責ナシ是ニ於テ長矩ノ遺臣大石良雄等長矩ノ弟長廣ヲ立テ、以テ淺野氏ノ嗣ヲ存セシムトナ嘆願セシモ聽カレズ遂ニ意ヲ決シテ江戸ニ至リ各所ニ散伏シテ以テ義央ノ動靜ヲ伺ヒ其年十二月雪夜ニ乘シ良雄以下四十七人義央ノ第ヲ襲ヒテ其首ヲ獲以テ長矩ノ墓ヲ祭リ遂ニ自首シテ罪ヲ幕府ニ請フ幕議良雄等ニ死ヲ賜フ良雄等ノ遺請ニ依リ長矩ノ墓側ニ葬ル芝ノ泉岳寺是ナリ府下ノ四民往テ弔スル者市ノ如シ香花今ニ至リテ尙絶エズ明治維新ノ後車駕東京ニ幸シ使遣シテ特ニ良雄等ノ節ヲ褒シ賜フ良雄等死シテ餘榮アリト云フベシ良雄等四十七人ヲ稱シテ赤穂ノ義士ト云フ蓋シ倫理上ノ制裁ハ時勢ニ應シテ多少ノ變

更ナルモ其モノナレドモ長雄等ノ精忠ニ至ラハ實ニ武士ノ本務ヲ盡クシタルモノト云フベシ

(三)

「ペル」來リヨリ明治維新ニ至ル迄ノ變遷ヲ略述セヨ

嘉永年間米國水師提督「ペル」浦賀ニ來リ通信互市ヲ請ヒシヨリ幕府鎖港ノ夢始メテ醒メ鎖國開港ニ論紛々トシテ決セズ朝廷及水戸藩其他勤王ノ志士等ハ鎖國ヲ主張シ幕府ノ執政者ハ則開港ノ主義ヲ取ル是ニ於テ朝意幕議ト齟齬スルニ至レリ井伊弼幕府ノ大老ト爲リ外交上ノ意見ヲ異ニシ水戸藩主ヲ幽シ勤王ノ志士ヲ錮シ且ツ朝議ヲ經ズシテ外國ト條約ヲ締結シ號シテ假條約ト云フ是ニ於テ平櫻田門外ノ變アリ直弼遂ニ刺客ニ倒ル是ヨリ天下漸ク幕府ノ政ヲ喜ハズ意テ朝廷ニ屬スルモノ多キニ至リ朝廷ノ威權遂ニ能ク幕府ヲ制スルニ至ル乃幕府ニ詔シテ庶政ヲ改革セシメ將軍天下ノ大小名ヲ率ヰテ入朝シ衆議ヲ以テ國論ヲ決セシメ賜フ是ヨリ偏ニ勤王ノ主義ヲ取ルモノアリ或ハ勤王佐幕ノ主義ヲ取リテ以テ公武ノ合体ヲ謀ルモノアリテ將軍家茂遂ニ皇妹ニ尙スルニ至レリ而ノ勤王論者ハ鎖港攘夷ヲ

主張シ天子石清水祠前ニ幸シ賜ヒ攘夷ノ節刀ヲ將軍ニ賜ハントスルニ及ビ將軍病ト稱シテ出デズ是ヨリ志士幕府ノ怯ヲ慨シ攘夷論ハ討幕論ト變ズルニ至レリ既ニシテ薩長ノ二藩英艦ト兵端ヲ開キ幕府遂ニ長征ノ舉アリ而ノ連戰幕軍ノ敗衄ヲ見ル且將軍家茂軍中ニ薨シ長征ノ師遂ケズ將軍慶喜繼ギ出ヅルニ及ビ時勢ノ爲ス可クザルヲ知リ遂ニ大政ヲ奉還シテ京師ヨリ大坂ニ退ギシガ復タ京師ニ入りテ訴フ所アラントスルニ及ビ薩長等勤王ノ兵之ト伏見鳥羽ノ間ニ於テ兵端ヲ開キ慶喜敗走シテ江戸ニ歸ル是ヨリ慶喜賊名ヲ負ヒ朝廷東征ノ舉アリ而ノ慶喜恭順罪ヲ赦サレタレドモ其旗下ノ臣僚東北地方ニ於テ官軍ニ抗敵セシガ皆久シカラズシテ平定セリ平定後諸藩ハ皆其版籍封土ヲ奉還シ遂ニ王政ノ舊ニ復スルニ至レリ明治維新是レナリ

(四)

西南ノ役ヲ略記スベシ

西郷隆盛ハ明治維新ノ功臣ニシテ官陸軍大將ニ至リシガ征韓論ノ合ハザルヨリ官ヲ辭シテ其郷里ナル薩摩ノ鹿兒島ニ歸リ私學校ヲ起シテ壯士ヲ訓練ス其郷人桐野

利秋篠原國幹等亦同志ヲ以テ官ヲ辭シテ之ニ從フ明治十年二月利秋國幹等遂ニ反シテ君側ヲ清ムルヲ以テ名ト爲シ兵ヲ起シテ東上ス熊本鎮臺司令長官谷干城之ヲ拒ク賊敢テ東セズ朝廷有栖川宮熾仁親王ヲ以テ征討都督ト爲シ陸軍卿山縣有朋海軍卿河村純義ヲ參軍ト爲シ海陸ノ諸軍ヲ擧ゲテ之ヲ討メ朝廷又黒田清隆ヲシテ一軍ヲ以テ賊背ヲ衝カシム隆盛退テ豊後ニ入り日向大隅ノ間ニ轉戦シ遂ニ薩摩ニ歸ル官軍之ヲ城山ニ圍ミ九月二十四日遂ニ之ヲ勦ニス此役戰鬪最劇シ田原坂ノ決戦殊ニ人口ニ膾炙ス之ヲ西南ノ役ト云フ

(三) 古來我國ト朝鮮トノ關係

我國上古三韓(朝鮮ノ舊名)ト交通シ學問技藝等其輸入ヲ受ケ我文化ノ開進ヲ助ケタリ神功皇后三韓ヲ征服シ賜ヒシヨリ永ク我邦ノ西藩ト爲リシカ其後遂ニ我國ノ制馭ヲ受ケザルニ至レリ豊臣秀吉朝鮮ヲ攻メ一時之ヲ陷レシガ徳川氏ノ時ヨリ亦信好ヲ脩メタリ維新ノ後朝鮮我軍艦ヲ砲撃シ征韓論ノ盛起セルコトモアリシガ遂ニ其事ナクシテ止ミタリ遂ニ我條約國トナリ我國ヨリハ特ニ好意ヲ盡シタルコト

多キモ其國民中頑愚ノ徒アリ屢我居留人ヲ虐待シタルコトアリシガ毎ニ大事ニ至ラズシテ止ミタリ明治二十七年東學黨ノ内乱ヨリ我邦特ニ其獨立ヲ援護シ遂ニ清國ト事アルニ至レリ

(四) 外國交通ノ沿革ヲ略記スベシ

我邦上古三韓ト交通シ遂ニ之ヲ征伐シテ朝貢ヲ徵スルニ至レリ尋テ隋唐ト交通セシガ安祿山ノ亂後交通ヲ廢セリ此三韓及隋唐ノ交通ハ彼レノ文物制度ヲ輸入シ我國ノ開化ヲ助ケタル所多シ鎌倉時代ニ至リテハ彼有名ナル元ノ忽必烈我國ノ朝貢ヲ促シタリシガ我邦之ヲ斥クテ遂ニ弘安ノ大寇アリシモ一戰之ヲ蹙ニセリ足利氏ノ時ニ至リテ明朝ニ通シ多少ノ利益ヲ得タルモ足利義滿ノ如キハ彼レノ封冊ヲ受ケ殆ンド國体ヲ辱カシムルモノアリキ豊臣氏ノ時朝鮮ノ攻伐ヨリ明ト戦端ヲ開キシガ徳川氏ノ時ニハ朝鮮ト交和シ其脩信使ハ常ニ我邦ニ來朝セリ又織田豊臣兩氏ノ比ヨリ西洋諸國(重ニ西、葡二國ヲ主トス)ノ耶穌教師來リテ其教旨ヲ廣メシガ島原ノ亂後徳川氏ハ嚴ニ耶穌教ヲ禁マタリ是レ專ラ鎖國ノ方略ヲ取リ只支那朝鮮

ノ諸國トハ長崎ノ一港ヲ限リテ交商スルコトヲ許シ又西洋諸國中獨リ荷蘭ノ一國
ヲ限リテ特ニ其交通ヲ許シ以テ海外ノ事情ヲ知ルノ便ヲ存シタリ嘉永年間米國ノ
使節「ベルリ」渡來以來遂ニ開港互市ノ條約ヲ締結シ維新後ノ今日ニテハ條約國益
多シ

◎第七節

○理化學科

(一) 物理的變化ト化學的變化トノ例解ス可シ

物理的變化ハ只外形ノ變化ニシテ化學的變化ハ實質ノ變化ナリ例ヘハ今水ノ熱ヲ
得テ蒸氣ト爲リ熱ヲ失フテ氷トナルガ如キハ只外形ノ變化ニシテ實ニ其實質ニ變
化ヲ起サズ之ヲ物理的變化ト云フ又水ニ觸發電氣ヲ通スレバ其水分解シテ水素及
酸素ト爲ル是只外形ノ變化ノミコアラズシテ其實質タル成分ニマテ變化ヲ起シ
ルモノナレバ之ヲ化學的ノ變化ト云フナリ

(二) 凡テ薄ク磨ク程容易ニ物ヲ切ルコトヲ得ル理ヲ問フ

是レ物理上斜面ノ定則ニ依ルモノナリ凡斜面ハ其長サガ其高サニ勝ル程力ニ於テ
益アルモノナリ

(三) 排氣器アリ玻璃鐘及通氣管ノ立積ハ五「リートル」ニシテ活塞ヲ有スル圓壺ノ立積ハ

一「リートル」ナリ今活塞ヲ三回上下セバ玻璃鐘及通氣管内ノ氣壓ハ最初ノ氣壓ノ何

程ニ當ルカ

一回空氣ヲ排出シタルキハ其氣壓ハ(五)リートルモノガ前ノ(六)リートルノ場
所ヲ填充スルガ故ニ(六)分ノ五トナリ又一回排出セバ此六分ノ五ト以下次々ニ幾
何級ヲ以テ減スルモノナリ故ニ三回排出シタル後ハ最初ノ(六)リートの氣壓則二百
十六分ノ百二十五トナルナリ

(四)

單觸法ヲ以テ磁石ヲ製スル方法ヲ示セ

人工磁石ヲ製スル方ニ數様アリ單觸方ト云フモノ其一ナリ其方ハ先ツ磁石ト爲ス
ベキ鋼鐵條ヲ取り之ヲ机上ニ安置シ他ノ強力ナル磁石ヲ以テ七八回其上ヲ摩過ス
ルナリ斯クスレバ則磁石ニ變ズルモノナリ

(五)

強ク打チ込ミタル釘モ釘拔ヲ用ユレバ容易ニ之ヲ抜キ得ル理由如何

釘拔キハ不同臂槓杆ノ變形ト見做スベキモノニシテ其釘ヲ較ム所ハ重点其把握ス
ル所ハ力点其支柱ノアル所ハ支点ナリ凡ソ槓杆ノ定則トスル所ハ力点ヨリ支点ニ
至ルノ距離ガ支点ヨリ重点ニ至ルノ距離ニ勝ル程力ニ於テ益アルモノナリ則釘拔

ノ如キハ力點ヨリ支點ニ至ル距離長ク重點ヨリ支點ニ至ルノ距離短キモノナレバ
力ニ益アルナリ

(六)

甲鐵艦ノ能ク水面ニ浮ム理由如何

鐵ハ其比重大ヨリ大ナレドモ之ヲ薄延シテ函狀ニ製シ其容積ヲ大ニスレバ則却テ
水ヨリモ其比重ヲ減スルヲ得ルナリ甲鐵艦ノ水上ニ浮ブ理由ハ此ニ外ナラザルナ
リ

(七)

河岸池邊等ニアル樹木家屋ガ恰モ水中ニ倒立セルガ如ク見ユルコトアルハ如何ナル
理由ナリヤ

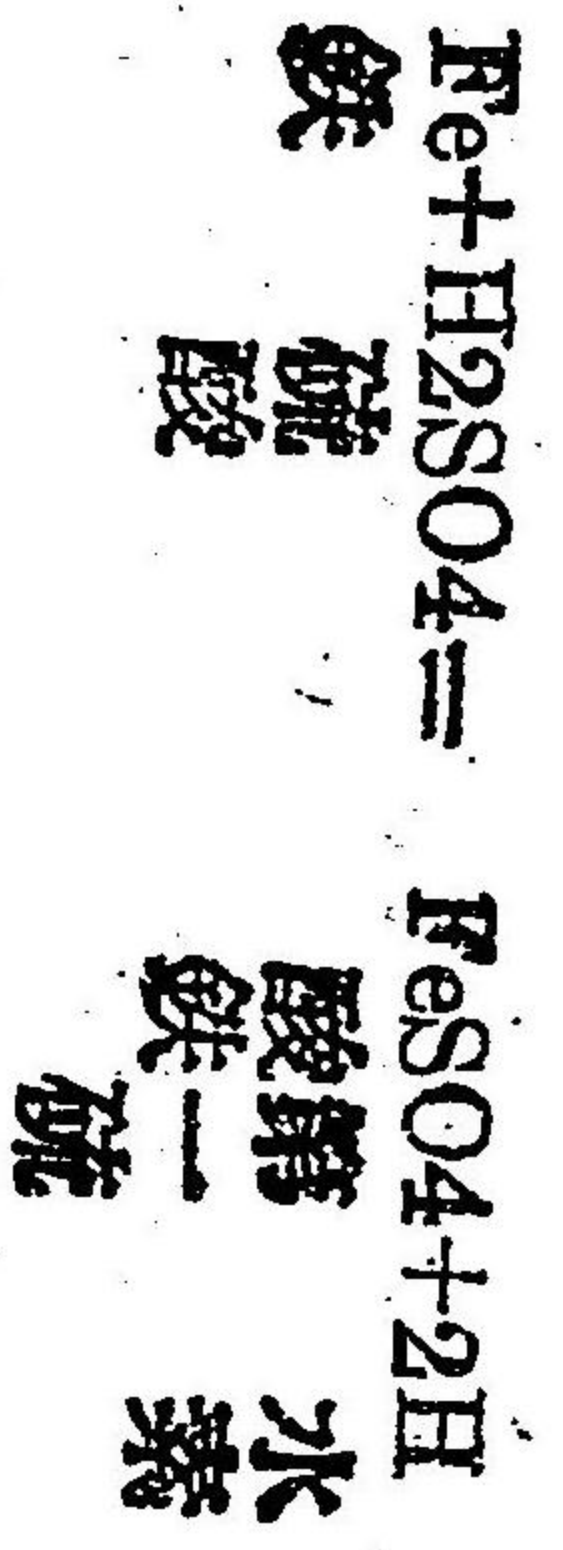
凡平面鏡ニ映スルモノハ其實體ト鏡面トノ距離丈ケ鏡背ニ隔リテ見ユルモノナリ
今池水河面等ハ其面平滑ニシテ恰モ平面鏡ニ同シキモノナレバ近距離ノモノハ近
ク其虛影現ハシ遠距離ノモノハ遠ク其虛影ヲ現ハシ恰モ水中ニ倒立スルガ如ク見
ユルモノナリ

(八)

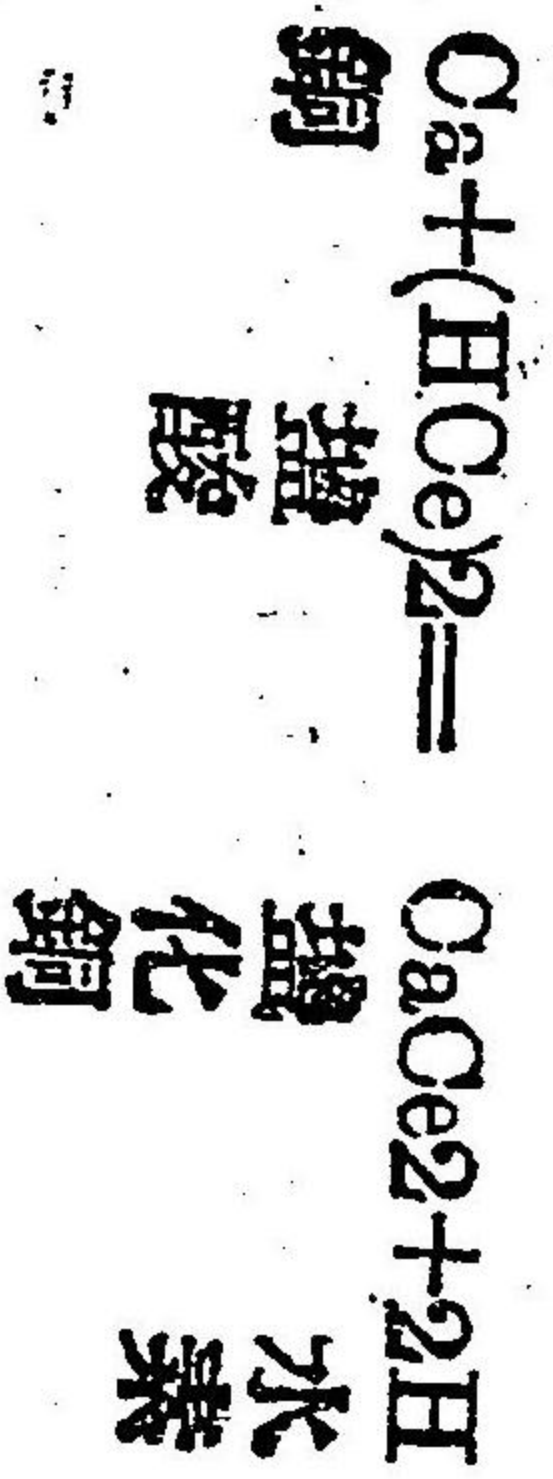
鉄ニ硫酸ヲ加ヘ銅ニ鹽酸ヲ加ヘ鉛ニ硝酸ヲ加ヘタルトキノ作用ヲ別々ニ方程式ニテ

示

鉄ニ硫酸ヲ加ヘン方程式



銅ニ鹽酸ヲ加ヘン方程式



鉛ニ硝酸ヲ加ヘン方程式



(九) 水ノ成分并ニ各成分ノ重量ノ割合ヲ問フ

水ノ成分ハ水素ニ酸素一容ノ化合物ニシテH₂Oノ化合式ヲ有シ其各成分ノ割合ハ
H=1X2=2.0=16X1=16.則水素ニ對スル酸素十六ノ割合ナリトス

(六) 或金屬ヲ空氣中ニ放置スレバ其面ニ曇チ生ズルハ如何ナル理ニヨルカ

金屬ヲ空氣中ニ放置スレバ水分若クハ炭酸空氣等ノ作用ニ依リテ漸次化學上ノ作用ヲ受ケ炭酸金屬若クハ酸化金屬チ生ズルヲ以テ漸ク其面ニ曇チ生ズルモノナリ
石灰ハ如何シテ製セシモノニシテ如何ナル効能アルモノナリヤ

石灰ハ酸化「カルシウム」ニシテ其化合式ハ(CaO)ナリ此物ハ炭酸石灰(CaCO₃)ヲ燒キテ之ヲ製シタルモノナリCaCO₃ = CaO + CO₂ 則炭酸石灰ヲ燒ケバ炭酸ハ飛散シテ酸化石灰チ殘スナリ此物水ニ遇ヘバ劇シク熱ヲ起シテ化合シ水酸化石灰(又風化石灰トモ云)ト爲ル其作用ハ左ノ如シCaO + H₂O = Ca(OH)₂是ナリ此酸化石灰ハ水分ヲ吸收スルノ性アルヲ以テ乾燥劑ニ供用シ又其煖烈ノ性アルヲ以テ消毒藥ト爲ス其他其他水セルモノハ肥料ニ供用スル等其効用多キモノナリ

◎ 第八節

○ 博物科

動物金石
及生理

(一)

昆蟲類中二枚ノ翅ヲ有スルモノ、名ニテ舉ゲ

昆蟲類中ニテ二枚ノ翅ヲ有スルモノハ之ヲ二翅類或ハ雙翅類ト稱ス其通常見ル所
ノモノニテ舉ゲ 蠅、蚊、虻、

(二)

魚類ノ外形ニ付テ記セヨ

魚類ハ脊椎動物ニ屬シ水中ニ棲息スルモノニシテ其外形概テ圓錐狀且ツ多少側扁
スルヲ常トスト雖稀ニハ幅廣ク扁平ナルモアリ又球狀ヲ爲スモノアリ其体軀ハ頭
軀幹、及尾ノ三部ヨリ成ル

皮膚ニハ鱗ト稱スル骨性物アリテ体面ヲ保護シ一種ノ粘液ヲ分泌シ表面滑澤ナル
ヲ常トス鱗ニハ方形ノモノアリ圓形ノモノアリ又一種楕狀ノモノモアリ其質ハ時
トシテハ珪瑀質ヲ被ルコトアリ

魚ノ外形ニハ鱗アリ是レハ移動器ニシテ鱗刺ト稱スル細骨様ノ支柱アリテ其狀圓

扇ニ類似ス之ニ奇偶ノ別アリ脊鱗、尾鱗、肛門鱗ハ奇鱗ニシテ体ノ正中線ニアリ胸鱗及腹鱗ハ偶鱗ニシテ四肢ト見做スベキモノナリ

魚ノ外部皮膚中ヲ縦走セル管腔アリ之ヲ側線ト云ヒ一種ノ感覺器ナリ

(三) 昆蟲ノ外形ニ付テ記述セヨ

昆蟲類ノ体軀ハ明ニ頭胸腹ノ三部ヨリ成ル頭ハ一對ノ觸角ヲ有シ二個ノ複眼ヲ具ヘ成ハ更ニ單眼ヲ具フルモノアリ又口器アリ口器ハ成ハ嚙咬ニ適スルモノアリ成ハ吸吮ニ適スルモノナリ

胸ハ三環節ヨリ成リ前胸中胸後胸ト云フ各節毎ニ其下面ニハ一對ノ關節脚ヲ有シ凡テ三對六脚ヲ爲ス故ニ昆蟲類ヲ又六脚蟲類トモ云フナリ中胸ニハ其上面ニ各一對ノ翅ヲ備フト雌種々變形シ成ハ之ヲ欠如スルモノアリ

腹ハ大約十個ノ可動的關節ヨリ成リ其尾端ニハ産卵器及刺劍若クハ交尾器等ノ附屬物ヲ具有スルヲ常トス

昆蟲ノ体面ニ硝子様膜ヲ被リ其質柔軟成ハ堅硬ニシテ成ハ毛ヲ生スルコトアリ鱗

官器ハ特ニ著名ニ現ハル、ユトアリ「イナムシ」ナドノ第一腹關節ノ側部ニ壓痕狀ヲナスモノ是レナリ

(四) 昆蟲類變態ノ大畧ヲ説明スベシ

昆蟲類ハ其体軀變化スルモノニシテ卵、仔蟲、蛹、成蟲ノ四段變化ヲ爲スナリ今其最モ能ク人ノ知ル所ノ蠶ニ就キテ之ヲ例解センニ最初ハ則卵ナリ卵孵化スレバ仔蟲ト爲ル則蠶ノ桑ヲ食食スルトキハ是レナリ仔蟲充分ノ發達ヲ爲セバ繭ヲ造リテ其中ニ隠レ自体ヲ保護シ而シテ蛹ト爲ル此蛹更ニ變化スレバ成蟲則蛾ト爲ルナリ此ニ至テ昆蟲ハ十分ノ發成ヲ遂ゲタルモノニシテ交尾シテ又卵ヲ産下スルナリ蠶ノ如キハ此卵、仔蟲、蛹、成蟲ノ四段變化完全ナルモノナリ昆蟲類ノ中ニハ此變化完全ナラザルモノアリ「キリト」等ノ如キハ是レナリ

(五) 魚ノ能ク游泳スル所以如何

魚ノ移動器ハ鱗ナレドモ其水中ニ浮遊スルヲ得ルハ其体中ニ浮囊ト稱スルモノアレバナリ鯉ノ如キハ最著シク之ヲ認ムルヲ得ベシ此浮囊ハ之ヲ鰾ト稱ス魚類ニ特

殊ナル一器ニシテ春梁ノ直下ニ位シ空氣ヲ含蓄スル膜囊ニシテ蓋シ高等有脊動物ノ肺臟ト相同物相同トハ構成チ同クシ作用チ異ニスル器ヲ云フ動物學上ノ術語ナリニシテ体ノ此重ヲ増減シ能ク水中テ上テ下游泳スルノ便ニ供スルモノナリ魚ノ中此器ヲ有セザルモノモアリ多クハ水底ニ棲息スル魚類ニ於テ之ヲ見ルナリ

(六) 反芻類ノ胃ノ構造ヲ記セヨ

反芻類ハ哺乳動物中ニテ牛、鹿、等ノ種屬ナリ其特徴ハ反芻ヲ爲スニアリ其胃ノ構造ハ此作用ニ適シ概チ四囊ヨリ成ル其第一囊ハ最大ナルモノニシテ之ヲ瘤胃ト云フ食道ニ通シ食物ハ先ツ此ニ下リ濕潤シテ第二囊ニ移ルモノナリ第二囊ハ蜂巢胃ト云ヒ内面ニ網狀ノ膜アリ食物是ヨリ口腔ニ復リ細嚼セラレタル後食道ヲ下リ其下端ノ一溝ヲ經テ第三囊ニ入ル此部ハ重瓣胃ト云ヒ内面ニ瓣狀ノ膜アリ食物ハ次ニ第四囊ニ移ル此部ハ其内面ニ細皺アルガ故ニ皺胃ト名ク是レ普通ノ胃ノ作用ヲ爲ス所ニシテ腸ニ連レリ

(七) 動物ノ保護色トハ何ゾヤ

動物ノ保護色トハ動物ガ其色ノ他物ニ類似スルガ爲ニ強食ノ難ヲ免レ以テ自己ノ身体ヲ保護スルコトアルヲ云フナリ例ヘバ雨蛙ノ綠葉ト其色ヲ同クシ寒帶地方ノ氷雲中ニ棲息セル動物ハ其毛色白ク熱帶地方ノ砂漠中ニ棲息スルモノハ亦砂漠ト其色ヲ同クスルガ如シ是レ動物進化學上ニ所謂自然淘汰ノ結果ニ依ルモノナリ蓋シ最初ハ各色ノ動物例ヘバ綠葉中ニ白色ヲ爲シ白雪中ニ黑色ヲ爲シタルモアリト仮定センニ此ノ如キ動物ハ先ツ強敵アル他動物ニ認メラレテ強食ノ難ヲ免ルハ能ハザルノミラズ其餌食ヲ求ムル場合ニモ他ヲシテ直ニ着眼シテ逃レ去ラシムルヲ以テ此ノ如キ動物ハ其種屬ノ泯滅ヲ免レザルナリ只其生存ニ適スベキ動物ノ益其好都合ヲ得テ其種屬ヲ存續シ遠ニ各地其地ト色ヲ同クスル動物アルガ如キ狀ヲ呈スルニ至リタルモノナラン

(八) 動物界ノ區別ハ判然タルモノナリヤ

動物界ノ區別ハ精密ナル學理上ヨリ論スレバ判然タル區別ナキモノナリ以下詳ニ之ヲ述ベシ隨意運動及感覺ノ有無ハ久シク動物界ノ區別点トシテ用キラレ

(先)

レ其是レ全ク其高等ナルモノ、間ニ於テ行ハルベキノミ則動物ニテモ其下等ナル海綿及ヒ珊瑚類ノ如キニ至テハ固定シテ動カザルモノナリ感覺器ノ如キモ下等動物ノ多數ハ却テ植物ニ及ハザルモノアリ之ニ反シテ植物ニテモ彼櫻蠅草「モウセンゴケ」等ノ如キハ感覺自動ノ機體クベキモノアリ其他動物ハ酸素ヲ攝取シテ炭酸ヲ排除シ之ニ反ノ植物ハ炭酸ヲ攝取シテ酸素ヲ排泄スルノ作用アリテ二者ノ區別点ナナスガ如シト雖是亦例外アリ松栢類ノ如キハ其酸素ヲ要シ炭酸ヲ排除スルコト殆ンド動物ニ異ラザルモノアリ又化學上ノ成分ヲ以テ兩界區別ノ点ト爲シ動物ハ炭酸水室ノ四原素質ヨリ成リ植物ハ炭酸水ノ三原素ヨリ成ルト爲スモノアリ或ハ葉綠素及細胞膜質ノ存在ヲ以テ植物ノ特徵ト爲スモノアリト雖植物ニシテ窒素質化合物ト有スルモノアリ動物ニテモ「ハイドラ」等ノ下等動物ニハ葉綠ヲ含有シ又石勒ト稱スル動物ノ外被中ニハ細胞膜質ヲ發見セル等要スルニ動植物兩界ハ精密ナル論点ニテハ截然タル區別ヲ立ツルコト能ハザルモノナリ

礦物ト生物トハ如何ニ異ルヤ

(中)

礦物ト生物トハ第一ニ其形質ニ於テ相違アリ則礦物ハ其體ニ部分ナク何レモ同一質ヨリ成ル生物ハ之ニ反シテ根莖枝葉或ハ四肢軀幹等其構成及作用ヲ異ニスル所ノ部分アルナリ次ニ礦物ハ生活ノ機能ヲ有セズ或ハ鍾乳石ノ増大ノ如キモノアリト雖只同物質ガ外部ヨリ附着スルノミ生物ハ之ニ異リテ養料ヲ体外ニ取り自體ノ作用ニ依リテ之ヲ自己ト同一ノ物質ニ變スルノ作用アリ或ハ其自體ト同一體ヲ分殖スルノ作用アリ是レ礦物ト生物トノ相違点ナリトス

筋肉ノ構成及保健法ヲ記セヨ

筋肉ハ其收縮ニ依リテ身體ノ運動ヲ起ス所ノ器ニシテ其構成ハ其種類ニ依リテ同一ナラズ又解剖的ノ造構ト顯微鏡的ノ造構(即組織的造構)トハ又同一ナラザルナリ

筋肉ニ二種アリ、横紋筋ト云ヒ滑平筋ト云フ甲ハ隨意ニ收縮シ乙ハ隨意ニ收縮セズ横紋筋ハ其解剖的造構ニ依レバ先ツ結締組織アリテ之ヲ支持シ血管アリテ之ヲ養ヒ淋瀝管アリテ其老廢物ヲ導キ去リ神經アリテ之ヲ管理セリ又結締組織ハ筋ニ至

体ヲ被包シテ筋鞘ヲ爲シ且筋組織ノ間ニ入りテ夥多ノ筋束ニ分ツ此筋束ハ終ニ夥多ノ細纖維ヨリ成ル之ヲ筋纖維ト云フ滑平筋ニ於テモ畧此ノ如シ

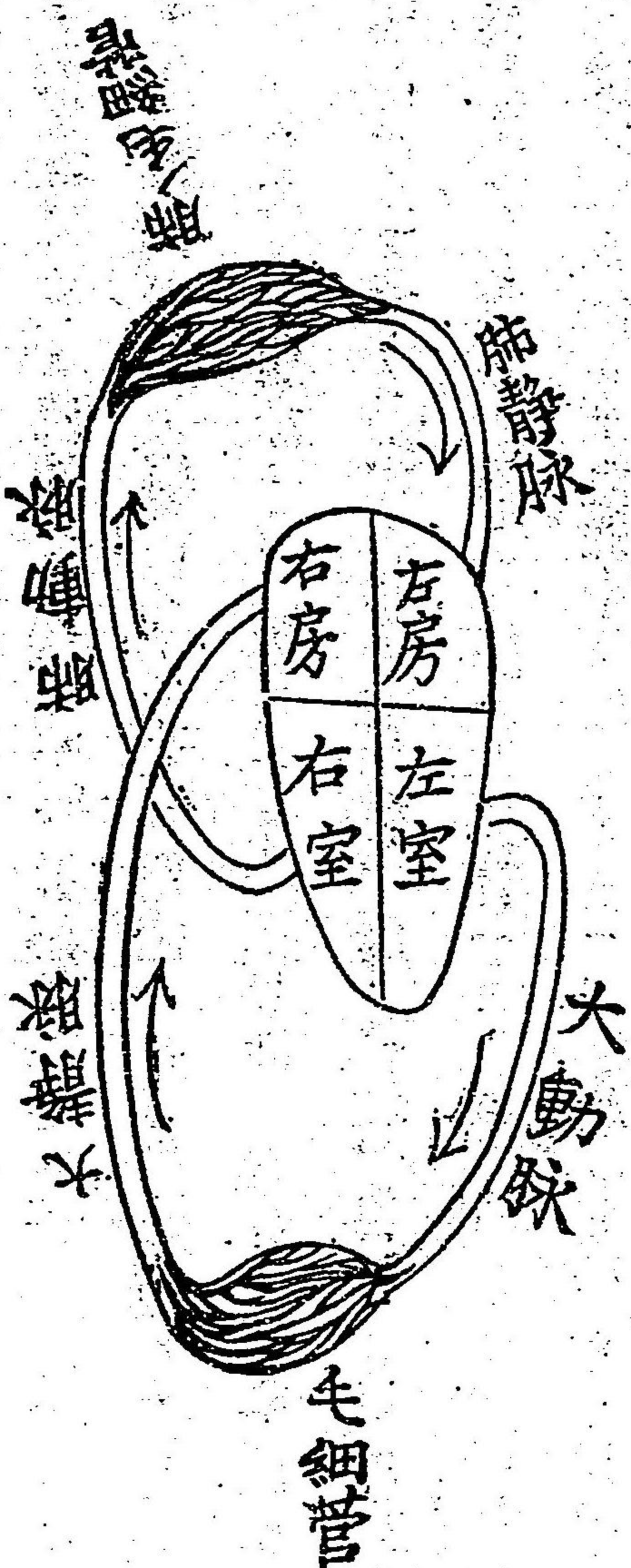
組織的構造ヲ記センニ横紋筋ハ肉眼ヲ以テ見ル可ラザル縦形ノ纖維ヨリ成リ之ヲ顯微鏡ニテ視查スレバ明暗ノ二横線ヲ見ル横紋筋ノ名稱ノ起ル所以ナリ滑平筋ハ横紋ヲ認メズ只紡錘狀細胞ノ敷列ヨリ成ル

茲ニ追加スベキハ横紋筋ハ隨意筋ニシテ滑平筋ハ不隨意筋ナリト雖心臟ノ如キハ此例外ニシテ則其構造ハ横紋筋ナレドモ其作用ハ不隨意ナリトス

次ニ筋ノ保健方ヲ記サンニ筋肉モ他ノ臟器ト同ク其保健ヲ保タンニハ榮養物ヲ適度ニ供給シ其不用老廢物ヲ充分ニ排除セザル可ラズ則滋養物ト清鮮ノ空氣トハ筋ヲ發育セシムルニ緊要ナリ次ニ必要ナルハ運動ニ在リ筋ハ久シク使用セザレハ漸ク細クナリテ其本性ヲ損スルニ至ルモノナレバ適度ニ運動ヲ爲スコトハ筋ノ保健方ニ對シテ最必要ナトス

(二) 哺乳動物血液循環ノ略圖ヲ描ケ

哺乳動物(鳥類亦同シ)ノ心臟ハ二房二室ヨリ成リ其左室ヨリ大動脈ニ依リテ新鮮ノ血液ヲ体ノ各部ニ分布シ毛細管ヲ經テ靜脈トナリ其老廢血液ヲ心臟ノ右房ニ送還シ右室ヨリ肺動脈ニ依リテ肺臟ニ送り其酸化ヲ受ケテ鮮血ニ復シ肺靜脈ニ依リテ心ノ左房ニ還流ス其仮想圖ヲ描ケハ左ノ如シ



(三) 人身ノ消化作用ヲ説明セヨ

人身消化作用ノ主ナル部分ハ口腔、胃、腸ノ三部ナリ「口腔ノ消化作用ハ唾液ニ依リテ行ハル唾液ハ唾液素ト稱スル一種ノ酵素素ヲ有シ澱粉ヲ變シテ「デキストリン」ト爲スノ作用アリ」胃ノ消化作用ハ胃液ニ依リテ行ハル胃液ハ鹽酸ノ少量ト

胃液素ト稱スル酸酵素トナ有シ蛋白質ヲ化シテ「ペプトン」ト爲シ能ク體質ヲ竄透スルノ性ヲ得シム」腸ノ消化作用ハ重ニ小腸殊ニ十二指腸ニ於テ行ハル其作用ハ重ニ脾液及胆汁ニ依ル脾液ハ亞爾加里性液ニシテ脂肪蛋白質ニ對シテモ多少ノ作用ヲ及ホスト雖重ニ澱粉ヲ變シテ「デキストリン」及葡萄糖ニ變化シ體質ヲ竄透スルノ性ヲ得セシム胆汁ハ肝臟ニ於テ分泌シ胆嚢ニ蓄藏シ以テ十二指腸ニ注グモノニテ其作用ハ脂肪ヲ變化シテ體質ヲ竄透スルノ性ヲ得シム實ニ腸中ヨリ脂肪ヲ吸收スルハ殆ンド胆汁ノ力ニ依ルナリ其他胆汁ハ食物ノ腐敗ヲ防止スルノ用アリ之ヲ要スルニ入身ノ消化作用ハ消化管中殊ニ口腔、胃腸ノ諸部ニ於テ行ハレ其作用ヲ爲スモノハ唾液、胃液、脾液、胆汁ナリトス

(三)

食物ヲ攝取シ消化シテ血球中ニ注入スルマデニ順次ニ受クル作用ト變化トヲ記セヨ食物ヲ攝取スレバ口腔内ニ於テ先ツ咀嚼ヲ受ケ唾液ヲ混和シ嚥下ニ易カラシメ且澱粉質ノ幾分ヲ消化ス食物口腔ヨリ會厭軟骨ノ上ヲ通シ喉頭ヲ通過シ食道ヨリ胃ニ下ル胃ニ於テ胃壁ノ運動ニ依リテ食物ヲ胃液ト混和シ又胃液ニ依リテ蛋白質ヲ

「ペプトン」ニ變化シ體壁ヲ竄透スルノ性ヲ得シム食物胃ニ於テ一部ハ粘膜下ノ血管ニ吸收セラレ大部分ハ糜粥トナリテ十二指腸ニ達ス此ニ於テ肝臟ノ分泌ニ係ル所ノ胆汁及脾ノ分泌ニ係ル所ノ脾液ノ作用ヲ受ケ其脂肪質及含水炭素ハ悉ク消化セラレ是レヨリ腸ノ大部分ヲ通過シ其養液ハ腸ノ内面ニ開口スル所ノ乳糜管ト稱スル網狀細管ニ吸收セラレ其残渣ハ糞便トナリテ体外ニ排泄ス此乳糜管ニ吸收セラレタル所ノ養分ハ之ヲ乳糜ト稱ス此物胸管ニ集リ鎖骨下靜脈ニ入ル是レヨリ靜脈血ト共ニ心臟ニ歸リ其右室ヨリ肺臟ニ至リ酸素ニ遭テ鮮紅色ナル血液ト爲リ遂ニ心臟ニ歸流シ其左室ヨリ動脈血トナリテ体中ニ分佈ス

(四)

喬木、灌木、草木ノ定義ヲ記セヨ

喬木トハ其組織木質ヨリ成リ且ツ其本幹ハ著シク挺出シテ高ク生長スルモノナリ灌木トハ木質組織ヨリ成リ地上ニ近キ所ヨリ枝ヲ叢出シ冬ニ至リテ枯死セズ且其高サハ喬木ノ如ク延長セズ草トハ其組織木質乏シク多少柔軟ニシテ其全部若クハ地上ニ出ヅル部分冬期ニ至

リ枯死スル者ナリ

木トハ其組織中ニ木質ヲ有シ堅硬ナルモノニテ冬ニ至ルモ枯死スルコトナシ

(五)

離片辨花ヲ萼花、盤花、托花ノ三ニ分ツハ如何ナル点ニ因ルヤ且其例ヲ付記スベシ
離片辨花ハ花冠ノ辨片分離スルモノヲ云フ例ハ芍薬、櫻、梨等ノ如キ是レナリ
之ヲ萼花盤花托花ノ三ニ分ツ所以ハ其花冠ノ着部等シカラザレバナリ萼花トハ則
花冠及雄蕊ガ萼ニ付着スルモノナリ例ハ薔薇科類ノ如シ托花トハ花冠及雄蕊ガ
花托ニ着生スルモノヲ云フ例ハ罌粟科ノ如シ盤花トハ花托ノ一部或ハ花托ヨリ
特生シタル花盤ナルモノアリテ花冠ノ付着部トナルモノ例ハ芫荽科ノ芫薬等ノ
如シ

(六)

單子葉植物ト双子葉植物トノ差異ヲ問フ
雙子葉植物ト單子葉植物トノ區別ハ植物學上大關係ヲ有スルモノニシテ雙子葉植
物ハ其種子ノ發生ニ當リ二枚ノ子葉ヲ萌發スルモノヲ云フ則其子葉二枚ヨリ成ル
モノナリ單子葉植物トハ其子葉單一ヨリ成ルモノヲ云フ尙又其相異ル点ハ其莖幹

(七)

植物ノ同化作用ヲ解明スベシ
ノ構造ニ於テ雙子葉植物ハ維管束ハ輪環狀ニ駢列シ單子葉類ハ維管束不正ニ散在
スルナリ其他葉ニ於テ雙子葉類ハ其葉脈網狀ヲ爲シ單子葉類ハ其葉脈並行ヲ爲ス
ナリ以上記スル所ハ雙子葉類ト單子葉類トノ區別点ノ要略ナリ
植物ノ同化作用トハ其根ニ於テ攝取シタル養分ヲ葉及ビ其他ノ葉綠ヲ含有スル組
織内ニ於テ其植物体ト同一ノ成分ニ變化セシムル作用ヲ云フナリ例ハ炭酸ガ日
光ノ作用ニ依リテ葉綠中ニ於テ分解セラル、ヤ其酸素ヲ吐出シ炭素ト水トヲ以テ
澱粉或ハ砂糖等ヲ形成スルガ如キ是レナリ而シテ其作用ハ根ヨリ攝取シタル鹽類ノ
葉中ニ到達スルト同時ニ起ルモノトス

(八)

青銅及黃銅ハ何ト何トノ合金ナリヤ

青銅ハ銅ト錫トノ合金ナリ

黃銅ハ銅ト亜鉛トノ合金ナリ

(九)

日本ニテ銀銅鉄ヲ採ル主ナル礦物ノ名稱成分及產地ヲ記セヨ

銅、土、二種銅鐵ナリ其成分ハ硫黄、銅及鉄ヲ含ム羽前羽後陸中伊豫等ニ産ス又班

銅鐵赤銅鐵等アリ本邦ハ殊ニ銅ニ富メリ

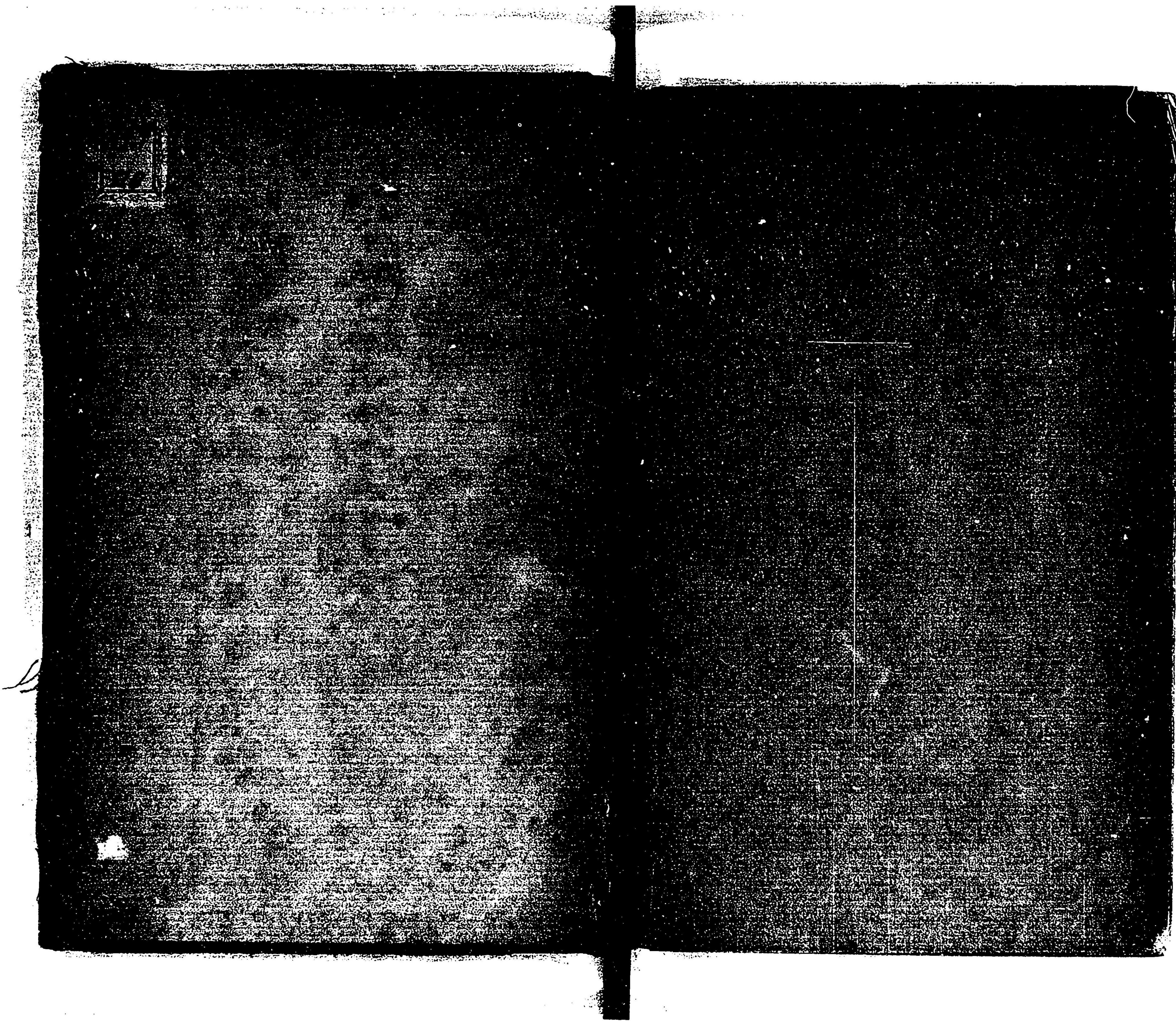
鉄ハ重ニ赤鉄鐵ヨリ製ス其成分ハ酸化鉄ナリ駿河、美濃、越前、上野、羽後、佐渡、等

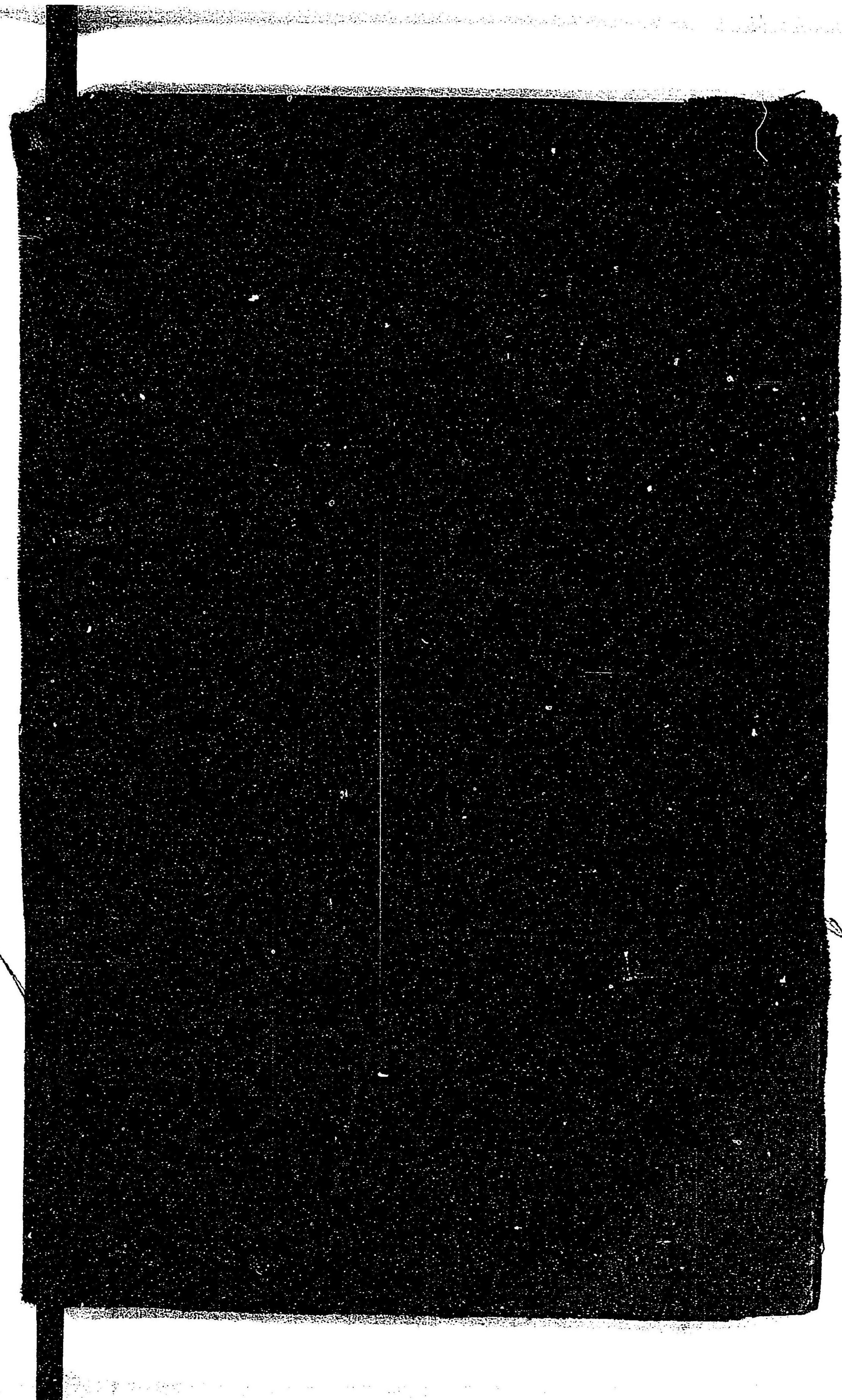
ニ産ス又磁鉄鐵アリ同シク酸化鉄ナリ

③ 「モース」氏ノ堅度表ヲ示セ

- | | |
|--------|--------|
| 一度 滑石 | 二度 石膏 |
| 三度 方解石 | 四度 螢石 |
| 五度 磷灰石 | 六度 氷長石 |
| 七度 水晶 | 八度 黃玉石 |
| 九度 青晶玉 | 十度 金剛石 |

長城定試給問題例解





M

049844-000-7

259-20

教員檢定試驗問題例解

教育書院／編

M30,4序

BEM-0578



